

平成28年度

高校生の消費生活と 生活設計に関する アンケート調査報告書



公益財団法人 消費者教育支援センター
公益財団法人 生命保険文化センター

はじめに

本書は、高校生の普段の生活行動から、消費者としての側面、生活設計に対する考え方などについて明らかにしたアンケート調査結果の報告書である。平成24年にはじめて実施した「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」の4年ぶり2回目の結果であり、調査結果の概要では、主な前回比較の結果も掲載している。

調査の実施にあたっては、公益財団法人消費者教育支援センターと公益財団法人生命保険文化センターが共同で行い、回答は無作為抽出された高校から83校に協力いただいた。ご多忙の中、調査にご協力いただいた先生方、高校生にお礼を申し上げたい。

今後、本調査結果を消費者教育の指導、教材開発等に活用していただければ幸いである。

平成29年2月

公益財団法人消費者教育支援センター
理事長 櫻井純子

公益財団法人生命保険文化センター
代表理事 鈴木勝康

「平成 28 年度 高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査報告書」正誤表

該当箇所	P 6 (【調査結果の概要】 1. アンケート調査の概要 「I. 日常生活について」)																													
(誤)	<p>(二文目) 前回調査と比べて大きく変化した項目として、男子は「友人と話をする」「家族と話をする」が2割弱減少、女子は「マンガや雑誌を読む」が2割減少し、「携帯・スマートフォンでメールや SNS をする」が2割弱上昇した。</p> <p>授業以外の時間の過ごし方（複数回答）＜性別・一部抜粋＞</p> <table border="1" data-bbox="244 696 1481 1122"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男子</th> <th colspan="2">女子</th> </tr> <tr> <th>平成 28 年</th> <th>平成 24 年</th> <th>平成 28 年</th> <th>平成 24 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マンガや雑誌を読む</td> <td>34.8% (+3.9%)</td> <td>30.9%</td> <td>35.1% (▲20.2%)</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td>携帯電話・スマートフォンでメールや SNS をする</td> <td>65.8% (+0.5%)</td> <td>65.3%</td> <td>83.3% (+17.1%)</td> <td>65.3%</td> </tr> <tr> <td>友人と話をする</td> <td>35.2% (▲18.4%)</td> <td>53.6%</td> <td>50.7% (+2.4%)</td> <td>48.3%</td> </tr> <tr> <td>家族と話をする</td> <td>23.3% (▲18.9%)</td> <td>42.2%</td> <td>28.7% (▲0.3%)</td> <td>29.0%</td> </tr> </tbody> </table>		男子		女子		平成 28 年	平成 24 年	平成 28 年	平成 24 年	マンガや雑誌を読む	34.8% (+3.9%)	30.9%	35.1% (▲20.2%)	55.3%	携帯電話・スマートフォンでメールや SNS をする	65.8% (+0.5%)	65.3%	83.3% (+17.1%)	65.3%	友人と話をする	35.2% (▲18.4%)	53.6%	50.7% (+2.4%)	48.3%	家族と話をする	23.3% (▲18.9%)	42.2%	28.7% (▲0.3%)	29.0%
	男子		女子																											
	平成 28 年	平成 24 年	平成 28 年	平成 24 年																										
マンガや雑誌を読む	34.8% (+3.9%)	30.9%	35.1% (▲20.2%)	55.3%																										
携帯電話・スマートフォンでメールや SNS をする	65.8% (+0.5%)	65.3%	83.3% (+17.1%)	65.3%																										
友人と話をする	35.2% (▲18.4%)	53.6%	50.7% (+2.4%)	48.3%																										
家族と話をする	23.3% (▲18.9%)	42.2%	28.7% (▲0.3%)	29.0%																										
(正) ※太字を訂正	<p>(二文目) 前回調査と比べて大きく変化した項目として、女子は「マンガや雑誌を読む」が約2割5分減少した。</p> <p>授業以外の時間の過ごし方（複数回答）＜性別・一部抜粋＞</p> <table border="1" data-bbox="244 1462 1481 1888"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男子</th> <th colspan="2">女子</th> </tr> <tr> <th>平成 28 年</th> <th>平成 24 年</th> <th>平成 28 年</th> <th>平成 24 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マンガや雑誌を読む</td> <td>34.8% (▲0.3%)</td> <td>35.1%</td> <td>30.9% (▲24.4%)</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td>携帯電話・スマートフォンでメールや SNS をする</td> <td>65.8% (+0.5%)</td> <td>65.3%</td> <td>83.3% (+17.1%)</td> <td>66.2%</td> </tr> <tr> <td>友人と話をする</td> <td>35.2% (▲15.5%)</td> <td>50.7%</td> <td>53.6% (+5.3%)</td> <td>48.3%</td> </tr> <tr> <td>家族と話をする</td> <td>23.3% (▲5.4%)</td> <td>28.7%</td> <td>42.2% (+13.2%)</td> <td>29.0%</td> </tr> </tbody> </table>		男子		女子		平成 28 年	平成 24 年	平成 28 年	平成 24 年	マンガや雑誌を読む	34.8% (▲0.3%)	35.1%	30.9% (▲24.4%)	55.3%	携帯電話・スマートフォンでメールや SNS をする	65.8% (+0.5%)	65.3%	83.3% (+17.1%)	66.2%	友人と話をする	35.2% (▲15.5%)	50.7%	53.6% (+5.3%)	48.3%	家族と話をする	23.3% (▲5.4%)	28.7%	42.2% (+13.2%)	29.0%
	男子		女子																											
	平成 28 年	平成 24 年	平成 28 年	平成 24 年																										
マンガや雑誌を読む	34.8% (▲0.3%)	35.1%	30.9% (▲24.4%)	55.3%																										
携帯電話・スマートフォンでメールや SNS をする	65.8% (+0.5%)	65.3%	83.3% (+17.1%)	66.2%																										
友人と話をする	35.2% (▲15.5%)	50.7%	53.6% (+5.3%)	48.3%																										
家族と話をする	23.3% (▲5.4%)	28.7%	42.2% (+13.2%)	29.0%																										

目次

【調査概要】	1
【調査結果の概要】	
1. アンケート調査の概要	5
2. ヒアリング調査の概要	15
【調査結果】	
I 日常生活について	
1. 興味があること	20
2. 授業以外の時間の過ごし方	22
II お小遣い、アルバイト等のお金について	
1. お小遣いについて	
1-1 お小遣いの有無	24
1-2 1ヵ月にもらっている金額	24
1-3 お小遣いをもらっていない場合の対処法	25
2. アルバイトについて	
2-1 アルバイト経験	26
2-2 1ヵ月の収入金額	27
3. 貯金について	27
4. お金について	
4-1 お金の使い道	28
4-2 お金の管理（お小遣い帳の記録）	32
III 「消費・契約」について	
1. 買い物について	
1-1 お菓子や飲み物を買う際に重視する点	33
1-2 欲しいものがあるとき、参考にする情報	35
1-3 買い物の傾向	37
1-4 契約の知識	42

IV	携帯電話・スマートフォン・パソコン利用について	
1.	携帯電話・スマートフォンについて	
1-1	携帯電話・スマートフォンの所持.....	43
1-2	携帯電話・スマートフォンの利用目的	44
2.	インターネットでの購入について	
2-1	インターネットでの購入経験.....	46
2-2	1カ月の使用金額.....	47
2-3	インターネットで購入したもの	48
2-4	インターネットで購入時の支払い方法	50
V	将来について	
1.	将来の夢・職業・進路について	
1-1	将来就きたい職業があるか	52
1-2	将来就きたい職業.....	52
1-3	卒業後の進路.....	58
2.	結婚・子どもについて	
2-1	結婚.....	59
2-2	結婚したい理由	60
2-3	結婚したくない理由	61
2-4	子ども	62
2-5	子どもを持ちたい理由	63
2-6	将来の働き方.....	64
2-7	子どもを持ちたくない理由	65
3.	将来の生活について	
3-1	将来が思い描ける年齢	66
3-2	将来不安なこと	68
4.	保護者との会話について.....	70
VI	高等学校での学習状況について	
1.	「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習について	
1-1	「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習経験	74
1-2	学習項目	75
	【調査票・単純集計結果】	77

【調査概要】

1. 調査目的

全国の高校生の消費生活と生活設計に対する実態を明らかにし、学習指導要領を踏まえた学習指導、教材開発等の一助とすることを目的とする。

2. 調査項目

調査項目のうち、主なものは次の通り。

(1) 高校生自身のこと

- ①現在、興味があること
- ②学校の授業以外の時間の過ごし方

(2) お金や買い物に関すること

- ①お小遣いについて
- ②アルバイトについて
- ③お金を貯めているか
- ④自由に使える金額の使途
- ⑤お小遣い帳の記帳の有無

(3) 「消費・契約」に関すること

- ①お菓子や飲み物を買う時に重視すること
- ②欲しいものがあるとき、参考にする情報
- ③買い物に関する考え方や傾向
- ④契約の知識

(4) 携帯電話・スマートフォン・パソコンの利用

- ①携帯電話・スマートフォンの所有率、所有の目的
- ②インターネットでの買い物、使用金額、支払い方法

(5) 生活設計（将来）について

- ①職業選択について
- ②卒業後の進路
- ③結婚と子ども
- ④思い描くことができる将来
- ⑤将来の不安
- ⑥保護者との会話

(6) 学習方法・教材について

- ①これまでの学習経験とその内容

3. 調査設計

- (1) 実施主体 公益財団法人消費者教育支援センター
公益財団法人生命保険文化センター
- (2) 調査地域 全国
- (3) 調査対象 高等学校 1 年生、2 年生及び 3 年生
調査は高等学校 1 年生と 2 年生として依頼したが、結果的に 3 年生のサンプルが含まれていたため、それも含めて集計を行った。
- (4) 抽出方法 二段無作為抽出法
「全国学校総覧 2012 年版」掲載の国公私立の高等学校（分校、定時制等も含む）から等間隔に無作為抽出した 663 校に対し、郵送で各校約 40 人に対し調査を依頼。そのうち、83 校から承諾があり、担当教諭に対して調査票を一括送付した。
- (5) 調査方法 質問票によるアンケート調査（郵送調査法）
- (6) 調査時期 平成 28 年 7 月
- (7) サンプル数 3,153

なお本調査に先立ち、平成 28 年 3 月に高等学校 4 校（189 人）に対して予備調査を実施し、調査票の検討を行った。また調査対象校のうち 10 校に対してヒアリング調査を行った。

4. 回収サンプルの属性 (N=3, 153)

(1) 地域分布

地域	割合(%)	学校数	生徒数
全国	100.0	83	3,153
北海道	6.0	5	185
東北	12.0	10	373
関東	21.7	18	693
北陸	4.8	4	158
中部	20.5	17	643
関西	13.3	11	419
中国	6.0	5	194
四国	4.8	4	155
九州	10.8	9	333

*地域は、以下のように分類。

北海道	……	北海道
東北	……	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	……	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
北陸	……	新潟、富山、石川、福井
中部	……	山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
関西	……	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	……	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	……	徳島、香川、愛媛、高知
九州	……	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

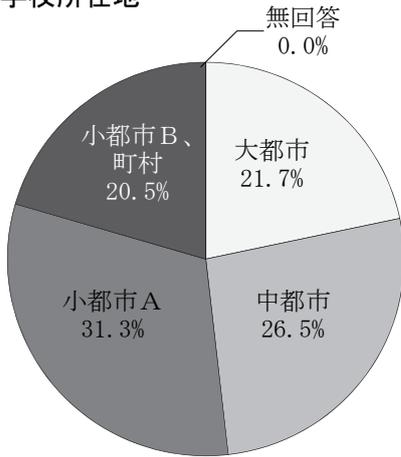
(2) 学年



(3) 性別

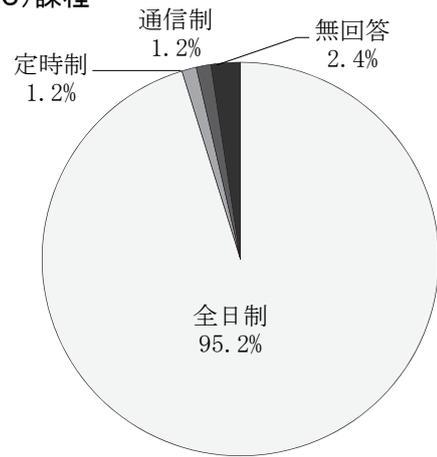


(4) 学校所在地

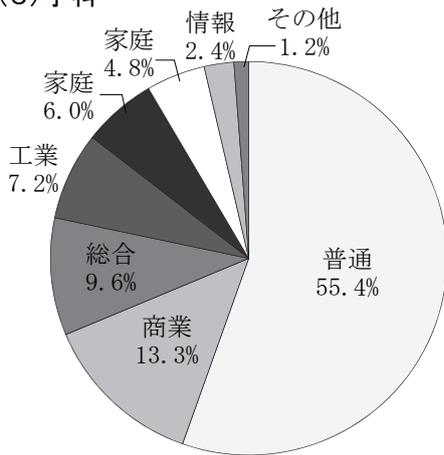


大都市 ……政令指定都市及び東京都区部
 中都市 ……大都市を除く人口15万以上の市
 小都市A ……人口5万以上15万未満の市
 小都市B、町村 ……人口5万未満の市

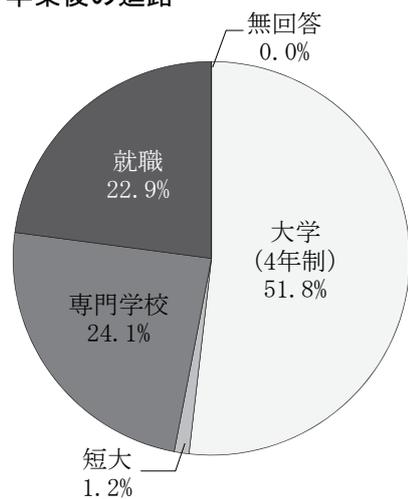
(5) 課程



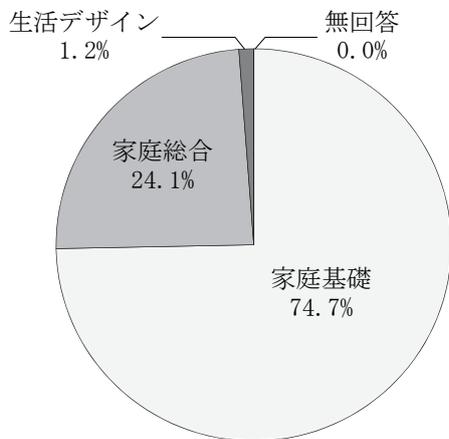
(6) 学科



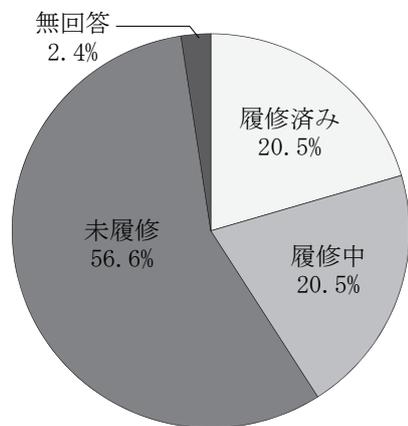
(7) 卒業後の進路



(8) 家庭科の選択状況



(9) 家庭科における「消費生活」領域の学習状況



【調査結果の概要】

1. アンケート調査の概要

《調査結果の主なポイント》

「消費生活」に関する項目

- 授業以外の時間の過ごし方は、前回調査と比較して「マンガや雑誌を読む」「携帯電話・スマートフォンでメールや SNS をする」「友人と話をする」「家族と話をする」といった項目に変化あり。
- 欲しいものがあるとき参考にする情報の上位 3 項目は、「インターネット・SNS」「友達からの話」「テレビ」。
- 「契約の知識」に関する正誤問題において、インターネットに関する項目については 5 割台半ば～6 割強の正答率。契約成立に関する項目は 3 割前後にとどまる。民法改正による成年年齢引下げに伴い、消費者トラブルの深刻化が懸念される。
- インターネットでの購入経験者が、前回調査と比較して約 1 割増加。

「生活設計」に関する項目

- 将来つきたい職業を決めている高校生は約 2 割。将来就きたい職業は、男子は「公務員」が最多、女子は前回調査と同様「保育士・幼稚園教諭」が最多。
- 前回調査と同様、「結婚したい」と思う高校生は、約 7 割、結婚希望年齢は平均 25 歳。
- 「将来子どもを持ちたい」と思う高校生は、前回調査と同様 7 割弱。子どもの希望人数は前回調査の平均 2.7 人から平均 2.3 人に減少。
- 子どもが生まれた場合の働き方について、全体では「育児休暇を取り、職場に復帰する」が 5 割台半ば。
- 将来の夢について保護者と「よく話す」という高校生が、前回調査と比較して増加。

I. 日常生活について

●授業以外の時間の過ごし方は、前回調査と比較して「マンガや雑誌を読む」「携帯電話・スマートフォンでメールやSNSをする」「友人と話をする」「家族と話をする」といった項目に変化あり。

全体で回答が多かった上位3項目は、「携帯・スマホでメールやSNSをする」(75.5%)、「テレビやビデオを見る」(60.7%)、「部活動をする」(53.7%)だった。前回調査と比べて大きく変化した項目として、男子は「友人と話をする」「家族と話をする」が2割弱減少、女子は「マンガや雑誌を読む」が2割減少し、「携帯・スマートフォンでメールやSNSをする」が2割弱上昇した。

授業以外の時間の過ごし方（複数回答）＜性別・一部抜粋＞

	男子		女子	
	平成28年	平成24年	平成28年	平成24年
マンガや雑誌を読む	34.8% (+3.9%)	30.9%	35.1% (▲20.2%)	55.3%
携帯電話・スマートフォンでメールやSNSをする	65.8% (+0.5%)	65.3%	83.3% (+17.1%)	65.3%
友人と話をする	35.2% (▲18.4%)	53.6%	50.7% (+2.4%)	48.3%
家族と話をする	23.3% (▲18.9%)	42.2%	28.7% (▲0.3%)	29.0%

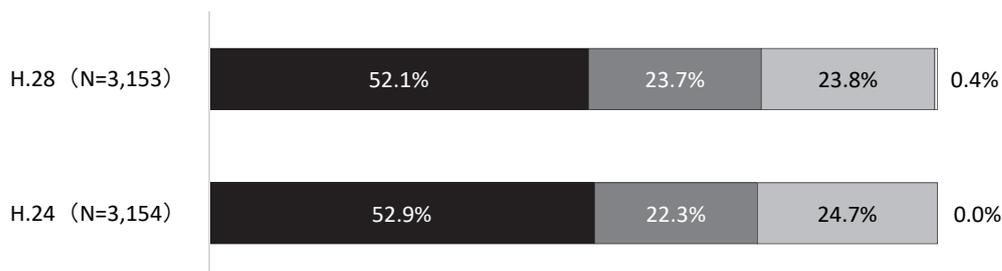
II. お小遣い、アルバイト等のお金について

●お小遣いを「定期的にもらっている」のは、前回調査と同様 5割強。1ヶ月にもらっている金額は平均で4,944円と前回調査より359円上昇。

前回調査と同様、5割強がお小遣いを「定期的にもらっている」と回答した。「その都度にもらっている」も含めると、7割台半ばの高校生がお小遣いを受けているという結果であった。

お小遣いの有無＜全体＞

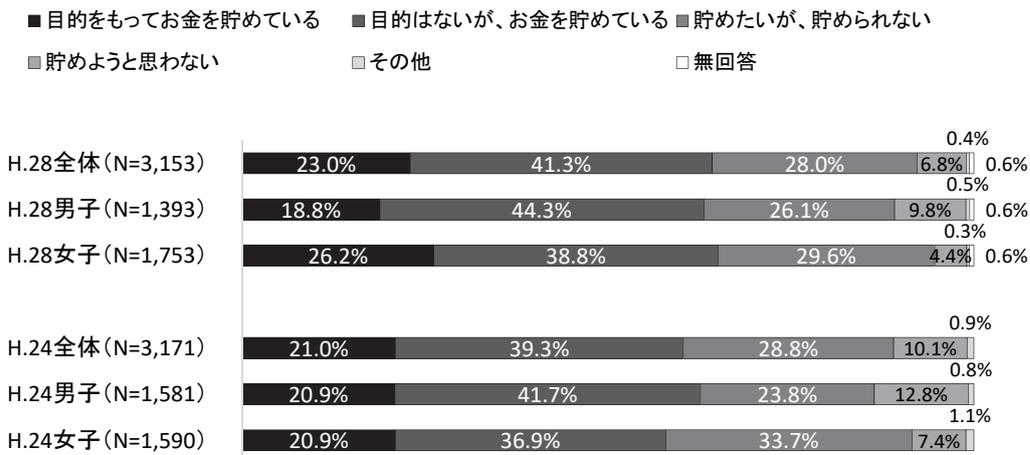
■定期的にもらっている ■その都度にもらっている ■もらっていない □無回答



●前回調査と同様、お金を貯めている高校生は6割台半ば、うち目的をもってお金を貯めているのは3割弱。

「目的をもってお金を貯めている」「目的はないが、お金を貯めている」を合わせると、前回調査と同様、6割台半ばの高校生がお金を貯めているという結果であった。しかし、「目的をもってお金を貯めている」高校生は3割弱にとどまっている。今回の調査では、男子に比べ女子の方が「目的をもってお金を貯めている」割合が若干高かった。

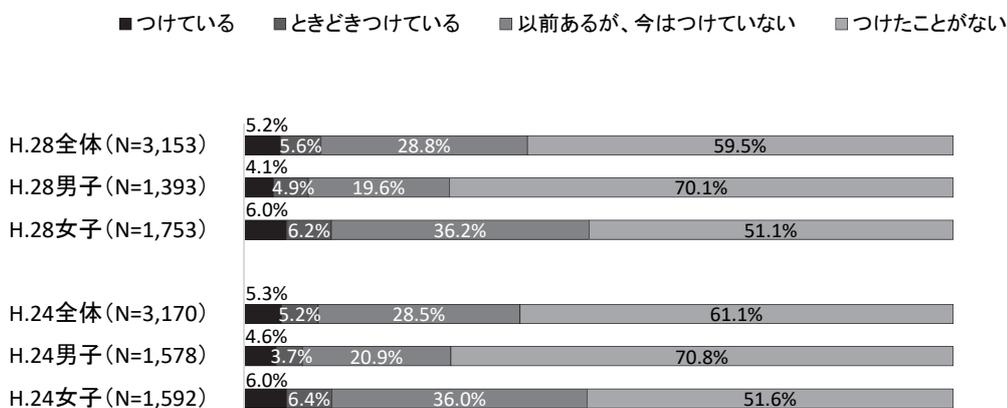
貯金の有無＜全体・性別＞



●お小遣い帳等を記録してお金の管理をしているのは、前回調査と同様 約1割。

前回調査と同様、お小遣い帳等を「つけている」と「ときどきつけている」を合わせると全体の約1割、「つけたことがない」のは約6割となった。性別では、男子の約7割が「つけたことがない」と回答したのに対し、女子は「以前つけていたが、今はつけていない」が比較的多く、5割弱がお小遣い帳等の記録を経験していた。

お小遣い帳等の記録＜全体・性別＞



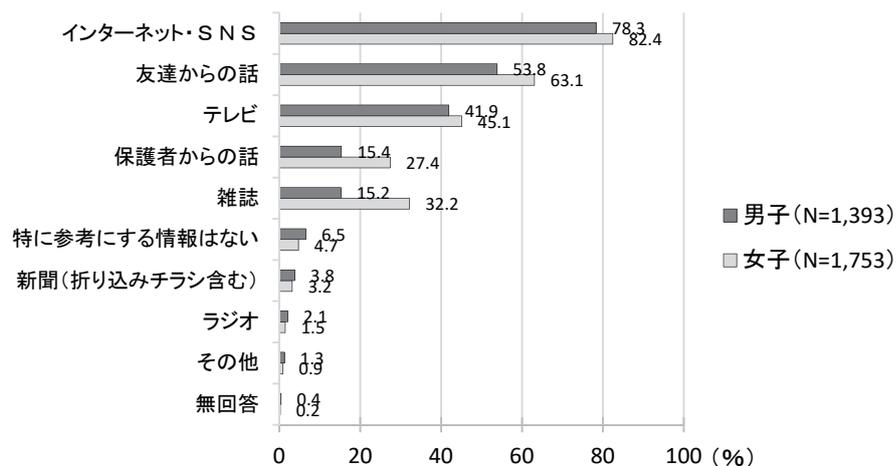
Ⅲ. 「消費・契約」について

【新規項目】

●欲しいものがあるとき参考にする情報の上位3項目は、「インターネット・SNS」「友達からの話」「テレビ」。

男女ともに上位3項目は「インターネット・SNS」「友達からの話」「テレビ」だった。男女差が見られた項目として、「保護者からの話」が1割弱、「雑誌」が2割弱、それぞれ女子が上回った。

【平成28年】欲しいものがあるとき、参考にする情報(複数回答)＜性別＞

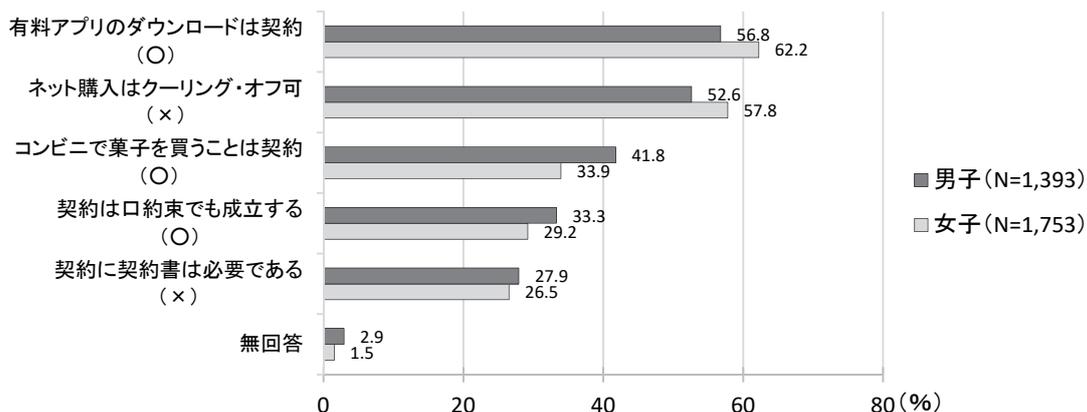


【新規項目】

●「契約の知識」に関する正誤問題において、インターネットに関する項目については5割台半ば～6割強の正答率。契約成立に関する項目は3割前後にとどまる。

「有料アプリのダウンロードは契約」「ネット購入はクーリング・オフ可」といったインターネットに関する項目は、男女ともに5割台半ば～6割強の正答率となったが、「契約は口約束でも成立する」「契約に契約書は必要である」といった契約成立に関する項目は3割前後にとどまった。民法改正による成年年齢の引き下げに伴い、消費者トラブルの深刻化が懸念される。

【平成28年】「契約の知識」正答率＜性別＞



IV. 携帯電話・スマートフォン・パソコン利用について

●携帯電話・スマートフォンの利用目的は、前回調査と比較して「SNS」が男子8割、女子9割と大きく増加。

前回調査において男女ともに約4割だった「SNS」が、男子は約8割、女子は約9割と大きく増加した。一方で「メールをするため」は前回男女ともに9割を超えて最多であったが、今回は男女ともに5割程度に減少した。男子の方が「ゲームをする」割合が高く、女子の方が「写真を撮る・加工する」割合が高かった。

携帯電話・スマートフォンの利用目的(複数回答)＜性別＞

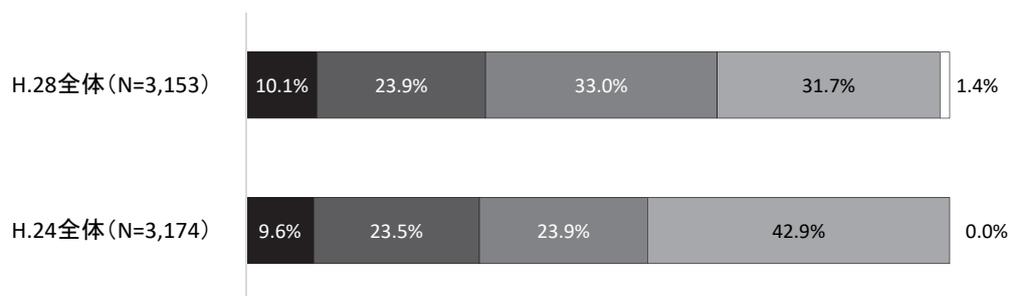
	男子		女子	
	平成 28 年	平成 24 年	平成 28 年	平成 24 年
1 位	SNS (81.1%)	メールをするため (95.5%)	SNS (91.4%)	メールをするため (98.3%)
2 位	音楽を聴く (78.2%)	通話するため (86.4%)	写真を撮る ・加工する (81.5%)	通話するため (85.9%)
3 位	ゲームをする (76.0%)	情報検索のため (54.7%)	音楽を聴く (80.4%)	情報検索のため (52.9%)

●インターネットでの購入経験者が、前回調査と比較して約1割増加。

インターネットでの購入経験に関して、「よく買う」「ときどき買う」を合わせると、前回調査と同様、3割台半ばという結果となった。前回調査と比べて、「買ったことはあるがほとんど買わない」が約1割上昇し、「買ったことがない」が約1割減少した。

インターネットでの購入経験＜全体＞

■よく買う ■ときどき買う ■買ったことあるがほとんど買わない ■買ったことがない □無回答



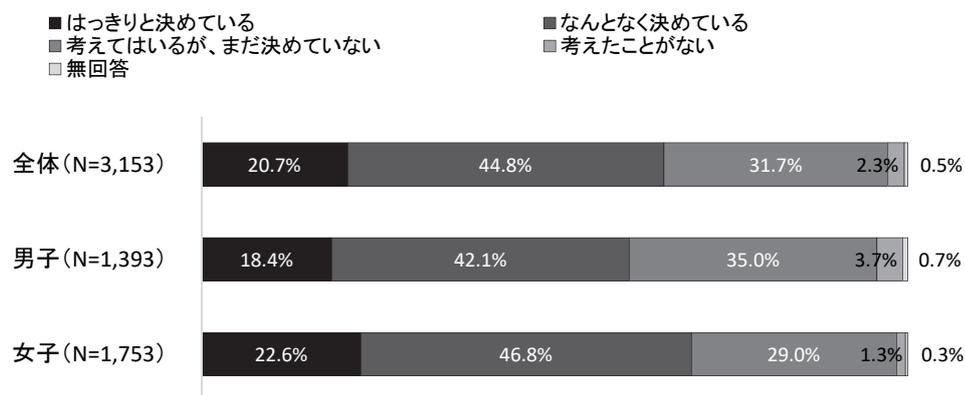
V. 将来について

【新規項目】

●将来就きたい職業を「はっきりと決めている」高校生は約2割。

将来の就きたい職業があるかは、全体の6割台半ばが「決めている（「はっきりと決めている」「なんとなく決めている」）」と回答した。そのうち「はっきりと決めている」と回答したのは約2割であった。性別では、男子より女子の方が「決めている」の割合が高かった。

【平成28年】将来就きたい職業を決めているか<全体・性別>



●将来就きたい職業は、男子は「公務員」が最多、女子は前回調査と同様「保育士・幼稚園教諭」が最多。

男子は「公務員」が最も多く、次いで「技術者・整備士」「プログラマ・システムエンジニア」が多かった。女子は、前回調査と同様、「保育士・幼稚園教諭」が最も多かった。次いで、「看護師・歯科衛生士」「会社員・事務員・秘書」「接客業・営業・販売」が多かった。

【平成 28 年】将来つきたい職業<性別>

※その他を除く

	男子	女子
1 位	公務員(警察官等を除く) (15.2%)	保育士・幼稚園教諭 (18.9%)
2 位	技術者・整備士 (14.0%)	看護師・歯科衛生士 (15.5%)
3 位	プログラマ・ システムエンジニア (12.8%)	会社員・事務員・秘書、 接客業・営業・販売 (10.9%)
4 位	教師 (12.1%)	調理師・栄養士 (10.0%)
5 位	建築士・測量士・ 大工・左官等 (11.6%)	介護士・理学療法士・ 作業療法士 (9.7%)

●前回調査と同様、「結婚したい」と思う高校生は約 7 割、結婚希望年齢は平均 25 歳。

前回調査と同様、全体の 7 割強が「結婚したい」と回答した。「結婚したくない」は 1 割弱であった。男子に比べ女子の結婚願望が高い結果となった。

結婚願望<全体・性別>

■結婚したい ■結婚したくない ■よく分からない ■その他 □無回答

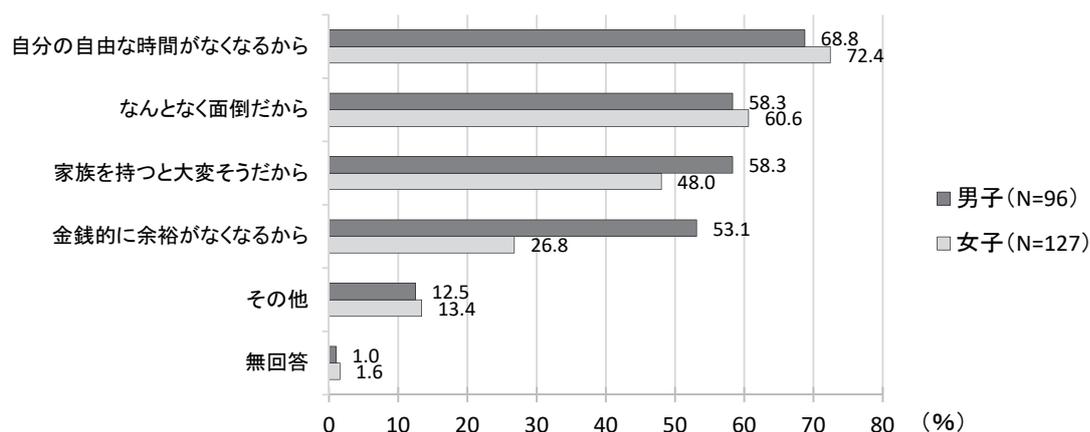


【新規項目】

●結婚したくない理由は、男女共に「自分の自由な時間がなくなるから」が最多。

「自分の自由な時間がなくなるから」が男女共に高く、次いで「なんとなく面倒だから」、「家族を持つと大変そうだから」となった。女子に比べて男子の方が「金銭的に余裕がなくなるから」の割合が高かった。

【平成 28 年】結婚したくない理由<性別>

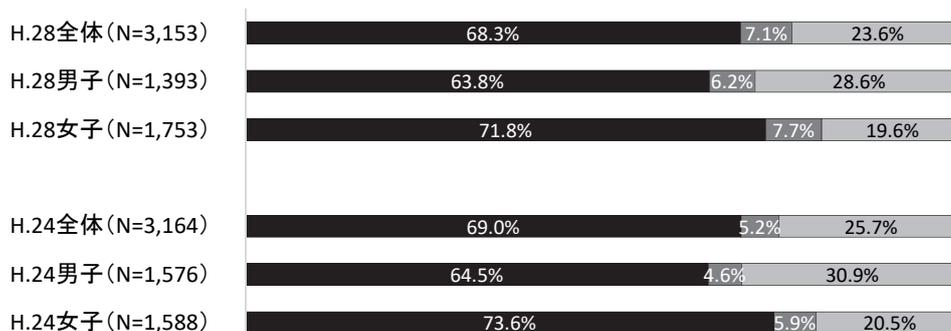


●「将来子どもを持ちたい」と思う高校生は、前回調査と同様7割弱。子どもの希望人数は前回調査の平均 2.7 人から平均 2.3 人に減少。

将来子どもを持つことについて、前回調査と同様、全体の7割弱が「持ちたい」と答えた。「持ちたくない」は1割弱であった。性別では、男子に比べ女子の方が「子どもを持ちたい」傾向にあり、結婚願望と比例する結果となった。

子どもを持ちたいか<全体・性別>

■子どもを持ちたい ■子どもを持ちたくない ■よく分からない

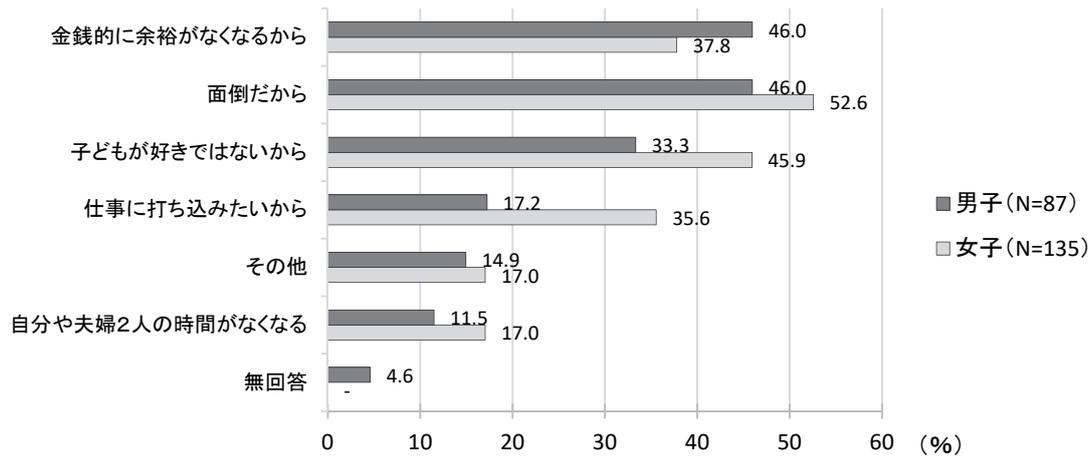


【新規項目】

●子どもを持ちたくない理由は、男女共に「面倒だから」が最多。

男女ともに「面倒だから」が最も多かった。次いで、男子は「金銭的に余裕がなくなるから」、女子は「子どもが好きではないから」が多かった。

【平成 28 年】子どもを持ちたくない理由<性別>

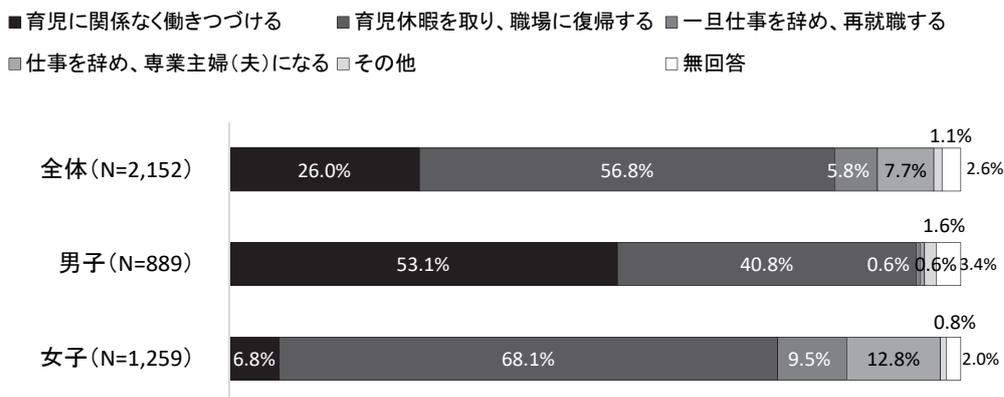


【新規項目】

●子どもが生まれた場合の働き方について、全体では「育児休暇を取り、職場に復帰する」が5割台半ば。

将来子どもが生まれた場合の働き方について、全体では「育児休暇を取り、職場に復帰する」が5割台半ばと最も多く、「一旦仕事を辞め、再就職する」や「仕事を辞め、専業主婦（主夫）になる」は、1割に満たなかった。性別でみると、男子は「育児に関係なく働き続ける」が最も多く、「育児休暇を取り、職場に復帰する」という回答も4割程度あった。女子は「育児休暇を取り、職場に復帰する」が約7割を占めた。

【平成 28 年】将来子どもが生まれた場合の働き方<全体・性別>

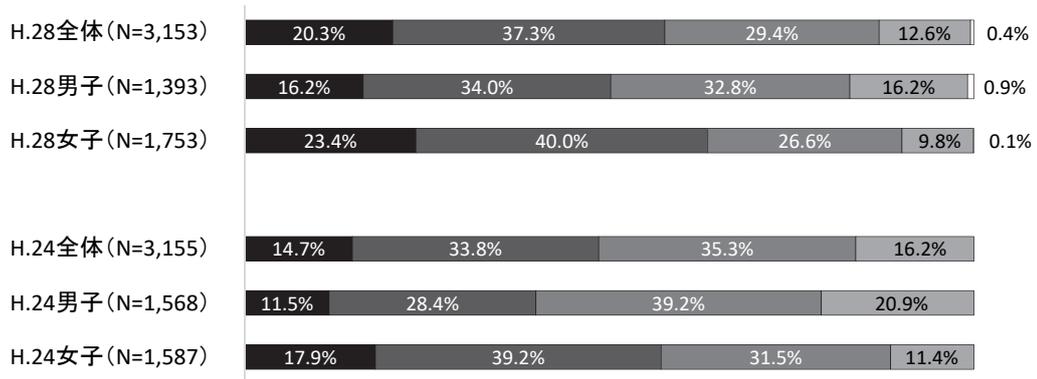


●将来の夢について保護者と「話す」という高校生が、前回調査と比較して増加。

「将来の夢」について、保護者と「よく話す」「ときどき話す」という回答を合わせると、6割弱となり、前回調査と比較して増加した。性別で見ると、女子は6割台半ばが「話す」傾向にあるが、男子は約5割であった。

将来の夢＜全体・性別＞

■よく話す ■ときどき話す ■あまり話さない ■まったく話さない □無回答



2. ヒアリング調査の概要

<調査の概要>

調査時期：2016年10月～12月

調査対象：アンケート調査協力校10校の教諭

学校所在地：宮城、栃木、東京、静岡、愛知、兵庫、京都、岡山、熊本、沖縄

調査内容：高校生の様子、家庭科の実施状況等

<主な調査内容>

高校生の様子

○最近の高校生の特徴

- ・昔と比べて持つものが変わっているの、それに対しては変化しているが、根本的なところでは変わっていないと感じる。(総合科)
- ・米を炊いたり湯を沸かす等、生活体験が乏しい生徒が多くなったように感じる(たとえばしょうが汁の調理実習をしても、昔より作れない生徒が増えたように感じる)。(普通科)
- ・昔と比べて、発表など人前で話すことが上手な生徒が増えた印象がある。一方で、学んだ内容を要約して重要なポイントを整理するなどの手作業は苦手になっている印象。(普通科)
- ・総じて生活体験が薄いと感じる。米を研いだり包丁を握ったことがない生徒もおり、驚かされる。家族で食卓を囲う機会が減っているのかもしれない。(普通科)
- ・最近では、草食系のやさしい男子生徒が増えてきたと感じる。どちらかというとな女子の方が元気良い。世間で草食系という言葉が出始めた頃から、変わってきたように思う。(工業科)

○おこづかい、アルバイト、消費生活について

～おこづかい～

- ・おこづかい等の使い道としては、飲食が多いと思う。また、インターネットで買い物をする生徒も増えているようだ。(普通科)
- ・おこづかいは計画的に節約して使う生徒が多い。(普通科)
- ・生徒は口を開けば「お金がない」と言っている。数年前と比べて母(父)子家庭が増えていることや、スマホ代が大きいと考えられる。(普通科)
- ・アンケート結果を見ると、おこづかいの金額は少ないように感じる。(総合科)
- ・アンケート結果を見て、おこづかいを定期的にもらっている生徒が少ないのは意外に感じる。(総合科)
- ・おこづかいについて、家庭科の授業で生徒に聞いているが、定期的にもらっている生徒は少なく、必要な時にもらう生徒が多い。毎月もらっている生徒は自分で管理できているようだ。(普通科)

～アルバイト～

- ・アルバイトは学校としては禁止だが、家庭の事情により許可をしている生徒もいる。(工業科)
- ・アルバイトは原則禁止にしており、やむをえない事情がない限り認めていない。(普通科)

- ・アルバイトは原則禁止しているが、家庭の事情により許可をしている場合もある。携帯電話は、保護者の干渉を嫌がり、料金も自分で支払っているという生徒が多いようだ。高校1年と3年とではクラスの雰囲気も違い、3年の方が進路や受験のことをより現実的に考える傾向にある。(商業科)

～消費生活～

- ・車の免許や奨学金を目的に貯金をしている生徒がいる。将来に対する不安が大きいのではないかと。(総合科)
- ・少ないこづかいで唐揚げを買ったりポテトを買ったりしているようだ。過去との比較という点では、昔と比べて華美なモノを持つことが少なくなったように感じる。(普通科)

○消費・契約について

～消費や契約について～

- ・3年次に問題商法等と合わせて教えているが、身近なことと感じにくいようだ。(普通科)
- ・スマートフォン上でお金を使う(例：ゲーム課金)など、物を買う形が以前とは変わってきていると感じている。時代の変化に子どもの方が対応しているため、親が分からない部分が増えている。(普通科)

～成年年齢引き下げについて～

- ・成年年齢の引き下げについては、日本は線引きが中途半端だと感じる。現在3年生に対しては話をしているが、小学校・中学校からの教育の積み重ねが必要ではないかと思う。(総合科)
- ・たとえば、成年年齢が引き下げになって連帯保証人や、ローンを組めるようになり、安易な気持ちで学生ローンなどの高金利の借入に手を出さないかを懸念。(普通科)
- ・法的な保護が弱まることによって、経済的な損失を被ることを懸念(マルチ商法など)。特に、卒業後一人暮らしをして、親の目の届かないところで不安を感じる。(普通科)
- ・成年年齢の引き下げについては、十分に判断ができる生徒、できない生徒は様々だと思う。18歳はかなり子どもだと感じるところがある。個人差は大きいと思う。(総合科)
- ・今の高校生は幼い感じがするので、成年年齢の引き下げについては、それでいいのかな？という気持ちがある。(工業科)
- ・成年年齢引き下げについて、成年の権利を与えられると同時に責任も増える。教員が生徒に教えられる時間は限られているため、学習を積み重ねるしかないと感じる。(普通科)
- ・家庭科の授業では、大学生で一人暮らしを始めることを想定して、それに備えた内容を教えるよう心がけているが、実際はかなり厳しいように思う。心配ではある。(普通科)
- ・成年年齢引き下げになるのは世の中の流れ的に受け入れざるを得ないと思うが、それに備えたしっかりとした教育をしなければならないと思っている。(普通科)

○携帯電話、パソコンの利用について

～学校におけるスマートフォンの利用可否～

- ・東日本大震災以降、学校内ではスマホ利用を禁止しているが、連絡手段として持ち込み可能としている。(普通科)
- ・昨年度途中から校内持ち込み可になったが、一切使用禁止(電源を切る)。持ち込み可になった理由として

は、通学中等に何かあった場合など、緊急時の対応のため。(普通科)

～所持状況～

- ・入学したときに携帯電話を持っていない人はいないぐらいほとんどの人が持っている。(総合科)(工業科)
- ・ガラケーを持っている人はまれで、高校入学を機にスマートフォンに変更する人も多い。(総合科)
- ・スマートフォンを欲しい理由として、男子はゲーム、女子は SNS がしたいという理由が多いのではないか。(総合科)

～使い方について～

- ・女子は友達とのやり取りに夢中になる傾向があり、かなりの時間を割かれている印象がある。(総合科)
- ・確たる根拠があるわけではないが携帯電話の利用時間と学業成績は反比例の関係にあるように感じる。学業成績の良い生徒は携帯の利用についても自分でセーブできている生徒が多い印象。(普通科)
- ・インターネットはほとんどスマートフォンで行っているものと思われる。(工業科)(総合科)
- ・生活の多くをスマートフォンが占めていると感じる。(総合科)
- ・(携帯・スマートフォンでメール・SNS をするという回答が多い結果を見て)何かあるとスマートフォンを触っている。調べ物はすべてスマートフォンで行い、パソコンはほとんど使わない。(総合科)
- ・ネット購入時の支払い方法は代引きの他、注文の途中で親にボタンタッチして親のクレジットカードで払ってもらっているなど、様々な方法を利用している。アンケートの結果で「クレジットカード払い」を選んでいる生徒が多いのはそのような方法をとっている結果ではないか。(普通科)
- ・男子の支払方法でプリペイドカードが多いのはゲームの支払いに利用していると思われる。ネットショッピングで購入するものとして、男子はゲーム、女子は洋服などが多いと感じる。(普通科)

○生活設計、将来の生活について

～結婚について～

- ・結婚願望については家族の学習の初めに必ず聞いている。アンケート結果同様、結婚したいという生徒は7割位である。(普通科)
- ・結婚したくないという子も昔よりも増えてきた印象。(普通科)
- ・結婚したい生徒でも、子どもは欲しくないと考える生徒も稀にだが出てきた。(普通科)
- ・結婚後の働き方については、社会全体の流れを感じているのではないか。キャリア教育も受けているので、将来働き続けたい生徒は増えているように思う。(総合科)

～将来の生活について～

- ・親が働いていて寂しかったから自分は子どもが小さい頃は家にいたい、と考える生徒もいる。(総合科)
- ・子どもが生まれた場合の働き方について、育児休暇を取ると回答している生徒も多い。育児について家庭科で取り上げる際、男子でも保育には積極的に取り組むものと思っている生徒が多い。これは女性の仕事だからやらない、という感覚の男子は少なくなっている。保育関係の仕事に就きたいという男子生徒もいる。性差がなくなってきたと感じる。(工業科)
- ・男子も、パートナーに専業主婦を望むよりは、共働きを望む生徒が増えてきた。(普通科)
- ・共働きを志向する生徒が増えてきた。おそらく、1人の給料だけでは生活が苦しくなるかもしれないと感じているのだろう。(普通科)

- ・女子はキャリア形成という観点でこれからの人生を考える生徒が昔に比べて増えてきた（バリバリ働きたいと考えている女子が増えた）。（普通科）
- ・自分の家をモデルとして見ることが多いと思う。働いている母親が多いことも影響しているのではないか。（総合科）
- ・基本的には、父親一人の収入で家計が成り立っており、母親が専業主婦として自宅にすることが多い家庭が多いように思われる。また、「育児休暇を取り、職場に復帰する」を選んでいる生徒が多いのは、実際に育児休暇を取っている教員がいるので、その影響ではないか。（普通科）
- ・高校2年生の家庭科で、「生活設計」について取り上げている。年度の最後の方で取り上げているので、バタバタとした中で、あまり時間が割けていない。大学進学率が高いので、20歳までの大学生である自分が描けているのではないか。また、資格を必要とする職業を望んでいる生徒もいるので、30歳までの就職についても描けているのではないか。（普通科）
- ・今の生活が充実しているので、次の節目までは見通せるがその先はあまり考えていないのではないか。（総合科）

家庭科の実施状況

○授業内容について

- ・クレジットカード・悪質商法（マルチ等）等を中心に教えている。（普通科）
- ・問題商法を中心に教えている。（普通科）
- ・重点的に行うところとしては、契約、ニーズとウォンツ、クレジット、クーリング・オフをはじめとした契約解除の方法等。（普通科）

○教材について

- ・新聞記事などから消費者問題を取り上げたことがある。映像教材などは使いやすかった。新しい問題を映像教材から学ぶのはわかりやすくいいと思うが、頻繁に新しいものは買えない。（総合科）
- ・時間数が限られているので、ゲーム教材等を使うとその分授業が進まないためなかなか取り入れられない。授業の進み具合が早いクラスでは調整のために取り入れたりはする。生徒にとってはインパクトがあるようだ。（工業科）
- ・教材は、新しいネット通販関連を扱った視聴覚教材などあればよいが、新しいものがなかなか入手できない。消費者関連の教材もどこを探せばよいかあまり知らないで教えてほしい。（商業科）

○外部講師について

- ・進学のため親元を離れる生徒が多いことから、高校3年の2月頃に外部講師を毎年呼んでおり、司法書士や消費生活センターなどから話を聞く機会を設けている。（普通科）

○新教科「公共」で社会保険を扱うことについて

- ・社会保険は多様な視点で学ぶ方が理解が深まると思う。つまり、家庭科的視点、社会科的視点（公共は社会科のため）両方の視点で学ぶが大切なので、引き続き家庭科でも触れていきたい気持ちはある。（普通科）

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート」

【調査結果】

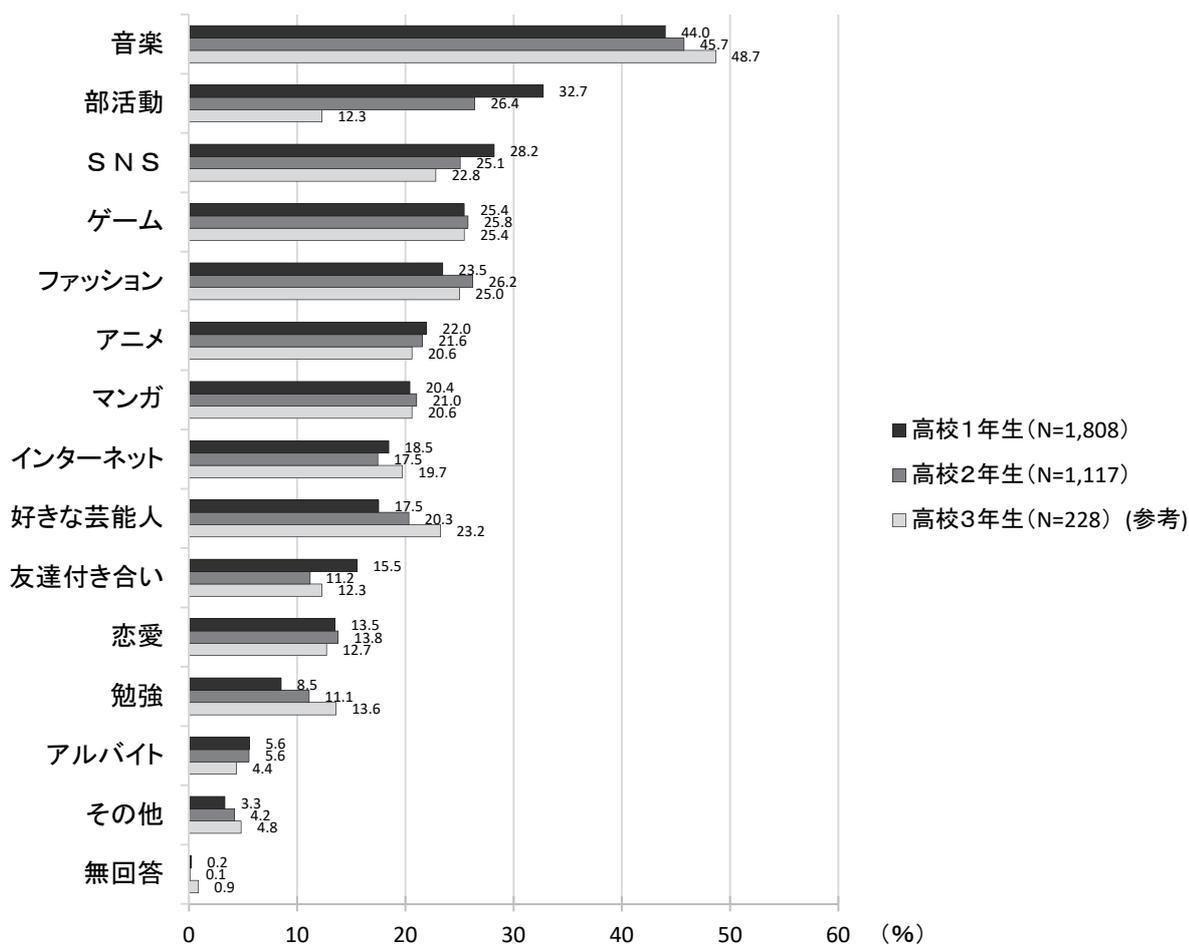
I 日常生活について

1. 興味があること

1年生にとって興味があることは、「音楽」が4割台半ばと最も多く、次いで「部活動」「SNS」が続いた。2年生も1年生同様「音楽」が4割台半ばと最も多く、次いで「部活動」「ファッション」が続いた。なお、「勉強」は学年が上がるにつれて高くなっている。

【図表 I-1-1】興味があること（複数回答3つまで）＜学年別＞

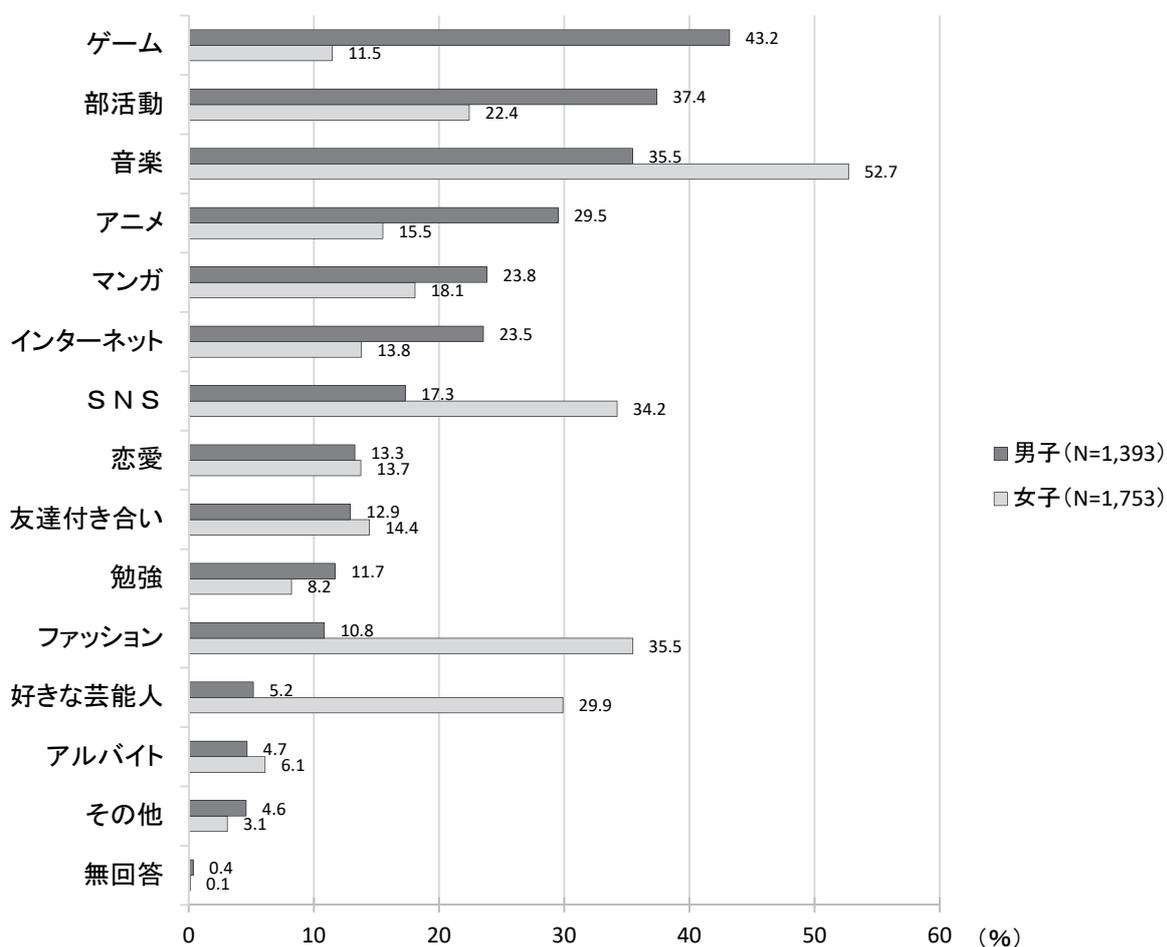
	1 位	2 位	3 位
1年生	音楽 (44.0%)	部活動 (32.7%)	SNS (28.2%)
2年生	音楽 (45.7%)	部活動 (26.4%)	ファッション (26.2%)
3年生 (参考)	音楽 (48.7%)	ゲーム (25.4%)	ファッション (25.0%)



性別でみると、男子は「ゲーム」と「部活動」「音楽」に興味があった。女子は男子3位の「音楽」が過半数を超えて1位となった。次いで男子11位の「ファッション」が3割台半ばで2位、男子7位の「SNS」が3位と、性別によって異なる結果となった。

【図表 I-1-2】興味があること（複数回答3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	ゲーム (43.2%)	部活動 (37.4%)	音楽 (35.5%)
女子	音楽 (52.7%)	ファッション (35.5%)	SNS (34.2%)



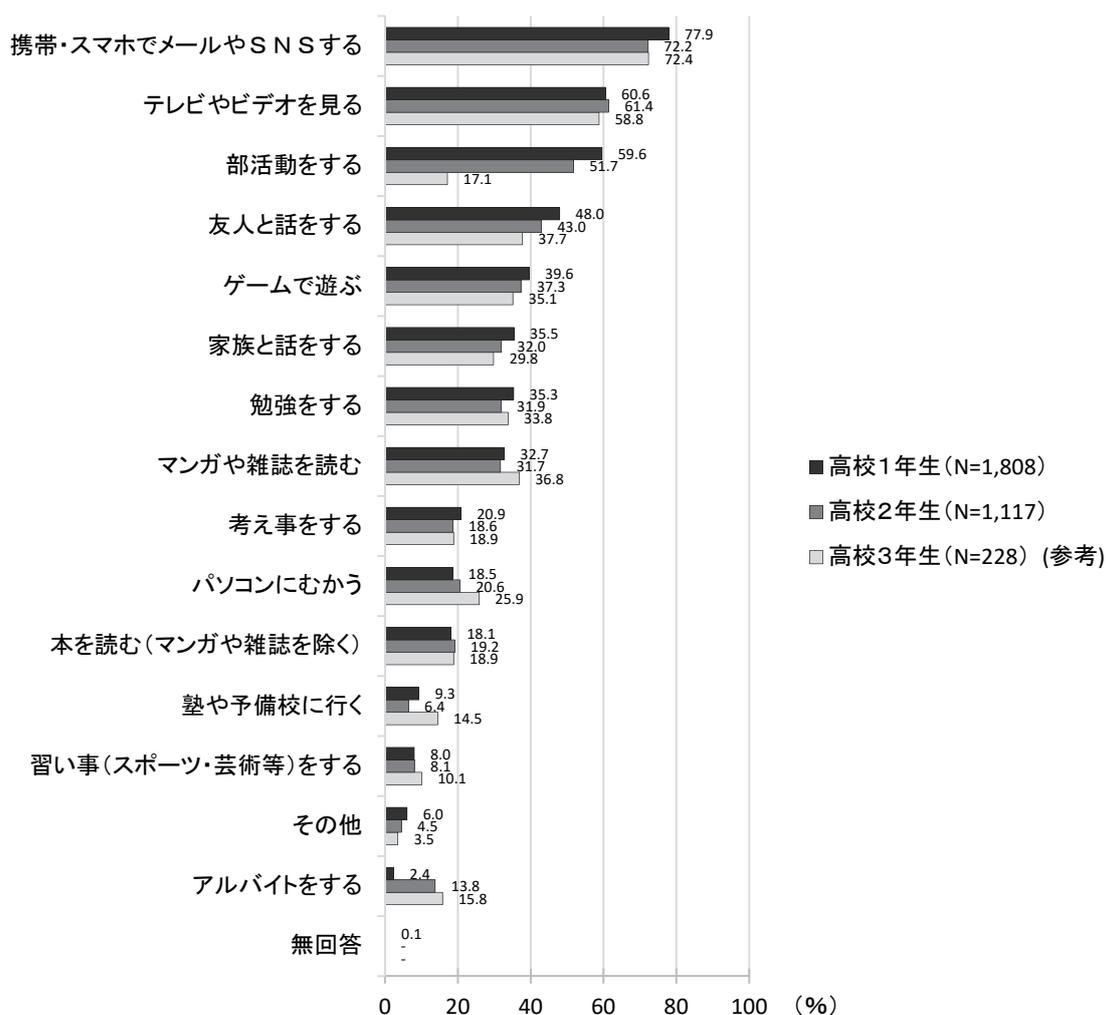
2. 授業以外の時間の過ごし方

1年生は「携帯・スマホでメールやSNS」が8割弱と最も多く、次いで「テレビやビデオを見る」と「部活動」が続き、2年生も順位は変わらなかった。

その他では、「音楽を聴く」「絵を描く」が多く挙げた。

【図表 I-2-1】授業以外の時間の過ごし方（複数回答）＜学年別＞

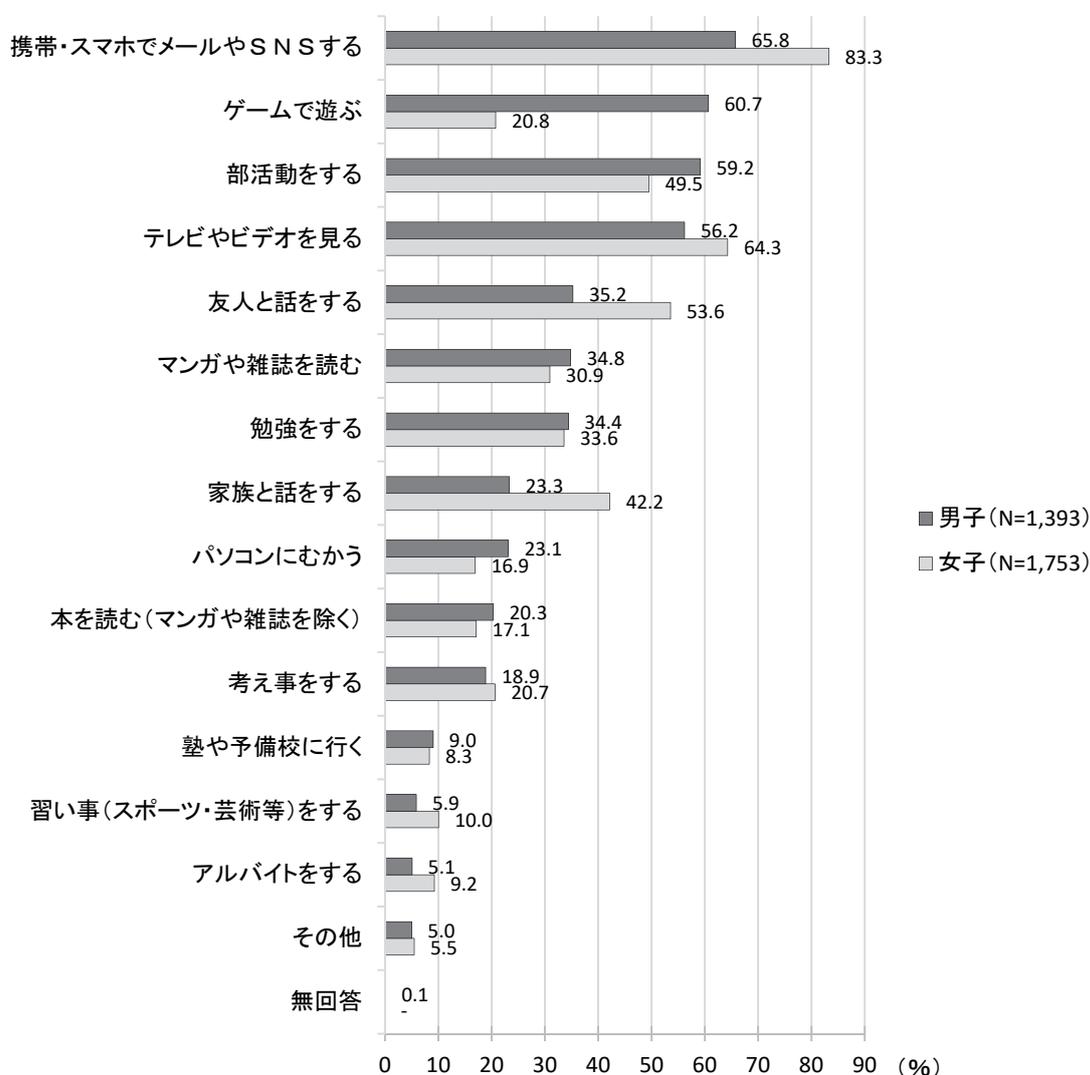
	1 位	2 位	3 位
1 年生	携帯・スマホでメールや SNS (77.9%)	テレビやビデオを見る (60.6%)	部活動 (59.6%)
2 年生	携帯・スマホでメールや SNS (72.2%)	テレビやビデオを見る (61.4%)	部活動 (51.7%)
3 年生 (参考)	携帯・スマホでメールや SNS (72.4%)	テレビやビデオを見る (58.8%)	友人と話 (37.7%)



性別でも「携帯・スマホでメールやSNS」が過半数の割合で上位を占めた。男女で大きく差がみられた項目は、「ゲームで遊ぶ」「友人と話」であった。

【図表 I-2 - 2】授業以外の時間の過ごし方（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	携帯・スマホでメールやSNS (65.8%)	ゲームで遊ぶ (60.7%)	部活動 (59.2%)
女子	携帯・スマホでメールやSNS (83.3%)	テレビやビデオを見る (64.3%)	友人と話 (53.6%)



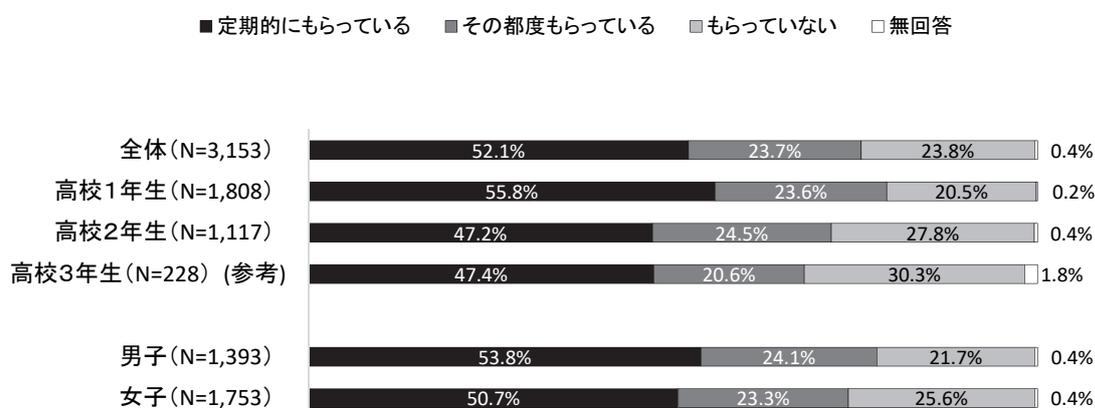
Ⅱ お小遣い、アルバイト等のお金について

1. お小遣いについて

1-1 お小遣いの有無

全体では、5割強がお小遣いを「定期的にもらっている」と回答した。また「その都度もらっている」も含めると、7割台半ばがお小遣いをもらっているという結果であった。学年別でみると2年生に比べて1年生がお小遣いをもらっている割合が高い。性別で大きな差はみられなかった。

【図表Ⅱ-1-1】お小遣いの有無＜全体・学年別・性別＞



1-2 1ヵ月にもらっている金額

1ヵ月にもらっている金額は平均で4,944円、中央値で5,000円であった。中央値でみると、男女では差がないが、学年では1年生4,500円で2年生は5,000円と500円上昇している。

【図表Ⅱ-1-2】1ヵ月にもらっている金額＜学年別・性別＞

		平均値	中央値
学年別	1年生	4,735	4,500
	2年生	5,160	5,000
	3年生 (参考)	5,786	5,000
性別	男子	5,204	5,000
	女子	4,734	5,000
合計		4,944	5,000

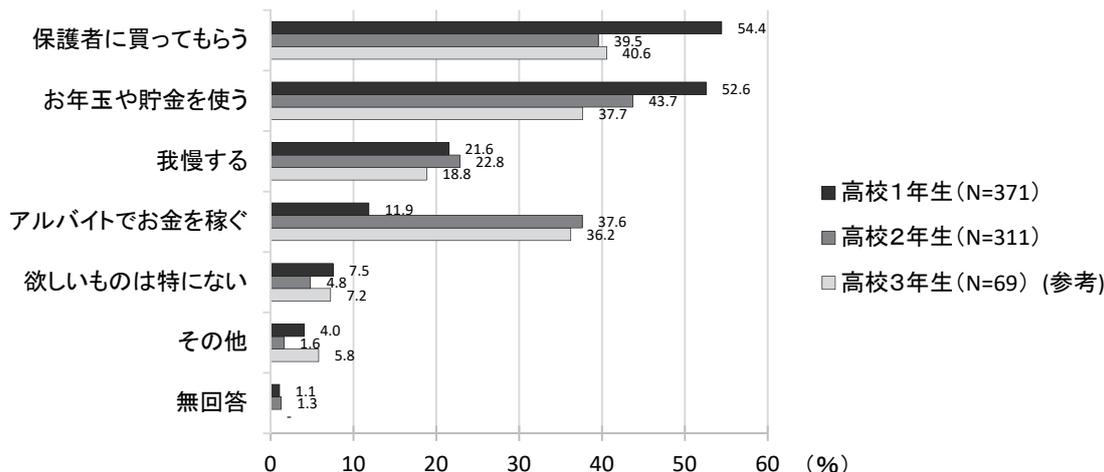
(単位：円)

1-3 お小遣いをもらっていない場合の対処法

お小遣いをもらっていない場合の対処法は、「保護者に買ってもらう」「お年玉や貯金を使う」が多い結果となった。学年で差がみられたのは「アルバイトでお金を稼ぐ」で、1年生に比べて2年生で割合が高かった。

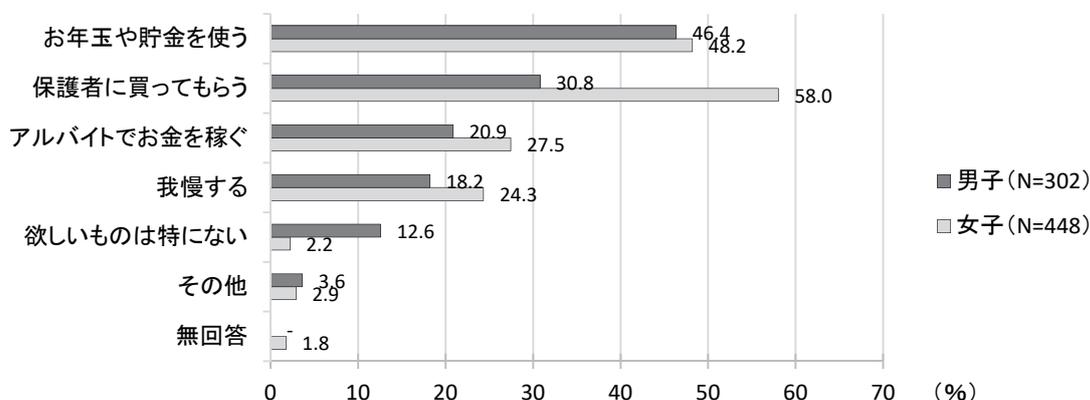
その他では「欲しい時にもらう」という回答があった。

【図表Ⅱ-1-3】 お小遣いをもらっていない場合の対処法（複数回答）＜学年別＞



性別でみると、男子は「お年玉や貯金を使う」が4割台半ばと最も多く、次いで「保護者に買ってもらう」が3割強となった。一方、女子は「保護者に買ってもらう」が6割弱で最も多く、次いで「お年玉や貯金を使う」が5割弱で男子と1位・2位が逆転した。3位は、男女共に「アルバイトでお金を稼ぐ」であった。

【図表Ⅱ-1-4】 お小遣いをもらっていない場合の対処法（複数回答）＜性別＞



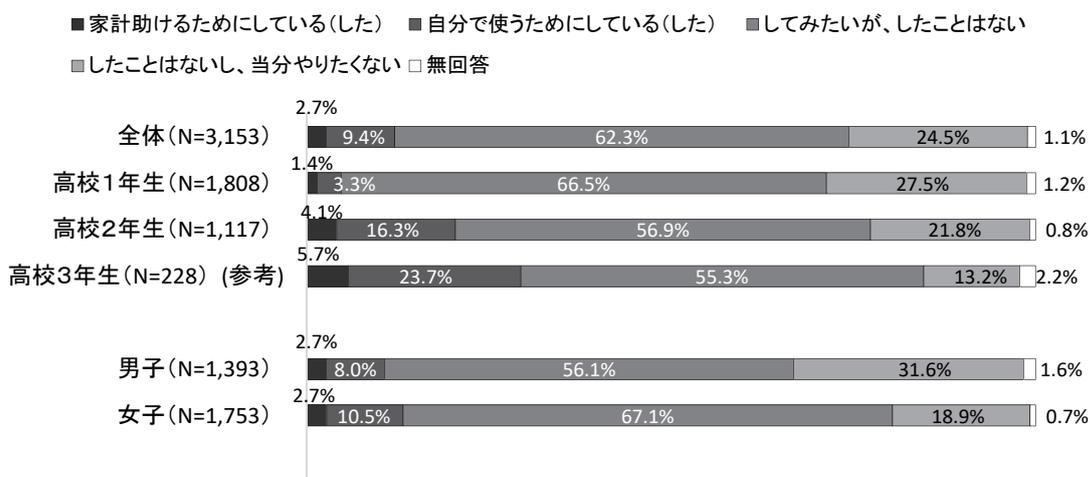
2. アルバイトについて

2-1 アルバイト経験

アルバイトの経験は「家計を助けるためにしている（した）」「自分で使うためにしている（していた）」を合わせて全体で1割強であり、「してみたいが、したことはない」が6割強であった。

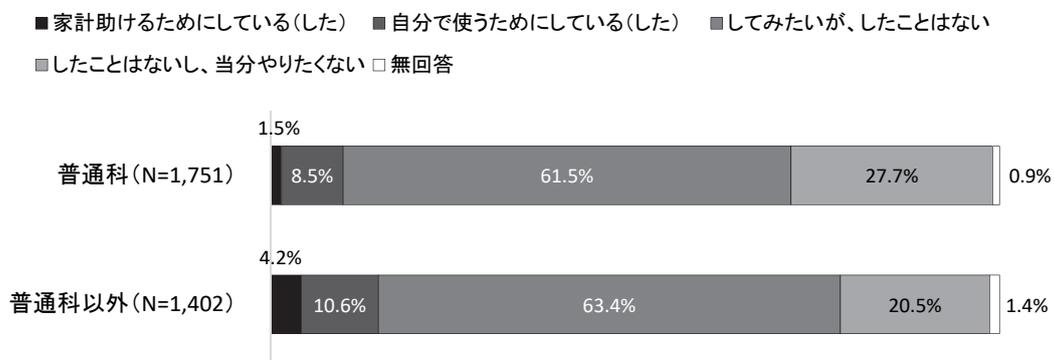
学年別では学年が上がるごとに経験者が増えていた。性別では、経験者の割合はほぼ同じであるが、女子の方が「してみたいが、したことはない」が多くなっている。

【図表Ⅱ-2-1】アルバイトの経験＜全体・学年別・性別＞



普通科とその他の職業科の違いでみると、経験者は普通科以外の学科にアルバイト経験が多い傾向がみられた。

【図表Ⅱ-2-2】アルバイトの経験＜学科別＞



(注) 普通科以外…商業、総合、工業、家庭、農業、情報、その他

2-2 1ヵ月の収入金額

1ヵ月の収入金額は、平均で41,421円、中央値で40,000円であった。中央値でみると、学年別では1年生に比べると2年生は10,000円高い。

性別では、男女に大きな差はみられなかった。

【図表Ⅱ-2-3】1ヵ月の収入金額<学年別・性別>

		平均値	中央値
学年別	1年生	36,632	30,000
	2年生	43,267	40,000
	3年生(参考)	41,545	40,000
性別	男子	39,979	40,000
	女子	42,342	40,000
合計		41,421	40,000

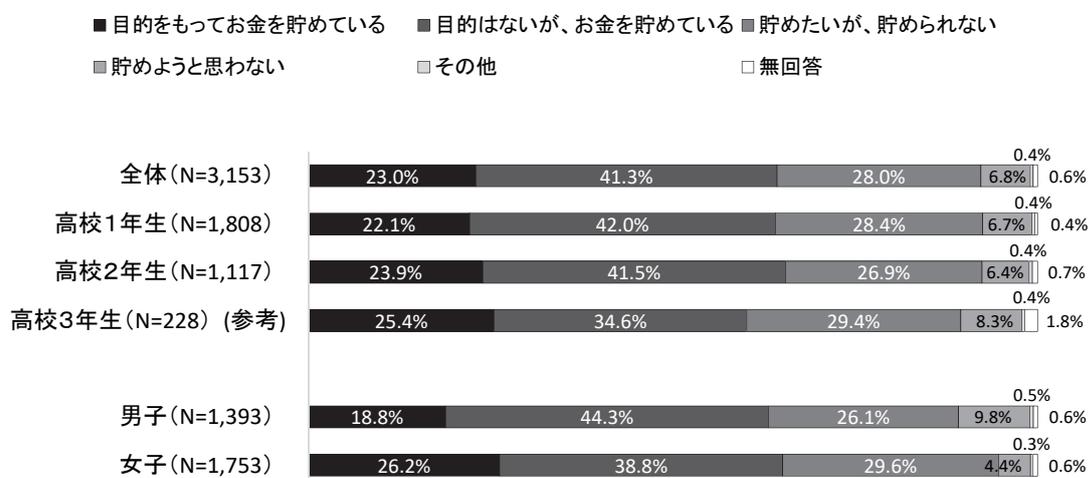
(単位：円)

3. 貯金について

全体では「目的をもってお金を貯めている」「目的はないが、お金を貯めている」を合わせると、6割台半ばの高校生が貯金をしている。しかし、目的をもってお金を貯めている高校生は2割台半ばにとどまっている。

性別でみると、男子に比べ女子の「目的をもってお金を貯めている」は若干高かった。

【図表Ⅱ-3-1】貯金の有無<全体・学年別・性別>



貯金の目的についての自由記述では、欲しいものを買うためという回答が最も多く、進学など将来のためという回答もあった。

【図表Ⅱ-3-2】貯金の目的（自由記述）

＜主な回答＞	
・欲しいものを買うため （楽器・本・ゲーム・DVD・CD・コンサート・グッズ・パソコン等）	306人
・将来のため（1人暮らし・夢のため等）	120人
・遊び・旅行のため （遊びに行く・旅行に行く・修学旅行のため等）	81人
・進学のため（大学・専門学校・学費等）	67人
・車の免許を取るため	45人
	他

4. お金について

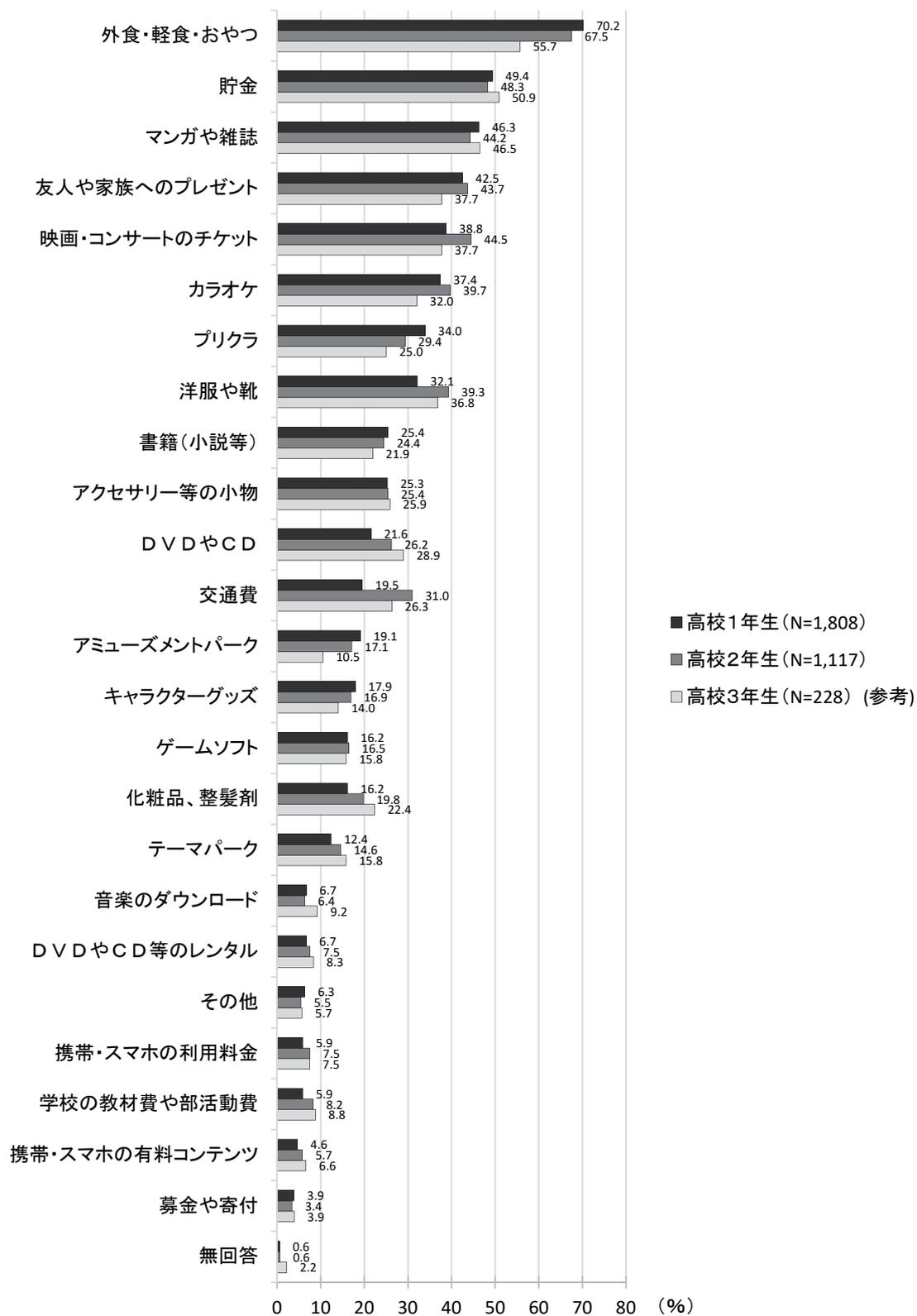
4-1 お金の使い道

学年別では「外食・軽食・おやつ」が1年生、2年生ともに最も多く、次いで「貯金」が上位に入った。お小遣いは主に飲食に使用されている。

その他では、「趣味のため」「遊ぶため」などが挙げられた。

【図表Ⅱ-4-1】お金の使い道（複数回答）＜学年別＞

	1 位	2 位	3 位
1年生	外食・軽食・おやつ (70.2%)	貯金 (49.4%)	マンガや雑誌 (46.3%)
2年生	外食・軽食・おやつ (67.5%)	貯金 (48.3%)	映画・コンサートのチケット (44.5%)
3年生 (参考)	外食・軽食・おやつ (55.7%)	貯金 (50.9%)	マンガや雑誌 (46.5%)

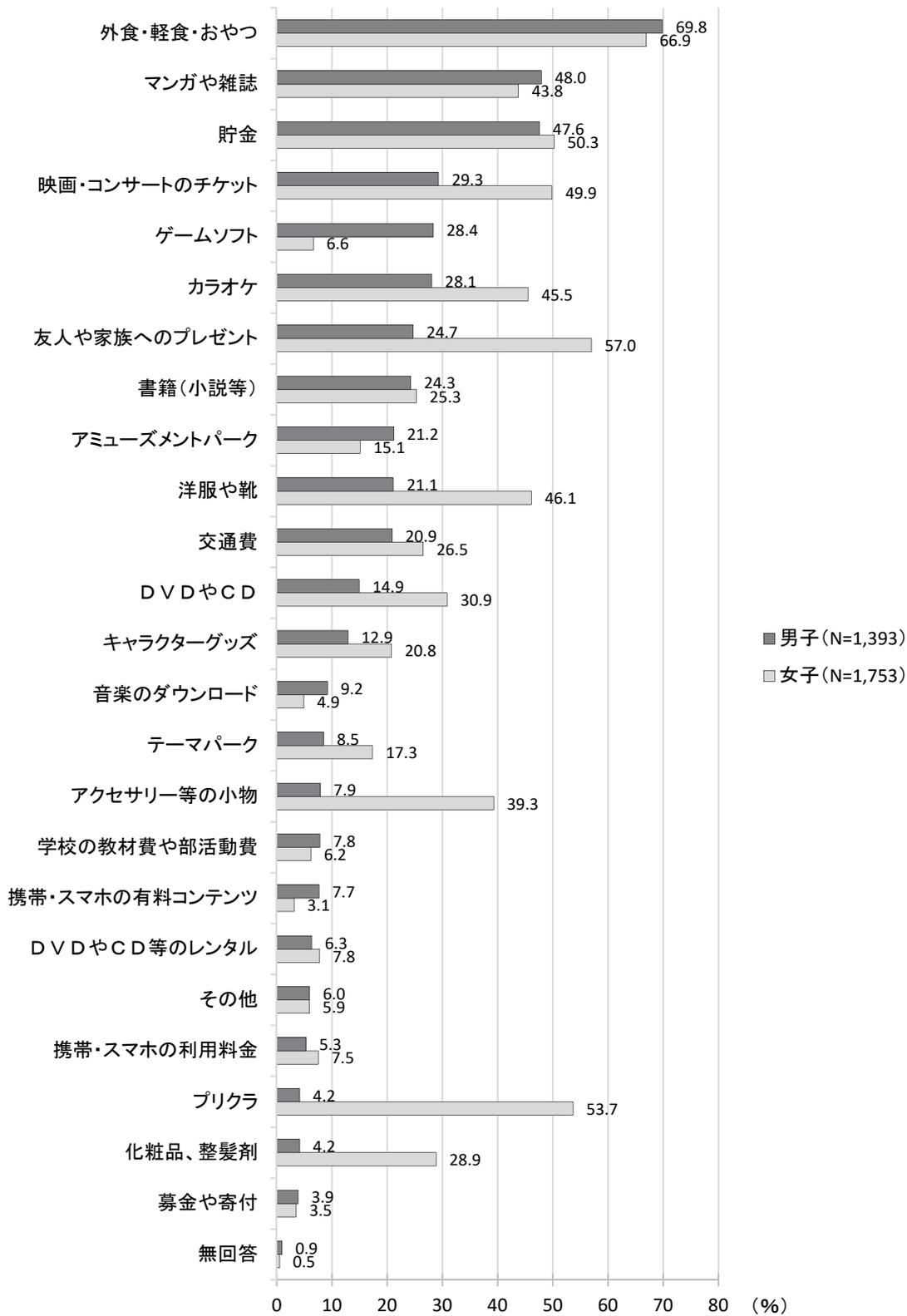


学年別で1位の「外食・軽食・おやつ」は、男女共に6割台半ば～約7割であり、性別でも1位となった。男子は、次いで「マンガや雑誌」「貯金」が5割弱となった。

一方、女子は「友人や家族へのプレゼント」が5割台半ばで2位、3位の「プリクラ」は男子と圧倒的な差がみられた。また「映画・コンサートのチケット」「カラオケ」「洋服や靴」「アクセサリー等の小物」「化粧品・整髪剤」なども男子と異なる結果となった。

【図表Ⅱ-4-2】 お金の使い道（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	外食・軽食・おやつ (69.8%)	マンガや雑誌 (48.0%)	貯金 (47.6%)
女子	外食・軽食・おやつ (66.9%)	友人や家族へのプレゼント (57.0%)	プリクラ (53.7%)

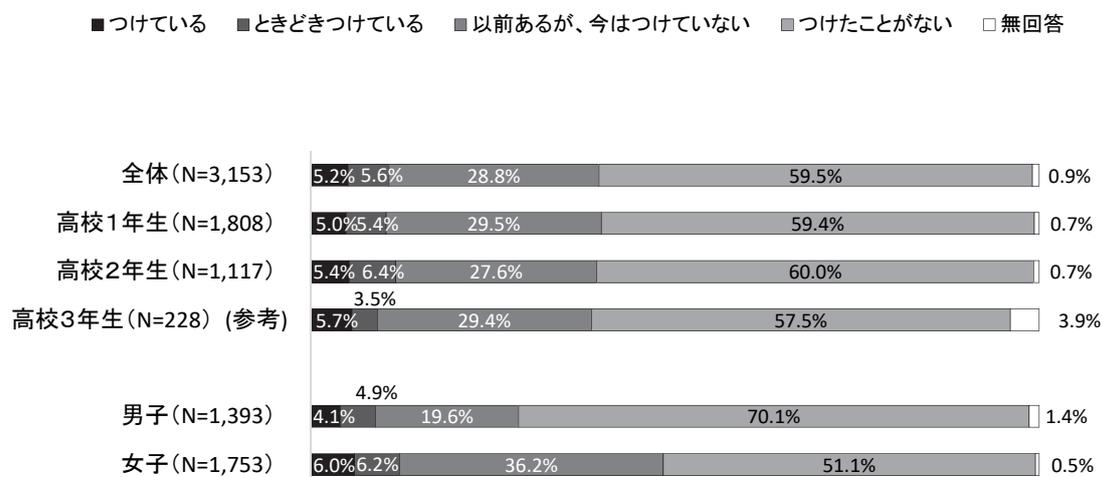


4-2 お金の管理（お小遣い帳の記録）

お小遣い帳を記録しているのは全体の1割未満で、「つけたことがない」との回答は約6割となった。

性別では、男子の約7割がつけた経験がないと回答したのに対し、女子は「以前つけていたが、今はつけていない」が比較的多く、5割弱がお小遣い帳の記録を経験していた。

【図表Ⅱ-4-3】お小遣い帳の記録＜全体・学年別・性別＞



Ⅲ 「消費・契約」について

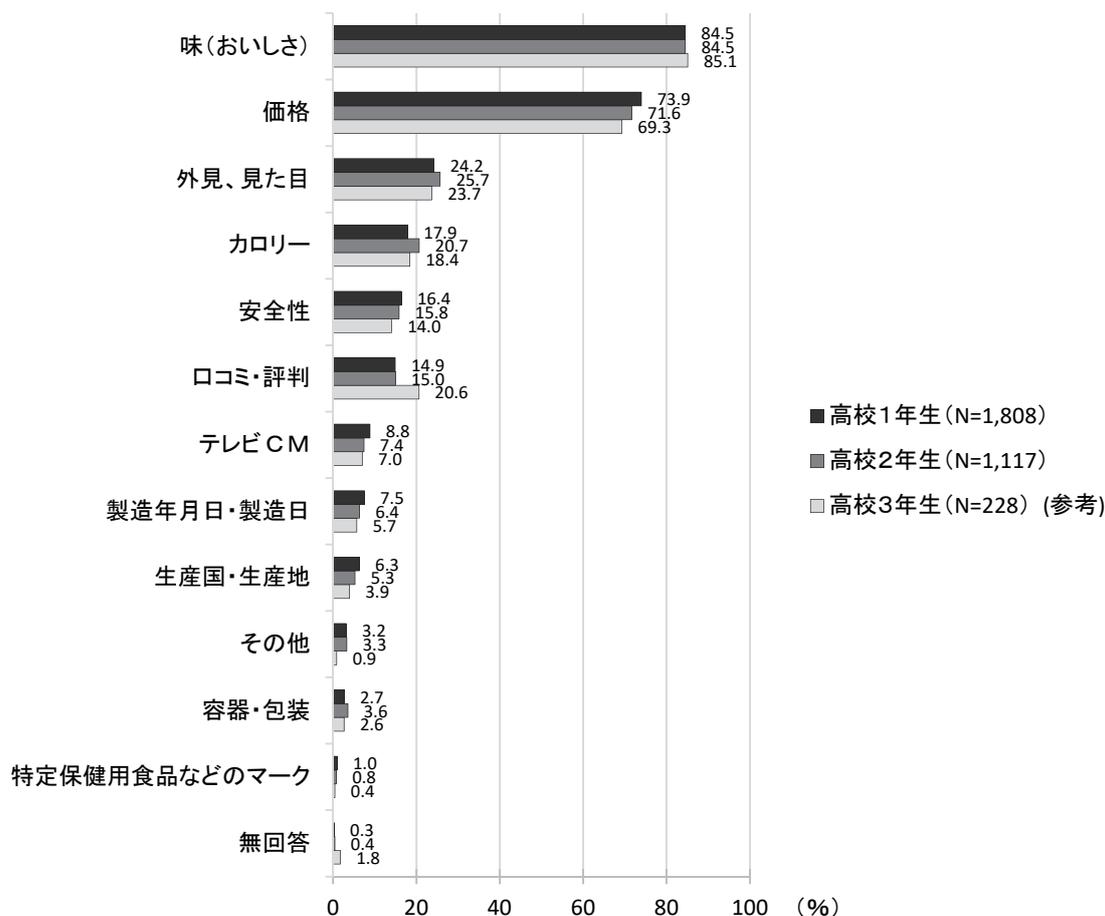
1. 買い物について

1-1 お菓子や飲み物を買う際に重視する点

学年別では、1年生2年生ともに1位が「味（おいしさ）」で8割台半ば、2位の「価格」は1年生が7割台半ば、2年生が7割強の回答となった。2位と3位のあいだは大きく開き、3位「外見・見た目」は1年生2年生ともに2割台半ばとなった。「製造年月日・製造日」「生産国・生産地」「容器・包装」「特定保健用食品などのマーク」への関心は低い。その他では、「量」「気分」などが挙げられた。

【図表Ⅲ-1-1】 お菓子や飲み物を買う際に重視する点（複数回答3つまで）＜学年別＞

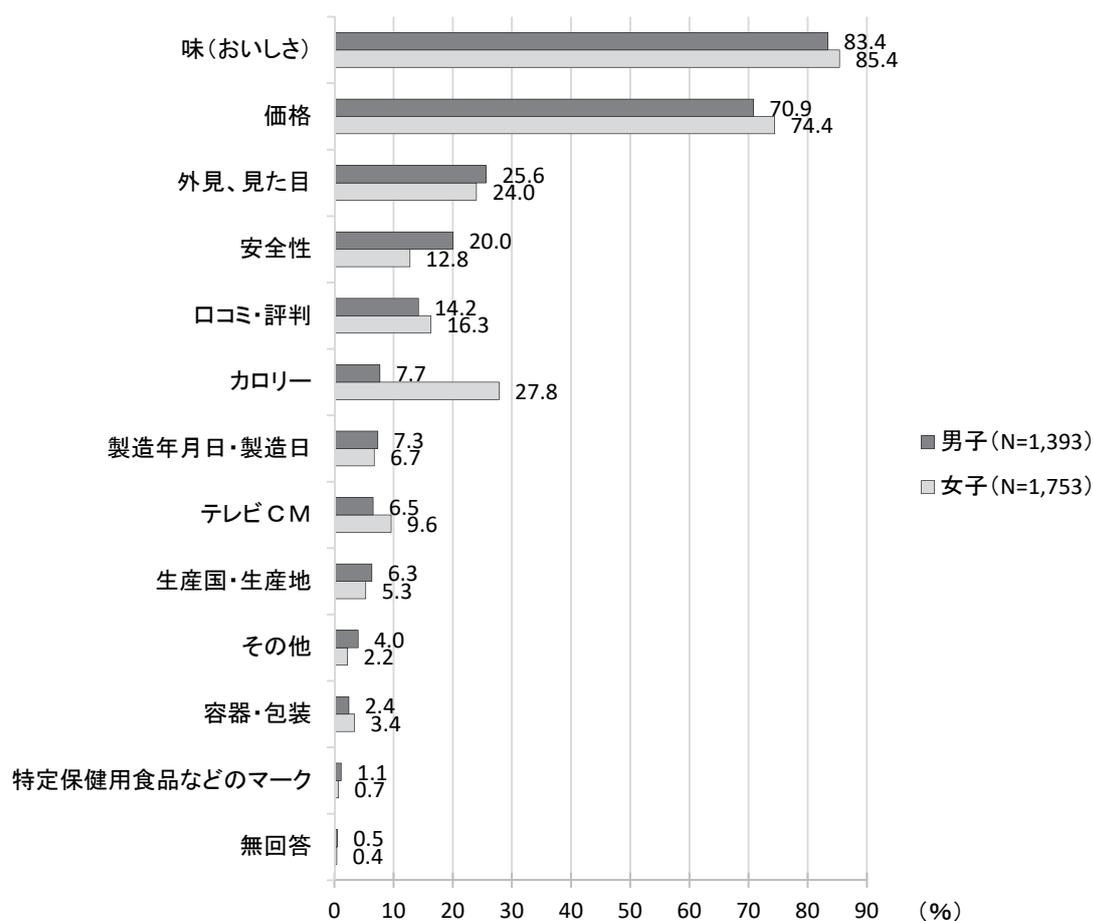
	1 位	2 位	3 位
1年生	味（おいしさ）（84.5%）	価格（73.9%）	外見、見た目（24.2%）
2年生	味（おいしさ）（84.5%）	価格（71.6%）	外見、見た目（25.7%）
3年生（参考）	味（おいしさ）（85.1%）	価格（69.3%）	外見、見た目（23.7%）



性別でも「味（おいしさ）」「価格」が上位を占めた。3位については、男子は「外見、見た目」だが、女子は「カロリー」と回答した。

【図表Ⅲ-1-2】お菓子や飲み物を買う際に重視する点（複数回答3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	味（おいしさ）（83.4%）	価格（70.9%）	外見、見た目（25.6%）
女子	味（おいしさ）（85.4%）	価格（74.4%）	カロリー（27.8%）

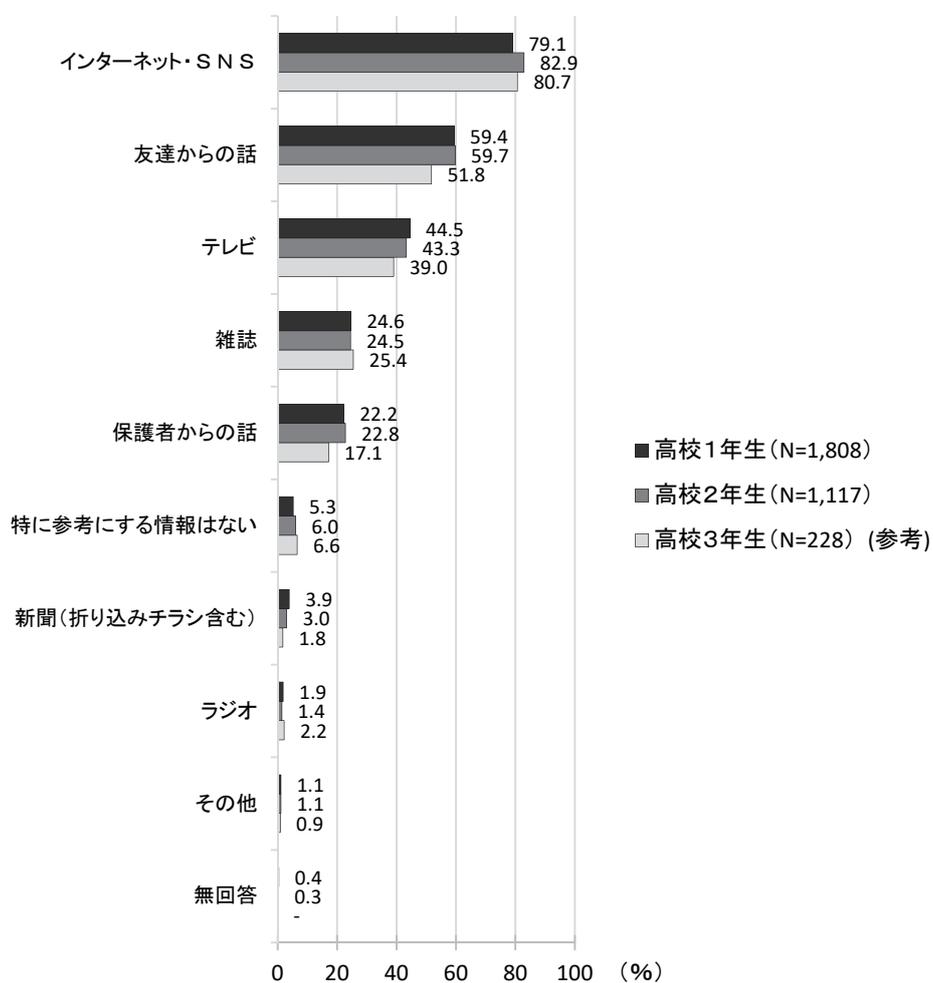


1-2 欲しいものがあるとき、参考にする情報

学年別では1位が「インターネット・SNS」で1年生は8割弱、2年生は8割強となった。次いで2位が「友達からの話」で1年生は6割弱、2年生は約6割、3位の「テレビ」は1年生、2年生ともに4割台半ばとなった。「特に参考にする情報はない」は低く1割未満であった。その他では、「自身で見る」が挙げた。

【図表Ⅲ-1-3】欲しいものがあるとき、参考にする情報（複数回答）＜学年別＞

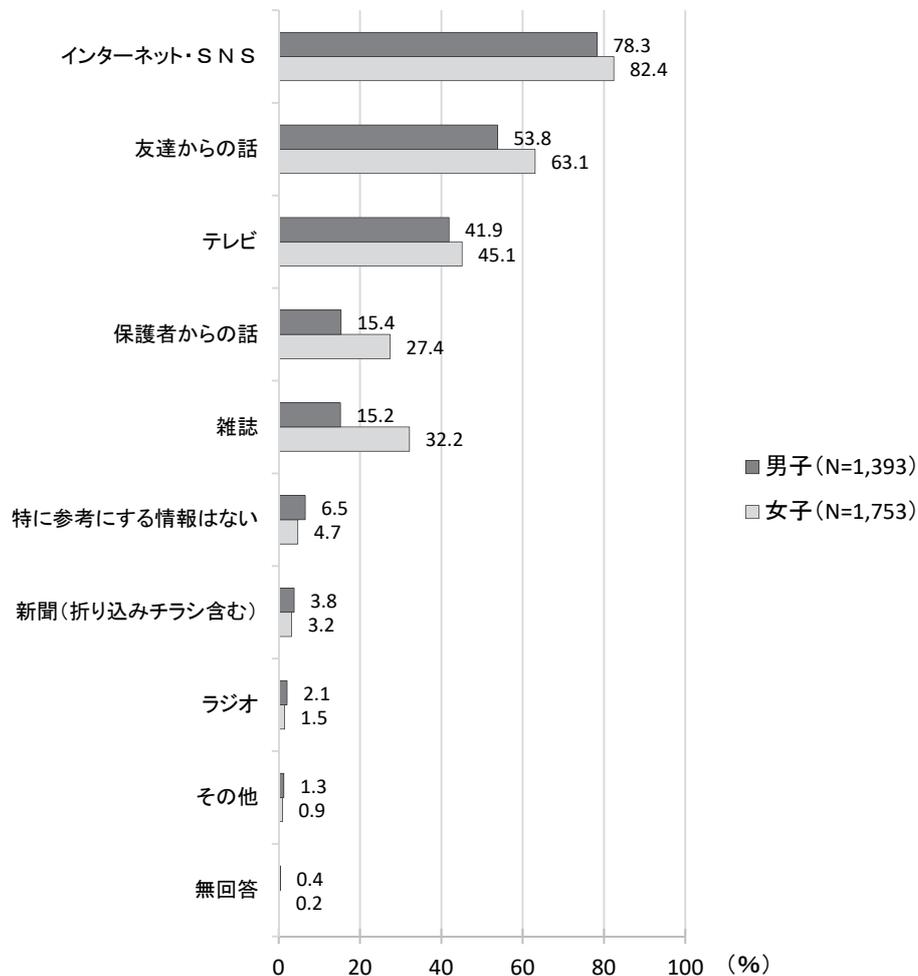
	1 位	2 位	3 位
1 年生	インターネット・SNS (79.1%)	友達からの話 (59.4%)	テレビ (44.5%)
2 年生	インターネット・SNS (82.9%)	友達からの話 (59.7%)	テレビ (43.3%)
3 年生 (参考)	インターネット・SNS (80.7%)	友達からの話 (51.8%)	テレビ (39.0%)



性別でも1位が「インターネット・SNS」で8割弱～8割強、2位「友達からの話」が男女で1割程差があり、男子の5割台半ばに対して、女子が6割台半ば、3位「テレビ」は4割強～4割台半ばとなった。4位以降では「保護者からの話」「雑誌」が男子に比べ女子の方が高かった。

【図表Ⅲ-1-4】欲しいものがあるとき、参考にする情報（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	インターネット・SNS (78.3%)	友達からの話 (53.8%)	テレビ (41.9%)
女子	インターネット・SNS (82.4%)	友達からの話 (63.1%)	テレビ (45.1%)

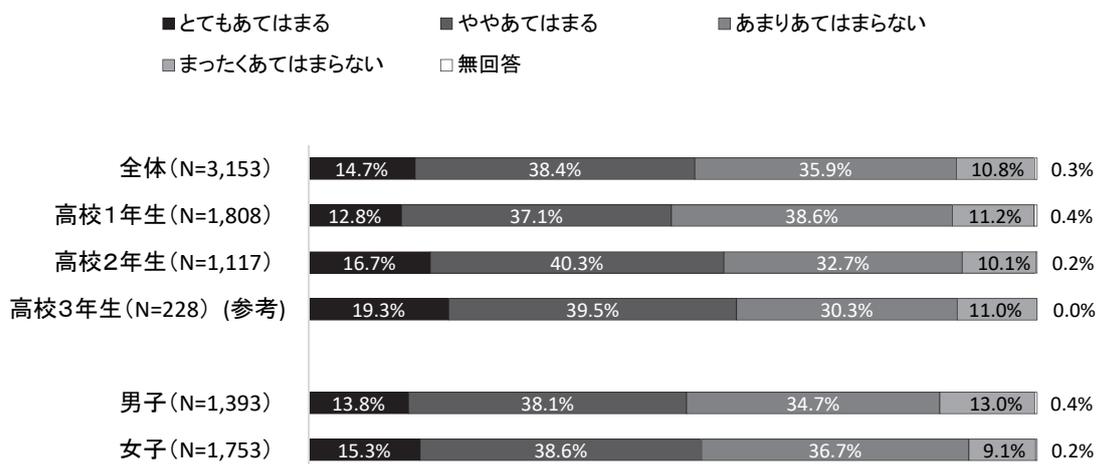


1-3 買い物の傾向

(1) 衝動買いをする

全体の約半数が「衝動買いをする」と回答した。学年別、性別による大きな差はみられない。

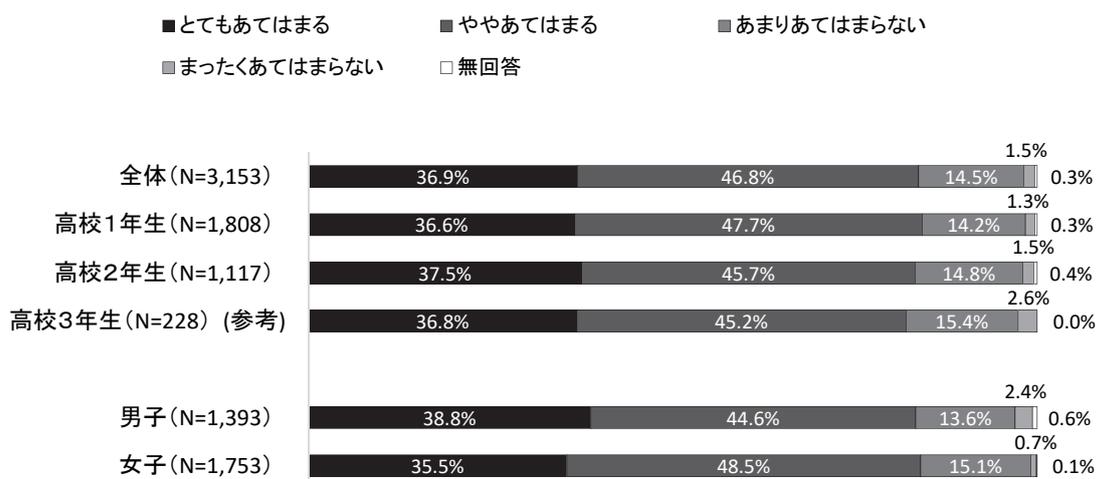
【図表Ⅲ-1-5】衝動買いをする<全体・学年別・性別>



(2) 買ったものはできるだけ長く使用する

全体の8割台半ばが買ったものはできるだけ長く使用すると回答した。学年別、性別による大きな差はみられない。

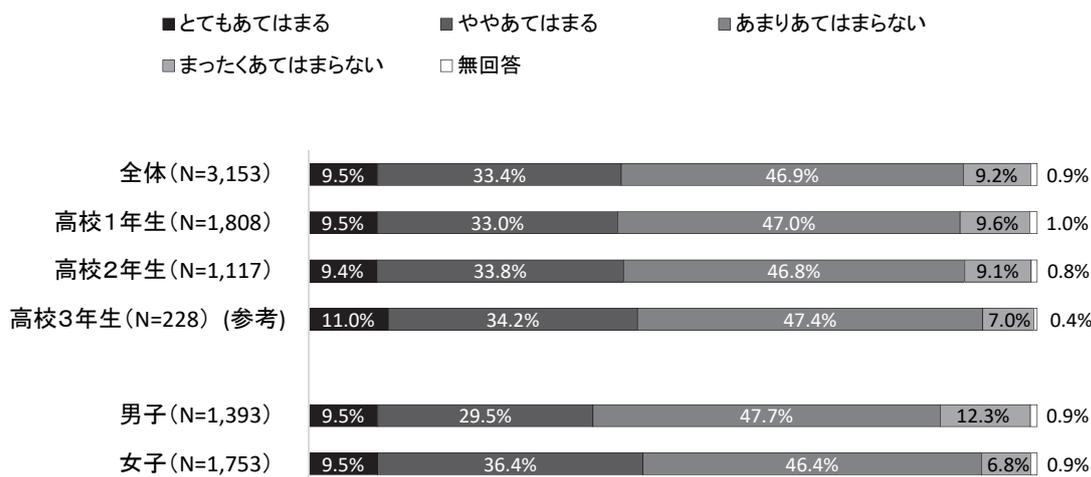
【図表Ⅲ-1-6】買ったものはできるだけ長く使用する<全体・学年別・性別>



(3) 品質より見た目で買う

全体の4割強が品質より見た目で買うと回答した。性別では、女子の方が「品質よりも見た目で買う」傾向が強かった。

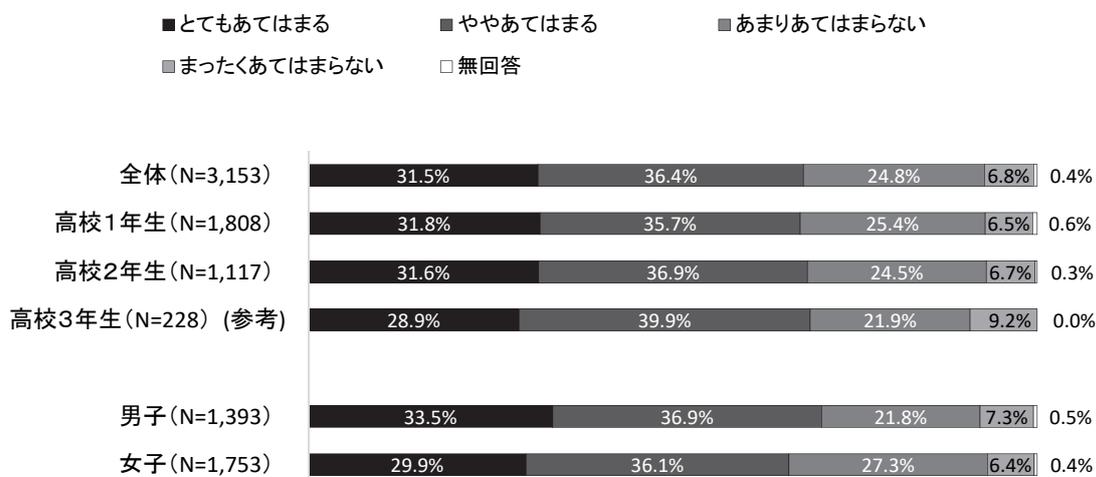
【図表Ⅲ-1-7】品質より見た目で買う<全体・学年別・性別>



(4) お金が足りない場合は貯めて買う

全体の7割弱は、お金が足りない場合は貯めて買うと回答した。学年別、性別による大きな差はみられない。

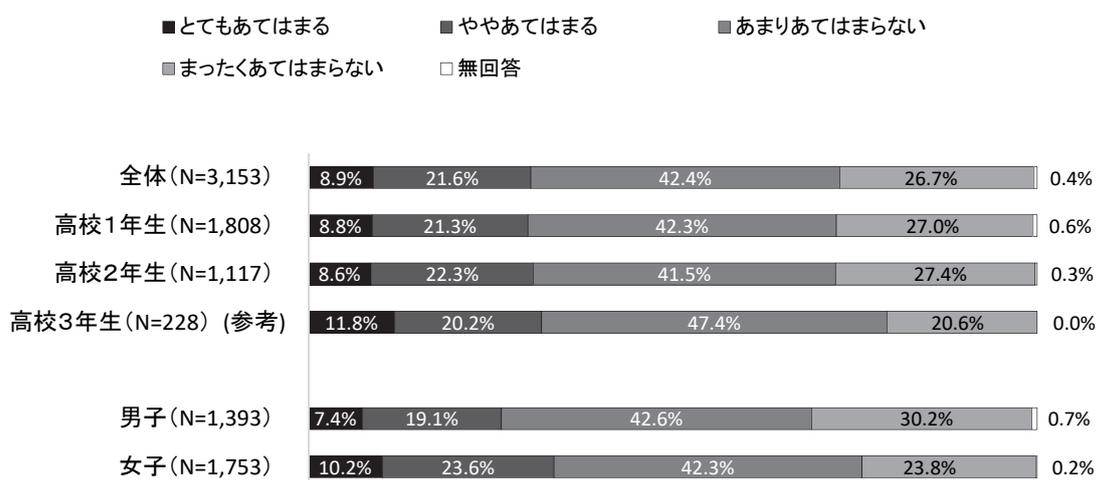
【図表Ⅲ-1-8】お金が足りない場合は貯めて買う<全体・学年別・性別>



(5) テレビCMに影響されやすい

全体の3割強がテレビCMに影響されやすいと回答した。学年別、性別による大きな差はみられない。

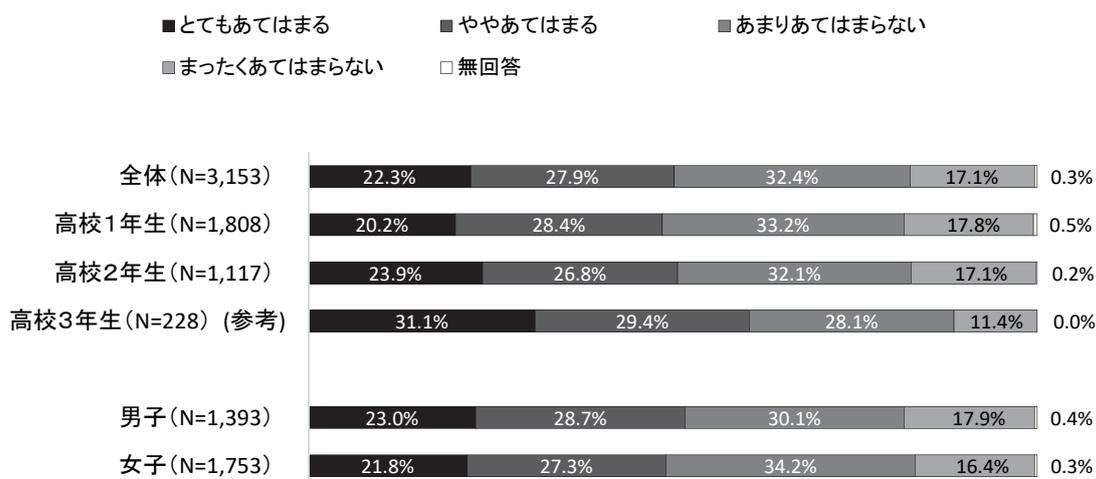
【図表Ⅲ-1-9】テレビCMに影響されやすい<全体・学年別・性別>



(6) 買い物のために情報収集をする

全体の約半数が買い物のために情報収集をすると回答した。

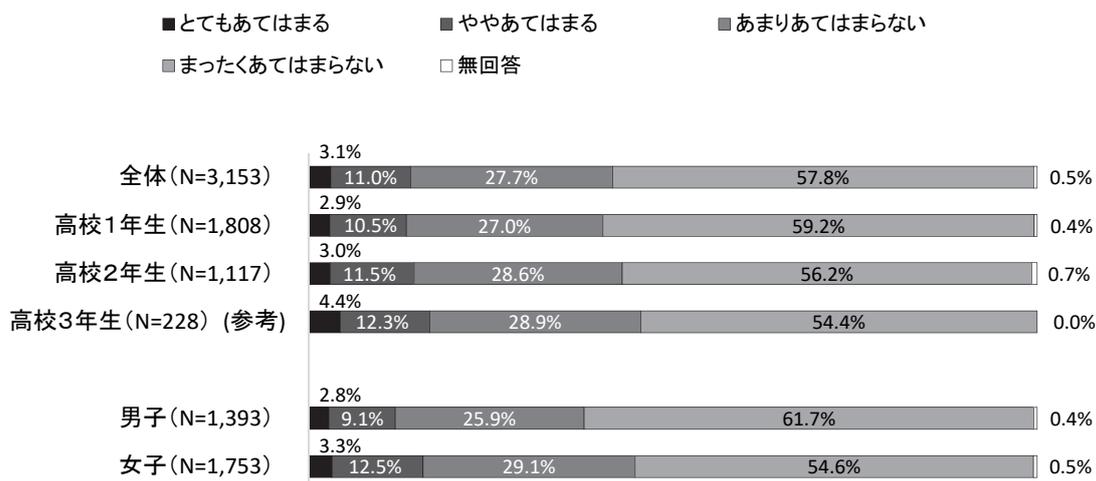
【図表Ⅲ-1-10】買い物のために情報収集をする<全体・学年別・性別>



(7) 偽ブランドであっても似ていれば買う

全体の1割台半ばが偽ブランドであっても似ていれば買うと回答した。学年別、性別で大きな差はみられない。

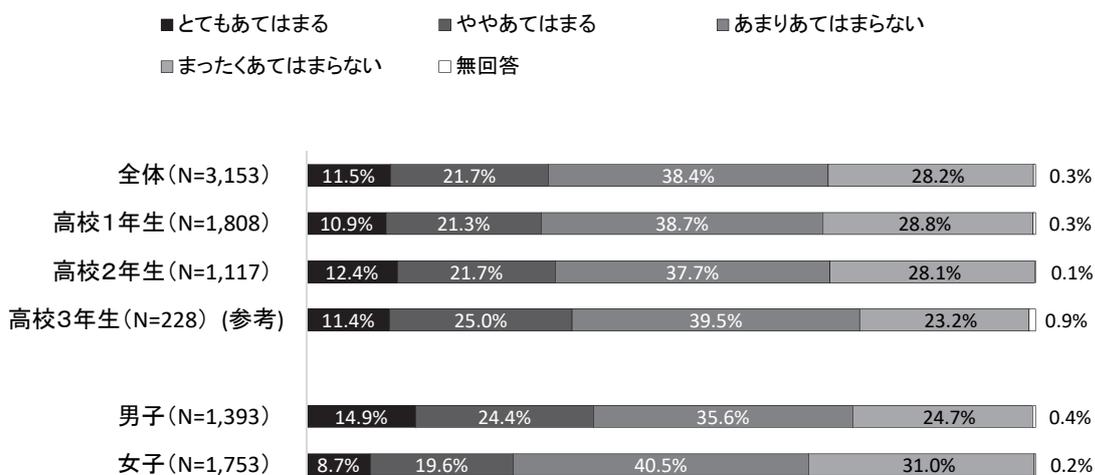
【図表Ⅲ-1-1 1】偽ブランドであっても似ていれば買う<全体・学年別・性別>



(8) 商品に問題があった場合、企業などに連絡する

全体の3割台半ばが商品に問題があった場合、企業などに連絡すると回答した。性別では、男子の方が「連絡する」傾向が強かった。

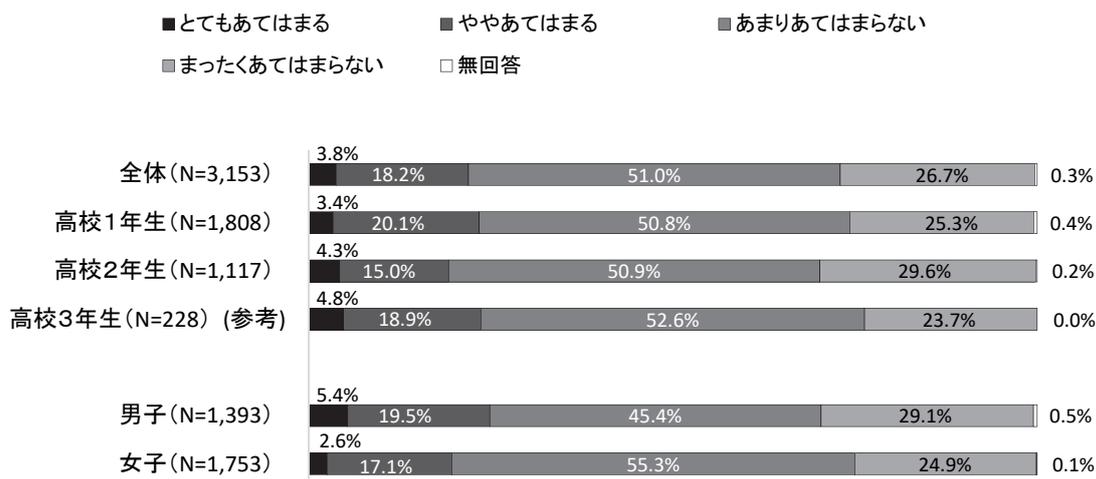
【図表Ⅲ-1-1 2】商品に問題があった場合、企業などに連絡する<全体・学年別・性別>



(9) フェアトレード商品を積極的に選ぶ

全体の2割強がフェアトレード商品を積極的に選ぶと回答した。性別では、男子が選ぶ傾向にあった。

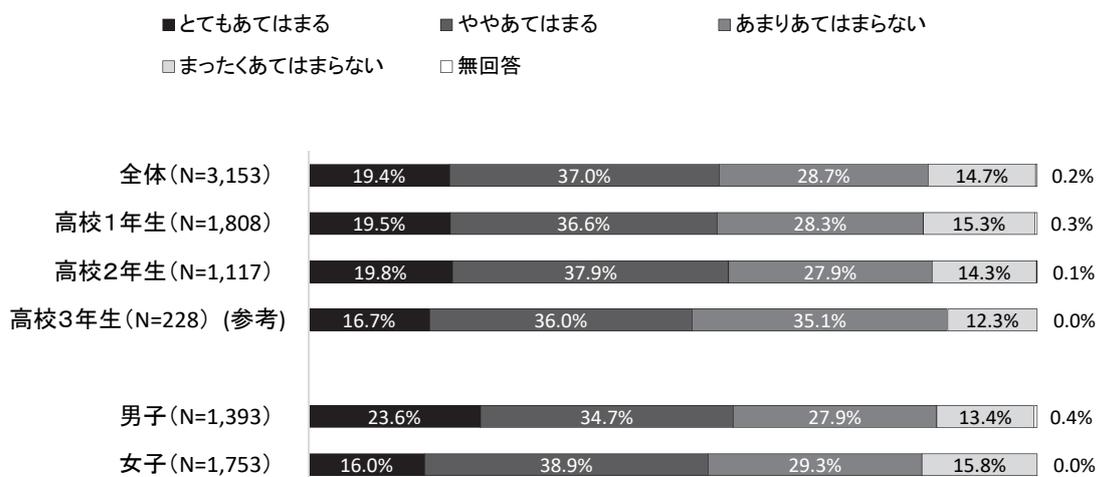
【図表Ⅲ-1-13】フェアトレード商品を積極的に選ぶ<全体・学年別・性別>



(10) レジ袋をもらう

全体の5割台半ばがレジ袋をもらうというと回答した。「とてもあてはまる」割合は、性別では、男子が高い傾向にあった。

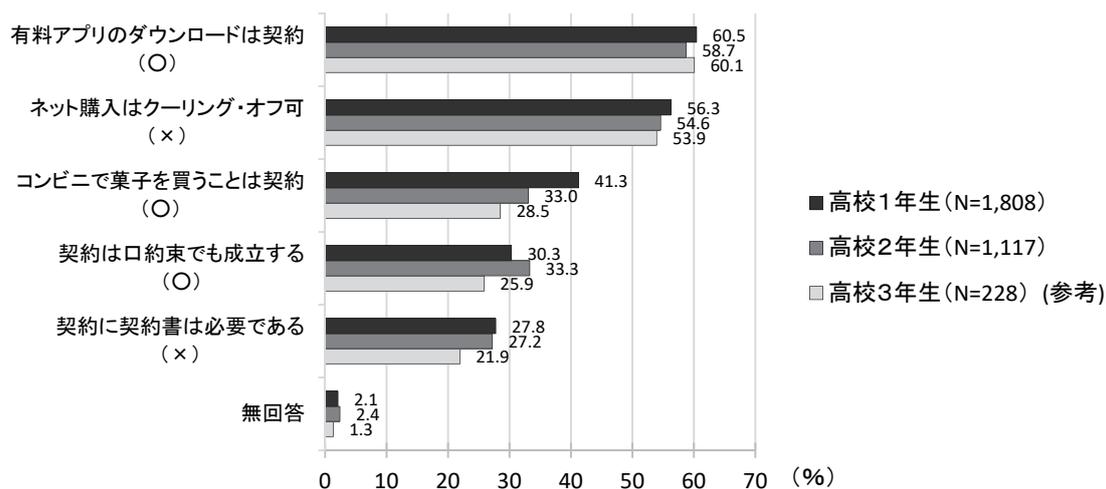
【図表Ⅲ-1-14】レジ袋をもらう<全体・学年別・性別>



1-4 契約の知識

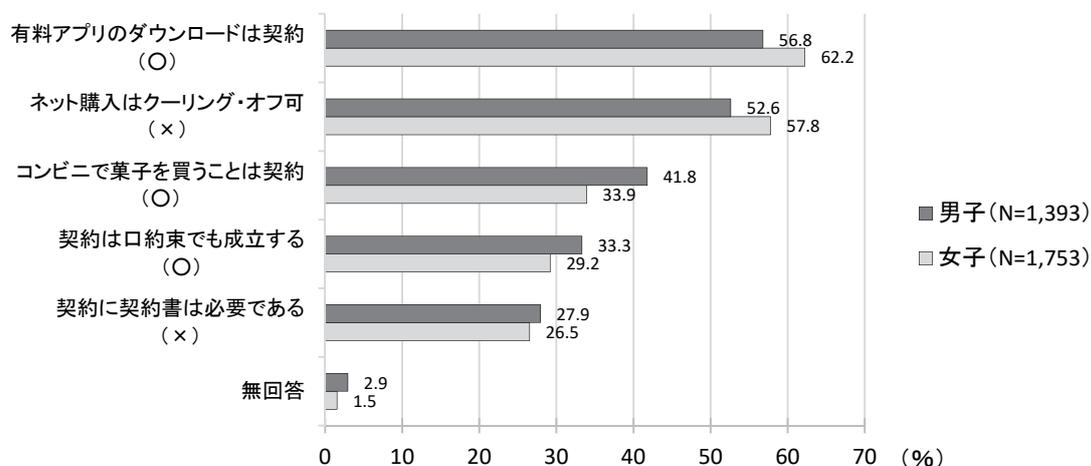
「有料アプリのダウンロードは契約」の正答率は6割弱～6割強と最も高かった。次いで「ネット購入はクーリング・オフ可」の正答率は5割台半ばであった。「コンビニで菓子を買うことは契約」は2年生よりも1年生の方が正答率は高かった。

【図表Ⅲ-1-15】正答率<学年別>



性別では、男女共に「有料アプリのダウンロードは契約」の正答率は5割台半ば～6割強と最も高かった。次いで「ネット購入はクーリング・オフ可」の正答率は5割強～6割弱であった。「コンビニで菓子を買うことは契約」は女子よりも男子の方が正答率が高かった。

【図表Ⅲ-1-16】正答率<性別>



IV 携帯電話・スマートフォン・パソコン利用について

1. 携帯電話・スマートフォンについて

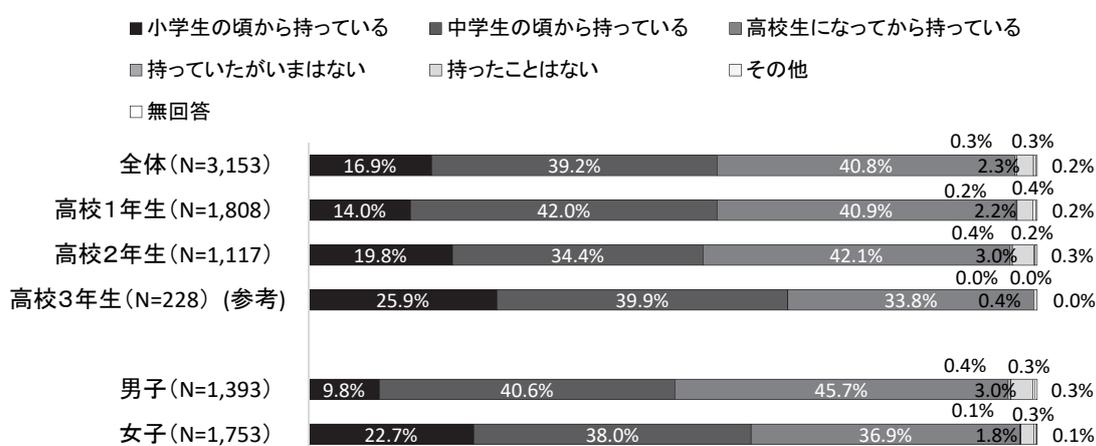
1-1 携帯電話・スマートフォンの所持

全体で 96.9%の学生が携帯電話を所持していた。全体では高校生から所持する割合が最も高く、小学生から所持していた割合が1割台半ばであった。

性別では、小学生からの所持率は女子が高く、高校生からの所持率は男子が高い。

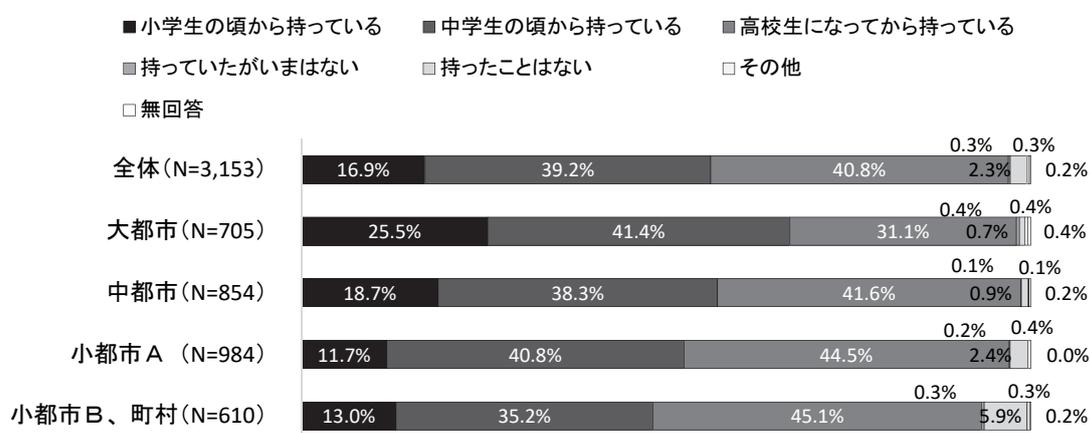
その他では、「保育園から」「スマートフォンではなくタブレット」が挙げられた。

【図表IV-1-1】携帯電話・スマートフォンの所持<全体・学年別・性別>



都市別でみると、「高校生から」は都市規模が小さい方が多く、「小学生から」は大都市に多い傾向があった。大都市では、「小学生から」「中学生から」を合わせると6割台半ばであり、高校に入学する前に携帯電話を所持していた。

【図表IV-1-2】携帯電話・スマートフォンの所持<都市別>

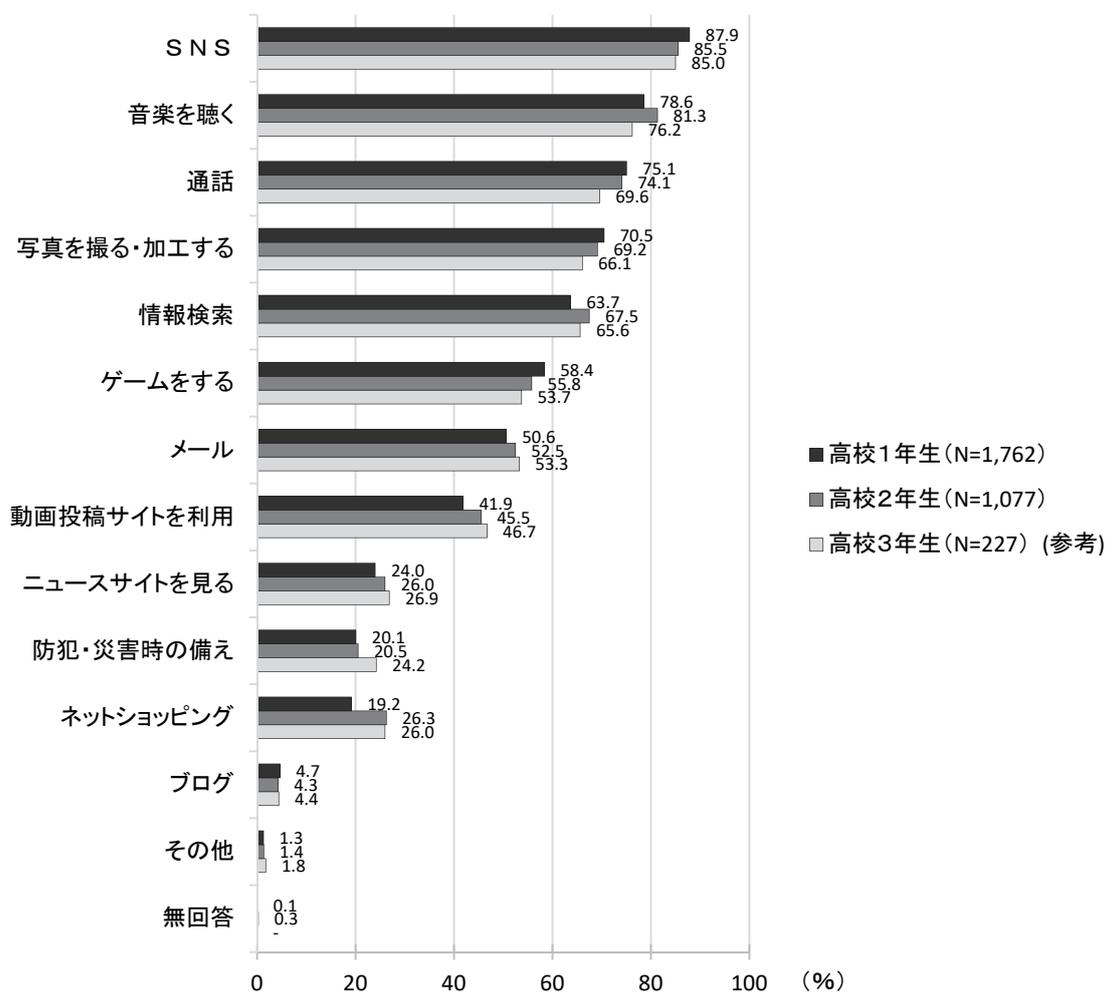


1-2 携帯電話・スマートフォンの利用目的

「SNS」が8割台半ば～9割弱と最も多い回答であった。次いで「音楽を聴く」が7割台半ば～8割強、「通話」も約7割～7割台半ばとなった。2年生は1年生に比べると「ネットショッピング」の回答が多かった。

【図表IV-1-3】携帯電話・スマートフォンの利用目的（複数回答）＜学年別＞

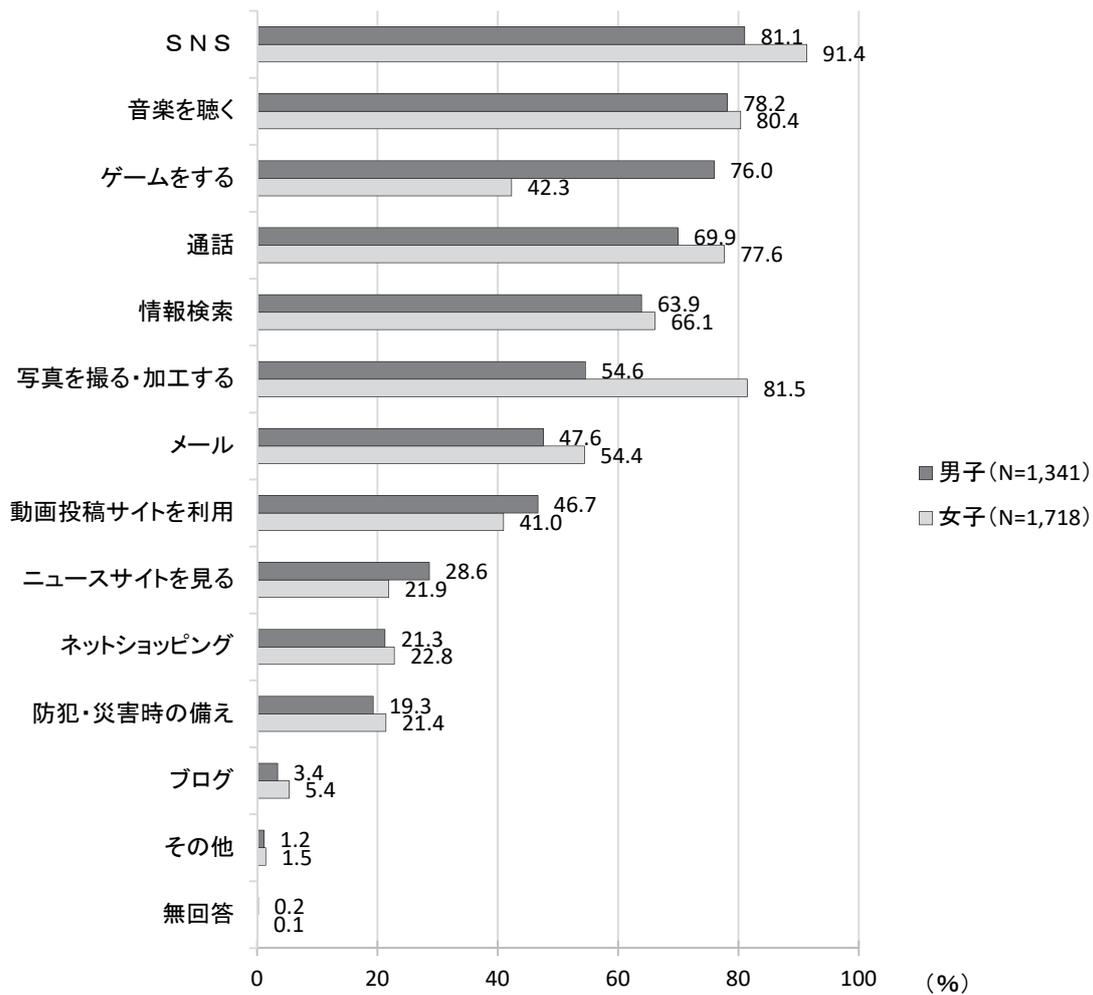
	1 位	2 位	3 位
1 年生	SNS (87.9%)	音楽を聴く (78.6%)	通話 (75.1%)
2 年生	SNS (85.5%)	音楽を聴く (81.3%)	通話 (74.1%)
3 年生 (参考)	SNS (85.0%)	音楽を聴く (76.2%)	通話 (69.6%)



性別では、男子の「ゲームをする」が女子に比べて非常に多かった。一方女子の「写真を撮る・加工する」が男子に比べて非常に多かった。

【図表IV-1-4】携帯電話の利用目的（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	SNS (81.1%)	音楽を聴く (78.2%)	ゲームをする (76.0%)
女子	SNS (91.4%)	写真を撮る・加工する (81.5%)	音楽を聴く (80.4%)



2. インターネットでの購入について

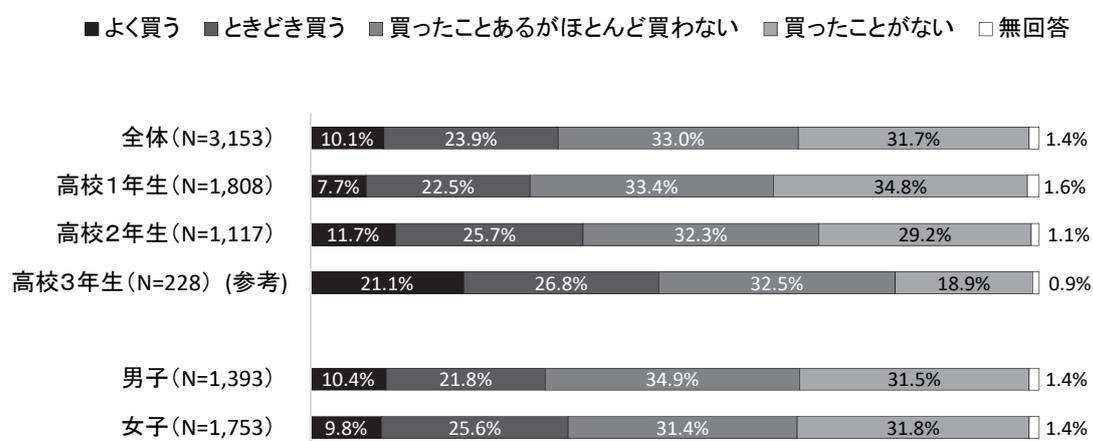
2-1 インターネットでの購入経験

インターネットでの購入経験に関して、全体で「よく買う」「ときどき買う」を合わせると3割台半ばと、3人に1人という結果となった。

学年別では、1年生に比べ2年生の方が購入経験が多かった。

性別による大きな差はみられなかった。

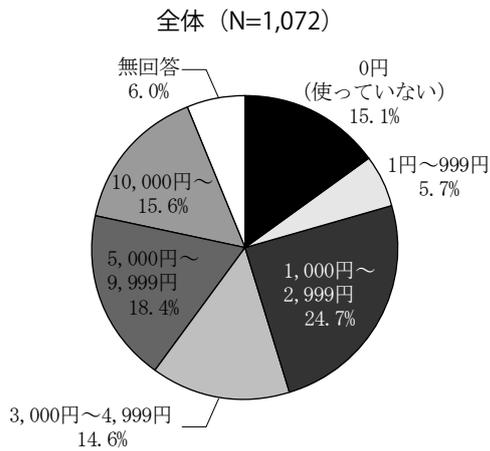
【図表IV-2-1】インターネットでの購入経験＜全体・学年別・性別＞



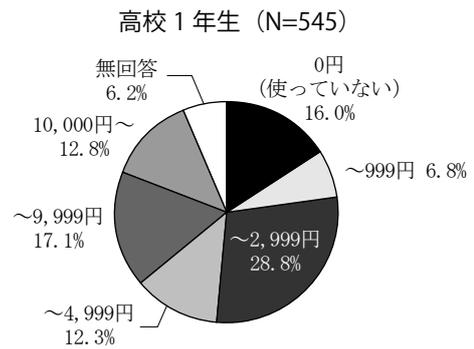
2-2 1カ月の使用金額

全体で4人に1人が「1,000円～2,999円」と回答しており、次いで「5,000円～9,999円」「10,000円～」であった。
 学年と性別で大きな差はみられなかった。

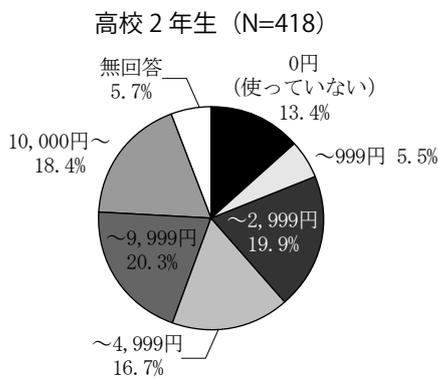
【図表IV-2-2】 1カ月の使用金額<全体>



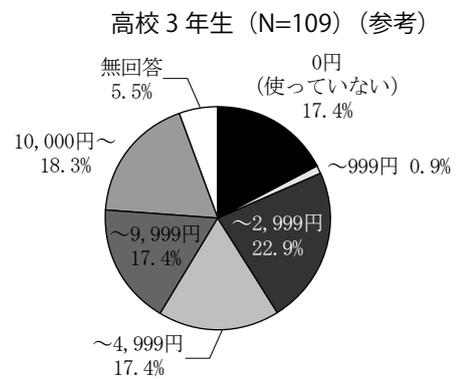
【図表IV-2-3】 1カ月の使用金額<1年生>



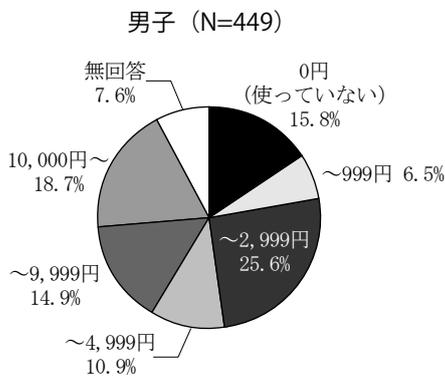
【図表IV-2-4】 1カ月の使用金額<2年生>



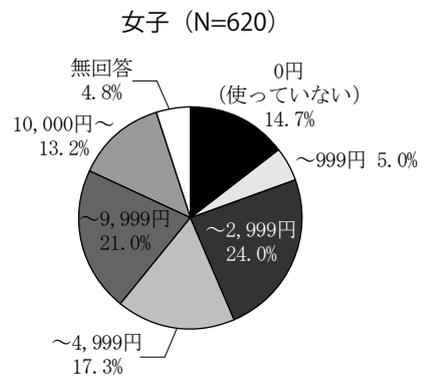
【図表IV-2-5】 1カ月の使用金額<3年生>



【図表IV-2-6】 1カ月の使用金額<男子>



【図表IV-2-7】 1カ月の使用金額<女子>



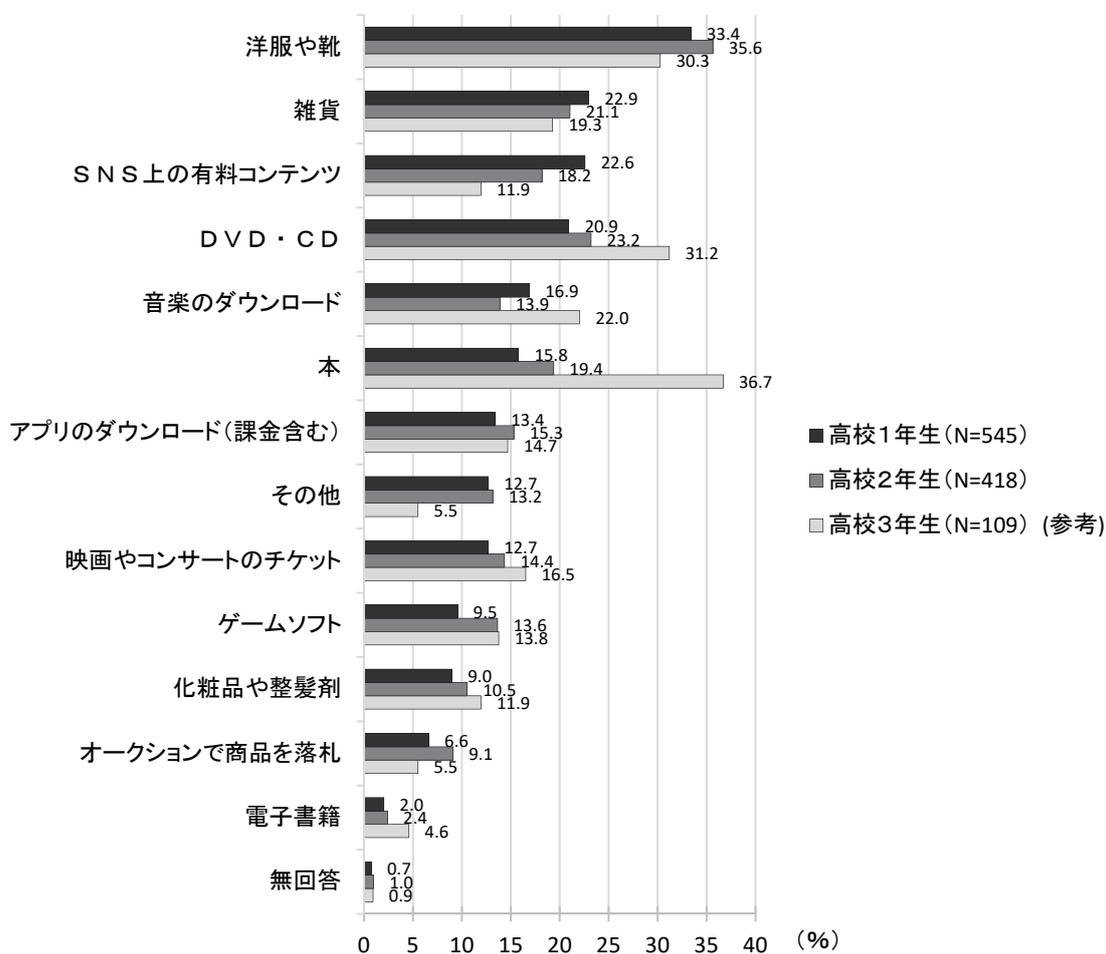
2-3 インターネットで購入したもの

インターネットで購入したもので、1年生、2年生は「洋服や靴」が最も多く3割台半ばだった。

その他では、「好きなアーティストやアニメのグッズ」「部活動で使う物」「コンタクト」が挙げられた。

【図表Ⅳ-2-8】インターネットで購入したもの（複数回答）＜学年別＞

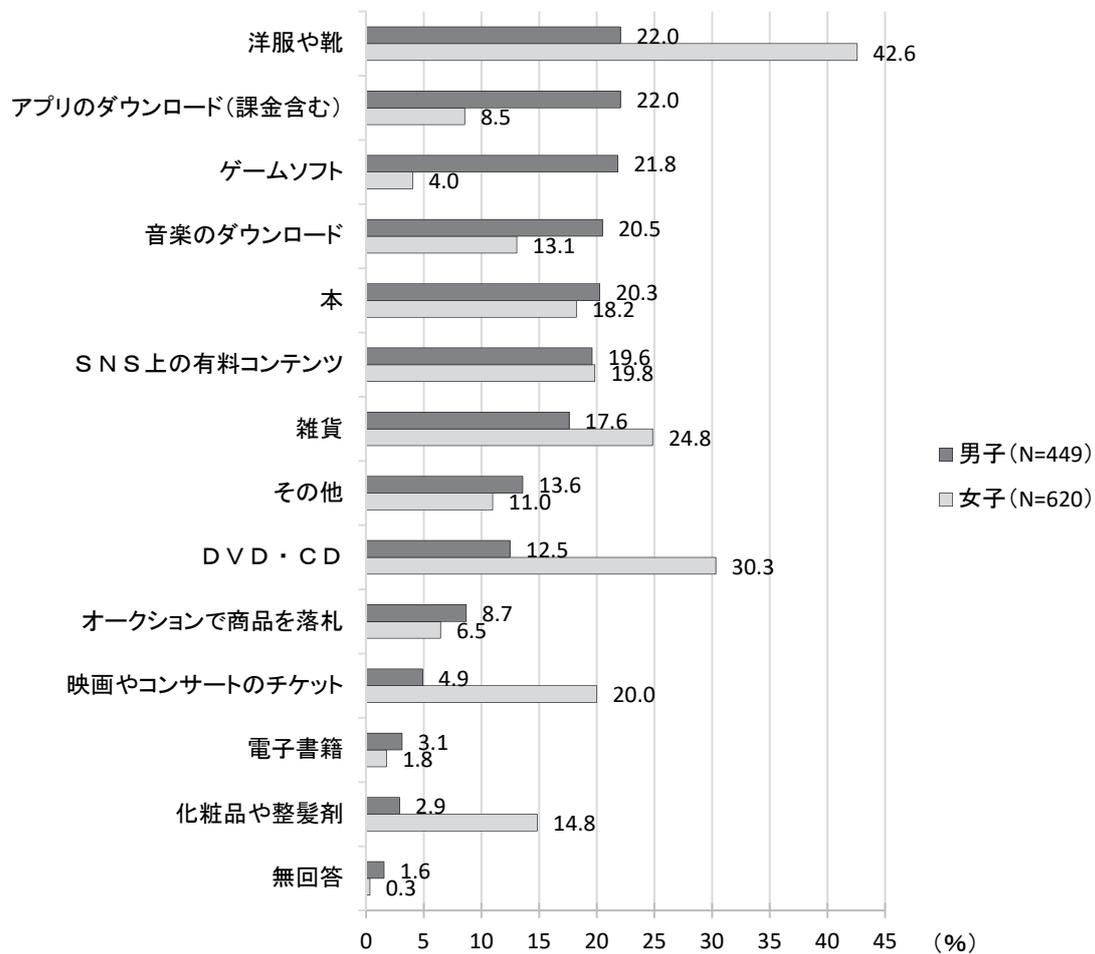
	1 位	2 位	3 位
1 年生	洋服や靴 (33.4%)	雑貨 (22.9%)	SNS 上の有料コンテンツ (22.6%)
2 年生	洋服や靴 (35.6%)	DVD・CD (23.2%)	雑貨 (21.1%)
3 年生 (参考)	本 (36.7%)	DVD・CD (31.2%)	洋服や靴 (30.3%)



性別では、男女いずれも「洋服や靴」が1位に入ったが、割合は大きく異なった。「アプリのダウンロード（課金含む）」「ゲームソフト」は、男子の割合が高く、一方「DVD・CD」「映画やコンサートのチケット」は、女子の割合が高かった。

【図表Ⅳ-2-9】インターネットで購入したもの（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	アプリのダウンロード（課金含む）（22.0%） 洋服や靴（22.0%）	ゲームソフト （21.8%）	音楽のダウンロード （20.5%）
女子	洋服や靴（42.6%）	DVD・CD （30.3%）	雑貨（24.8%）

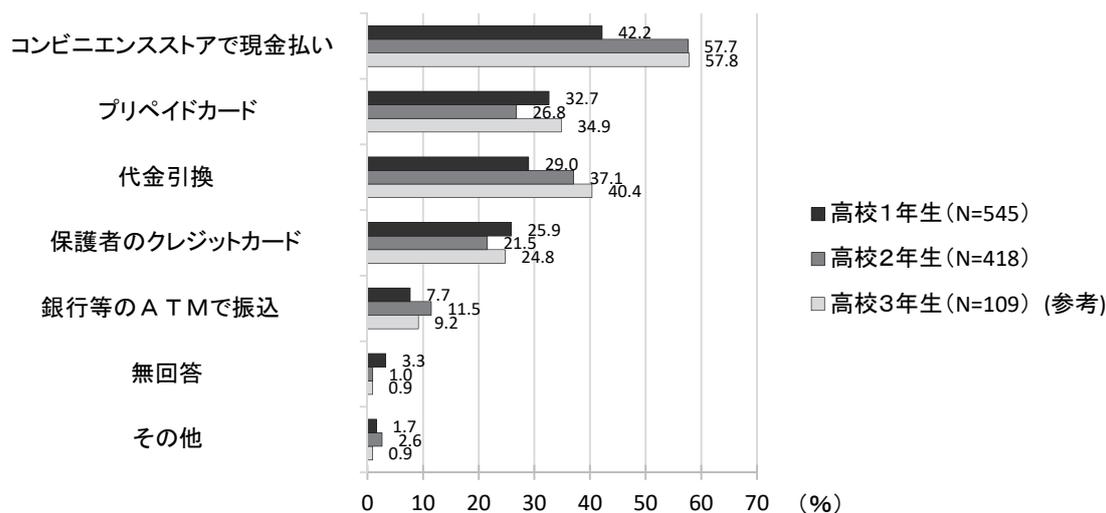


2-4 インターネットで購入時の支払い方法

「コンビニエンスストアで現金払い」が最も多く、次いで1年生は「プリペイドカード」2年生は「代金引換」が続いた。

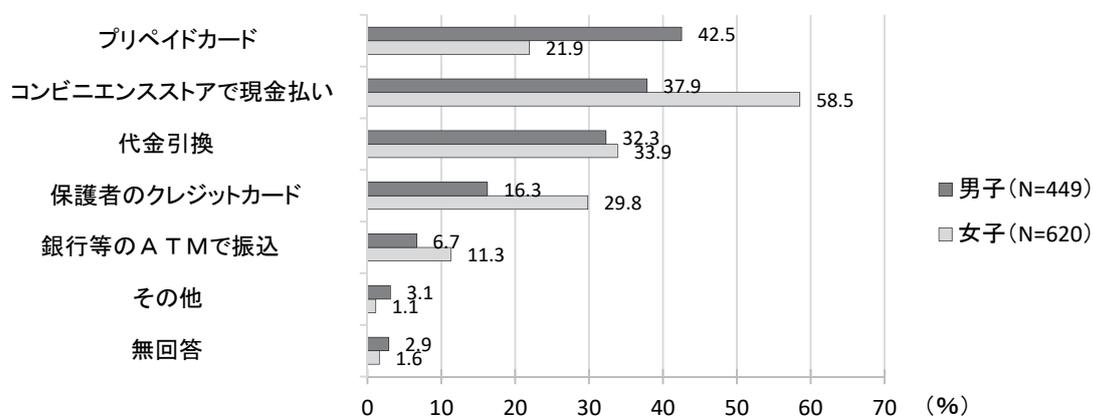
その他では、「ポイント」「デビットカード」などが挙げられた。

【図表IV-2-10】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜学年別＞



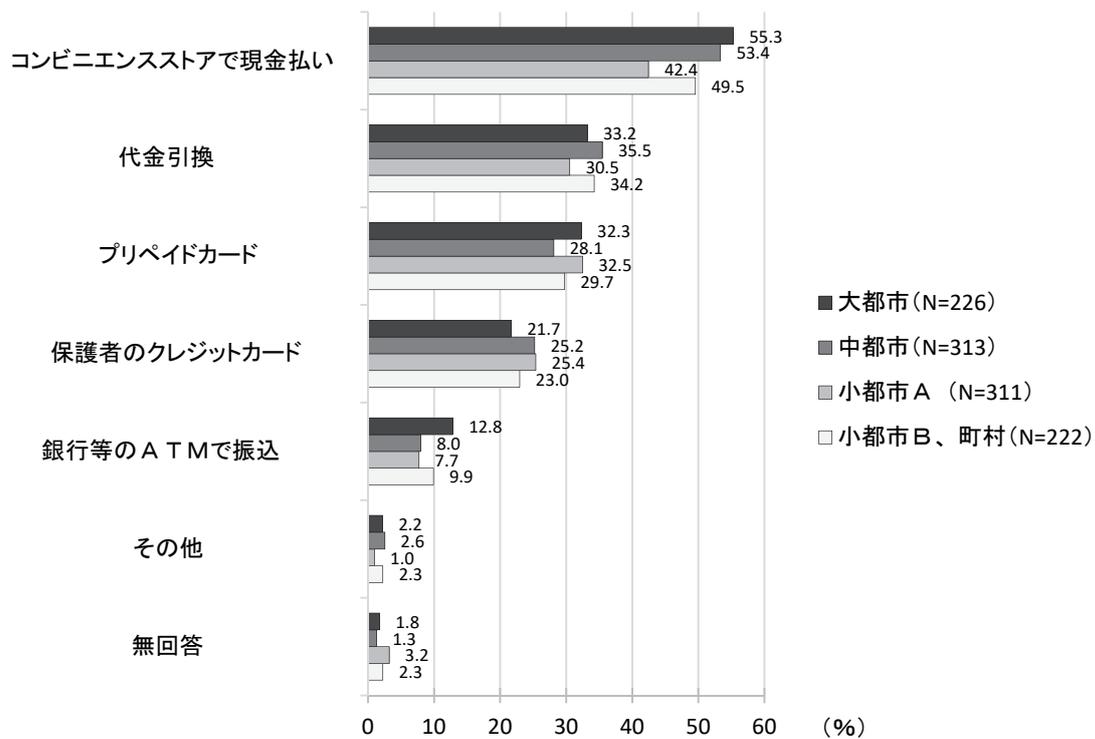
性別では、男子は「プリペイドカード」が最も多く、一方女子は「コンビニエンスストアで現金払い」が最も多かった。男子に比べて女子の「保護者のクレジットカード」の割合が高かった。

【図表IV-2-11】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜性別＞



都市別でみると、全体的には「コンビニエンスストアで現金払い」が最も多く、大都市ほど割合が高い傾向にあった。

【図表Ⅳ-2-12】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜都市別＞



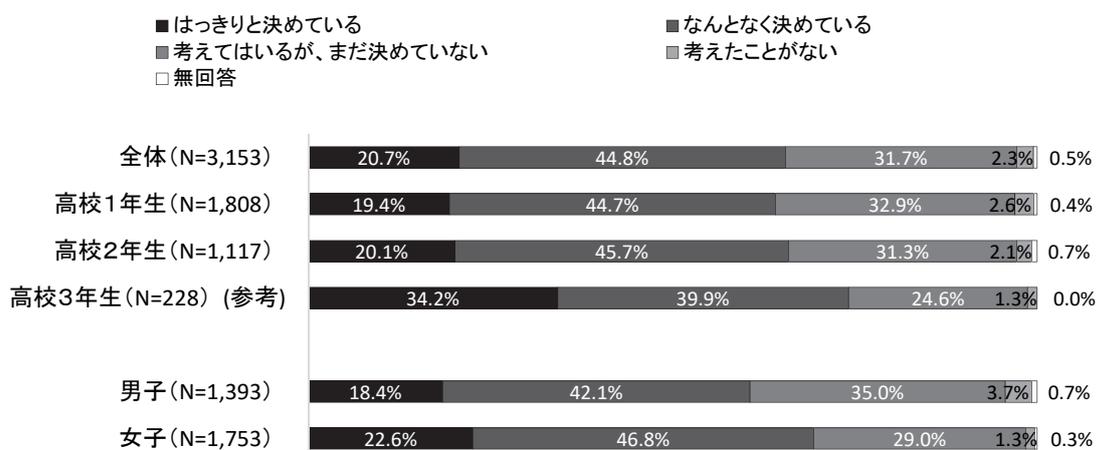
V 将来について

1. 将来の夢・職業・進路について

1-1 将来就きたい職業があるか

将来就きたい職業があるかは、全体の6割台半ばが「決めている」と回答した。性別では、男子より女子の方が「決めている」の割合が高かった。

【図表V-1-1】将来就きたい職業があるか＜全体・学年別・性別＞



1-2 将来就きたい職業

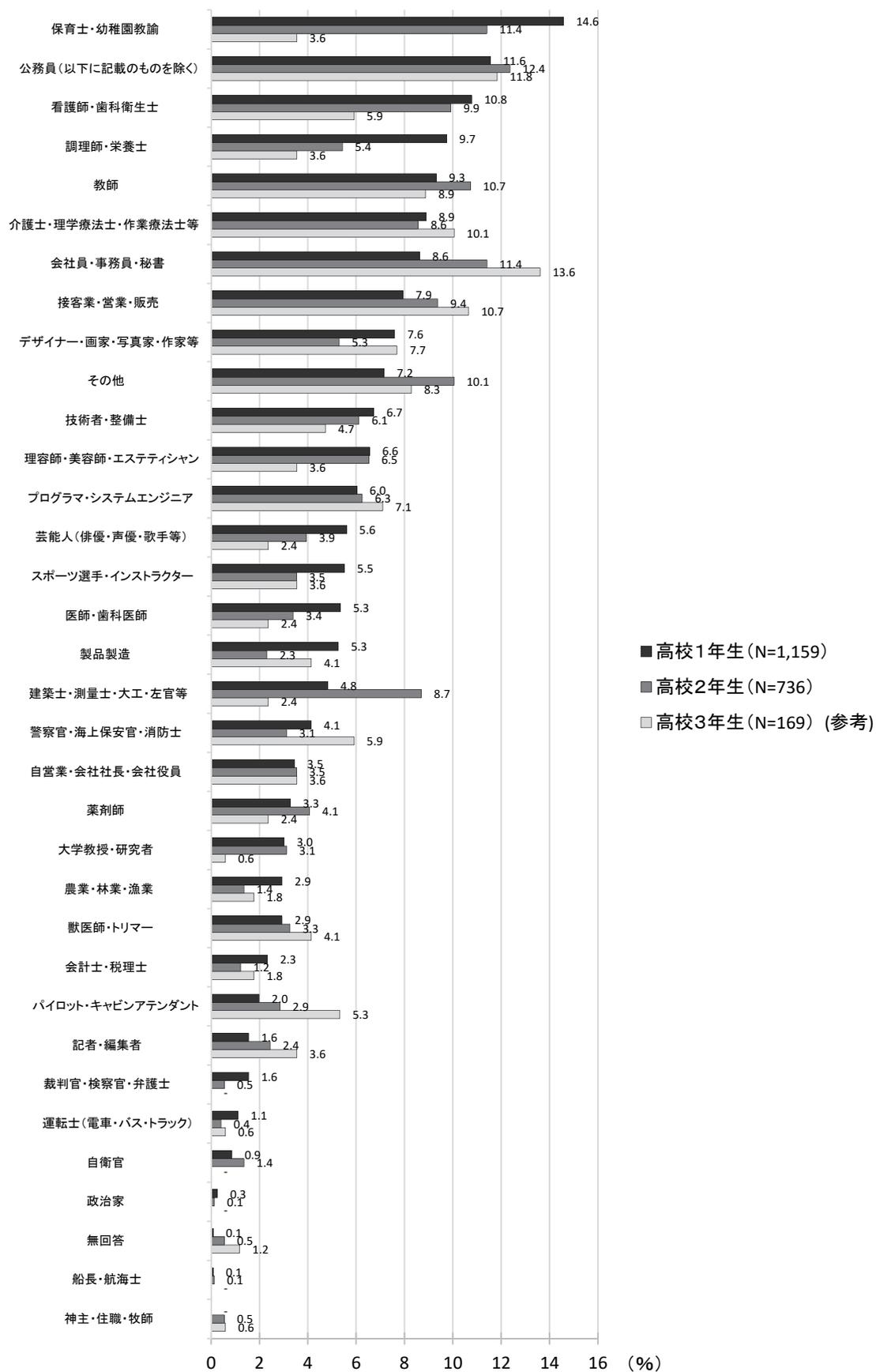
将来就きたい職業は、「保育士・幼稚園教諭」「公務員（警察官・教師等選択肢にあるものを除く）」「会社員・事務員・秘書」が多い（「その他」を除く）。

その他では、「ウェディングプランナー」「通訳」「医療関係（事務）」などが挙げられた。

【図表V-1-2】将来就きたい職業＜学年別＞

※その他を除く

	1 位	2 位	3 位
1 年生	保育士・幼稚園教諭 (14.6%)	公務員 (11.6%)	看護師・歯科衛生士 (10.8%)
2 年生	公務員 (12.4%)	保育士・幼稚園教諭 (11.4%) 会社員・事務員・秘書 (11.4%)	教師 (10.7%)
3 年生 (参考)	会社員・事務員・秘書 (13.6%)	公務員 (11.8%)	接客業・営業・販売 (10.7%)

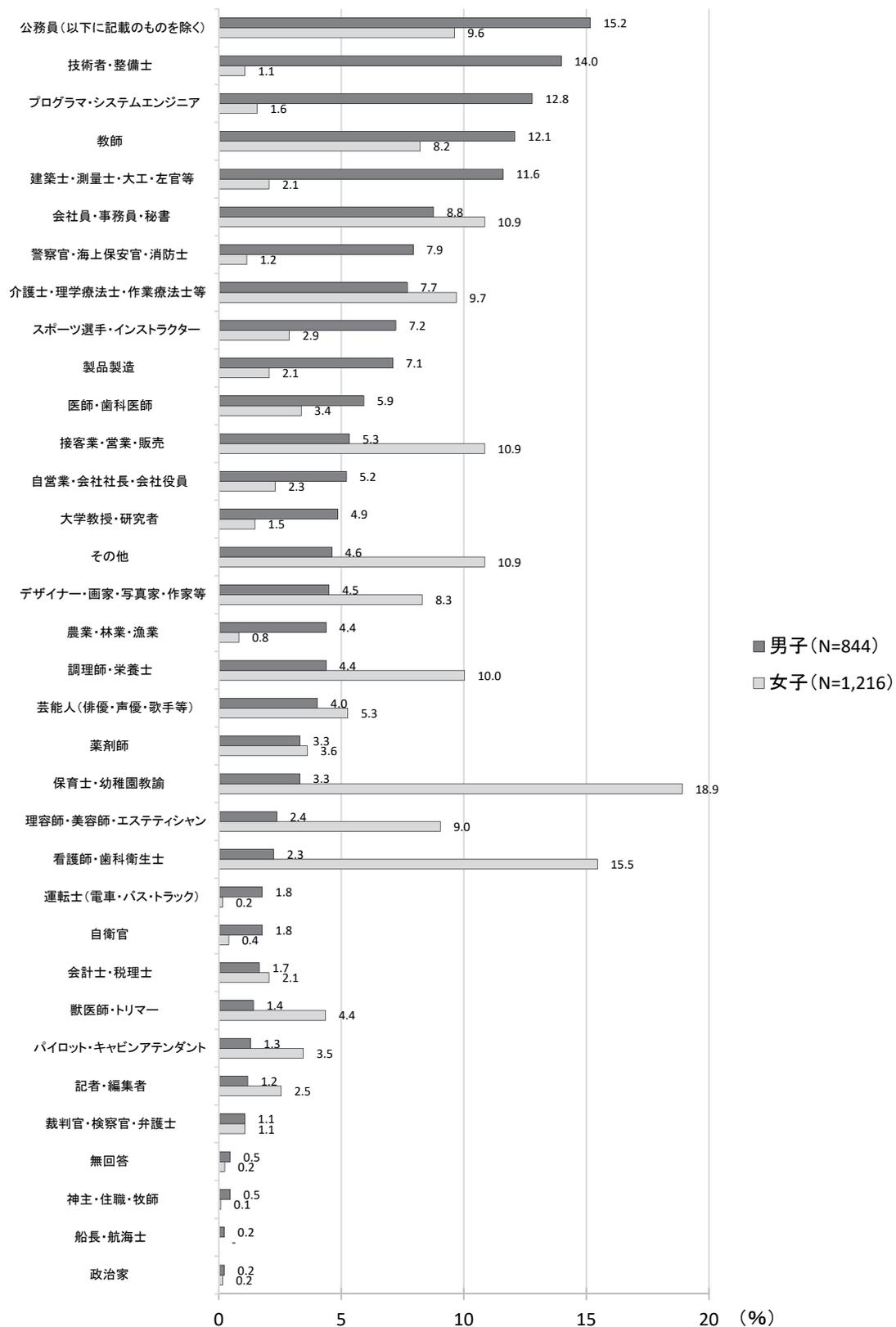


性別では、男子は「公務員（警察官・教師等選択肢にあるものを除く）」が最も多く、次いで「技術者・整備士」「プログラマ・システムエンジニア」が多い（「その他」を除く）。女子は「保育士・幼稚園教諭」が最も多く、次いで「看護師・歯科衛生士」が多い結果となった。

【図表V-1-3】将来就きたい職業＜性別＞

※その他を除く

	1 位	2 位	3 位
男子	公務員（15.2%）	技術者・整備士（14.0%）	プログラマ・システムエンジニア（12.8%）
女子	保育士・幼稚園教諭（18.9%）	看護師・歯科衛生士（15.5%）	接客業・営業・販売（10.9%） 会社員・事務員・秘書（10.9%）



就きたい職業を学科別で見ると、普通科では「公務員（警察官・教師等選択肢にあるものを除く）」「教師」「看護師・歯科衛生士」が上位を占めた（「その他」を除く）。

一方、普通科以外の学科では「保育士・幼稚園教諭」「会社員・事務員・秘書」「調理師・栄養士」が上位となった。

【図表V-1-4】 将来就きたい職業<学科別>

※その他を除く

学科	1 位	2 位	3 位
普通科	公務員（14.1%）	教師（14.0%）	看護師・歯科衛生士（10.5%）
普通科以外	保育士・幼稚園教諭 （15.2%）	会社員・事務員・秘書 （12.9%）	調理師・栄養士（10.3%）



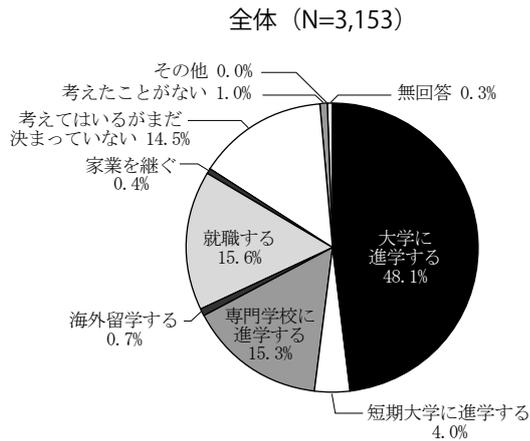
1-3 卒業後の進路

全体の5割弱が「大学」への進学と回答している。

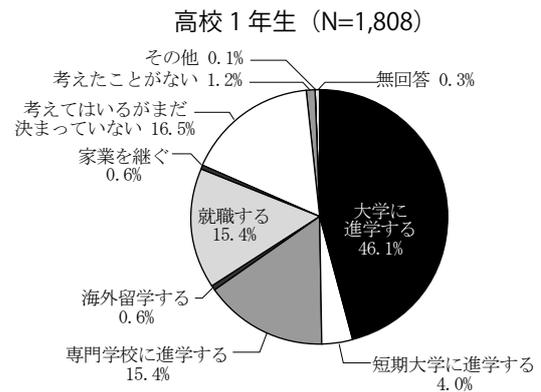
学年別では、1年生、2年生に大きな差はほとんどなかった。

性別では、女子より男子の方が「大学に進学する」の割合が高く、男子より女子の方が「専門学校に進学する」の割合が高い。

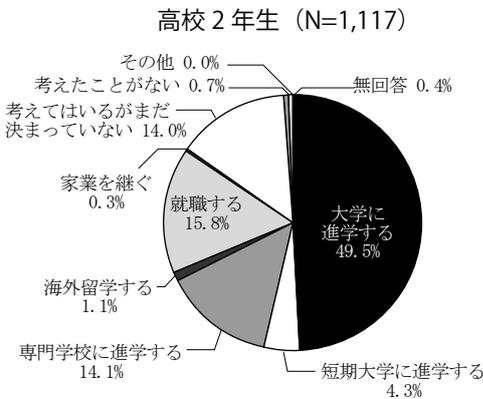
【図表V-1-5】高校卒業後の進路<全体>



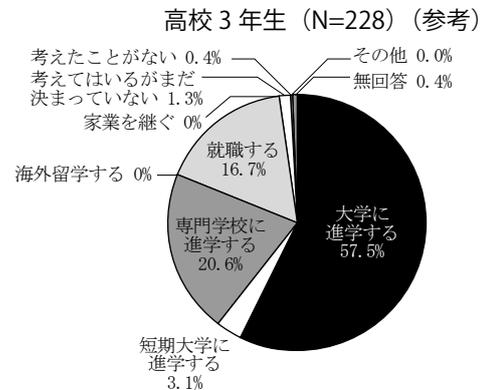
【図表V-1-6】高校卒業後の進路<1年生>



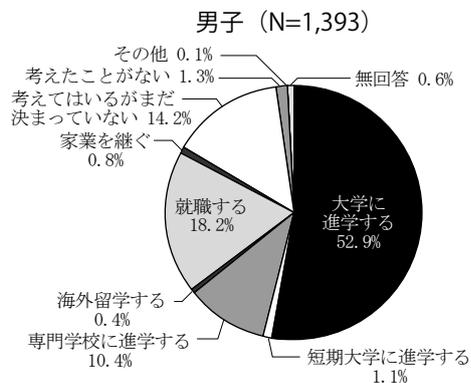
【図表V-1-7】高校卒業後の進路<2年生>



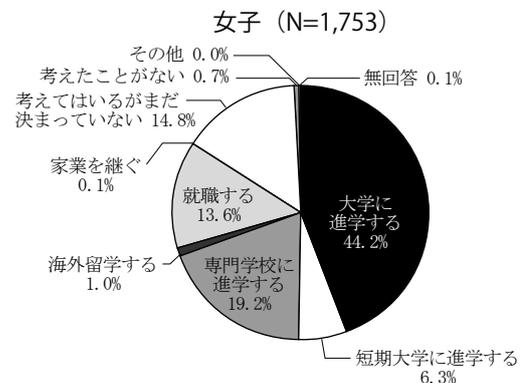
【図表V-1-8】高校卒業後の進路<3年生>



【図表V-1-9】高校卒業後の進路<男子>



【図表V-1-10】高校卒業後の進路<女子>

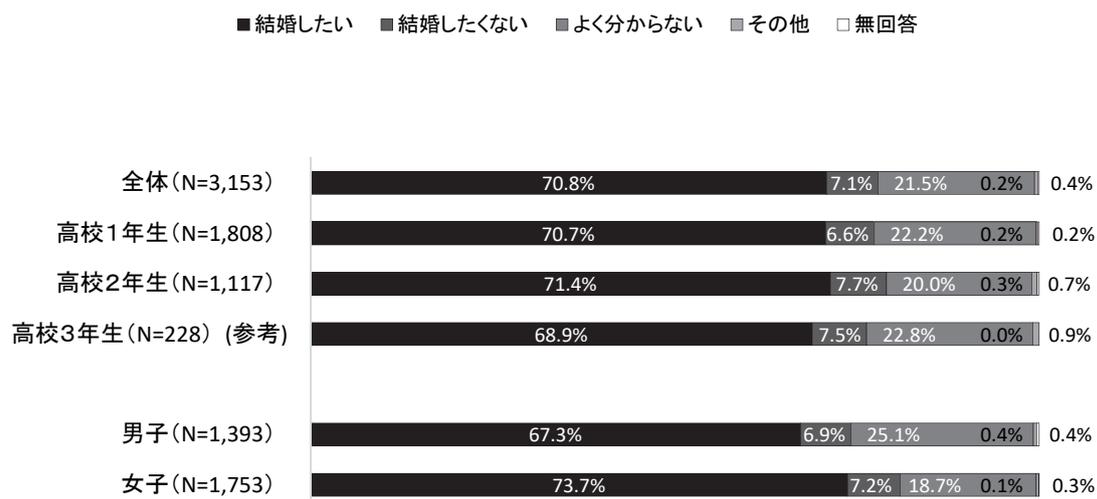


2. 結婚・子どもについて

2-1 結婚

全体の7割強が「結婚したい」と回答した。「結婚したくない」は1割弱であった。
性別では、男子に比べ女子の結婚願望が高い結果となった。

【図表V-2-1】結婚願望＜全体・学年別・性別＞



結婚希望年齢については、「25歳」前後がほとんどであった。学年別、性別で年齢に大差はみられなかった。

【図表V-2-2】結婚希望年齢＜学年別・性別＞

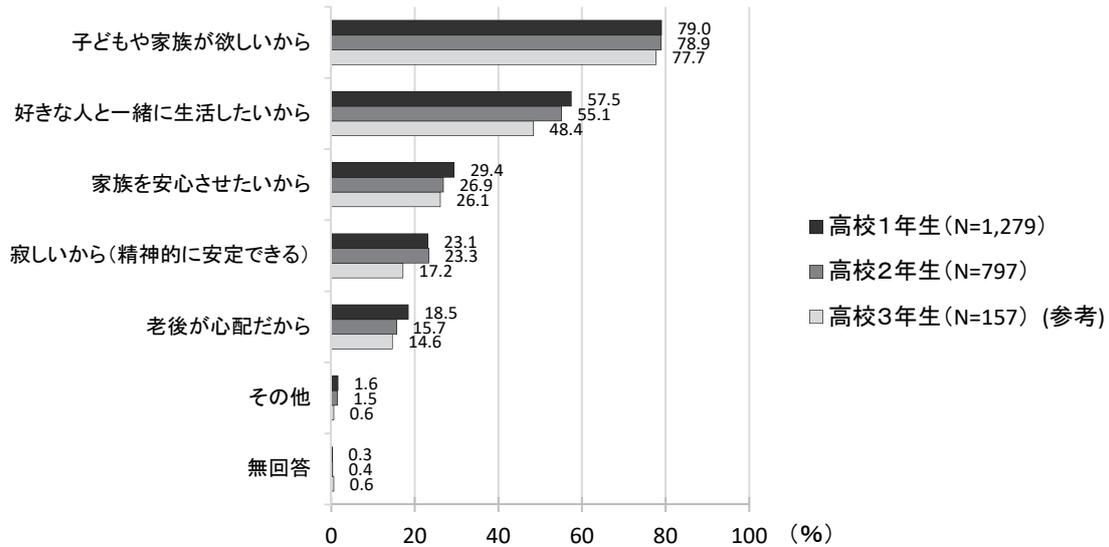
		平均値	中央値
学年別	1年生	24.8	25
	2年生	25.2	25
	3年生 (参考)	25.8	25
性別	男子	25.2	25
	女子	24.8	25
合計		25.0	25

(単位：歳)

2-2 結婚したい理由

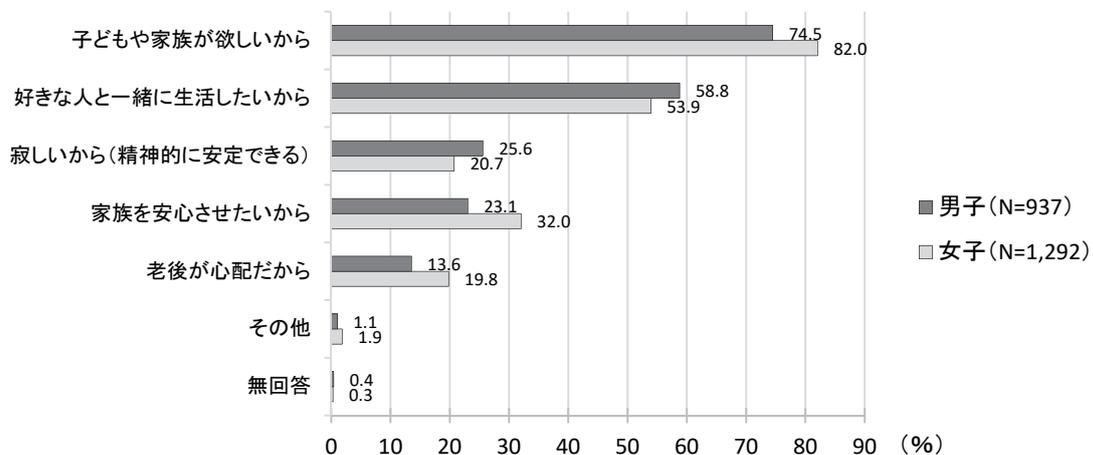
「子どもや家族が欲しいから」が8割弱という回答であった。次いで「好きな人と一緒に生活したいから」「家族を安心させたいから」と続き、学年で大きな違いはみられなかった。その他では、「金銭面の安定」「楽しそうだから」などが挙げられた。

【図表V-2-3】結婚したい理由<学年別>



男女共に「子どもや家族が欲しいから」「好きな人と一緒に生活したいから」が高い回答であった。次いで男子は「寂しいから(精神的に安定できる)」、女子は「家族を安心させたいから」と異なる結果となった。

【図表V-2-4】結婚したい理由<性別>

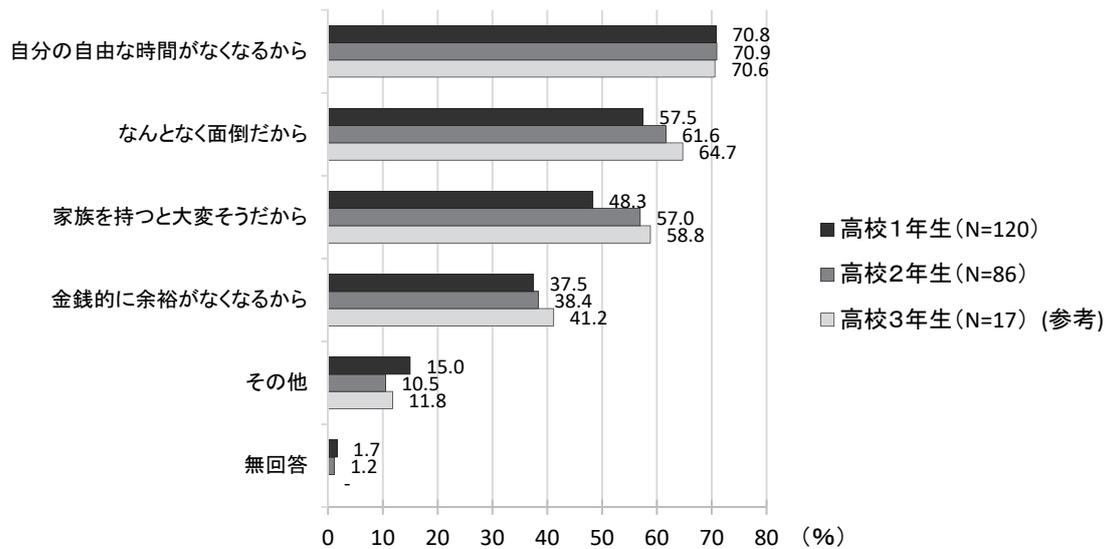


2-3 結婚したくない理由

どの学年も「自由な時間がなくなるから」が7割強と高い回答であった。次いで「なんとなく面倒だから」が上位に挙げたが、「家族を持つと大変そうだから」は1年生に比べ2年生の方が高かった。

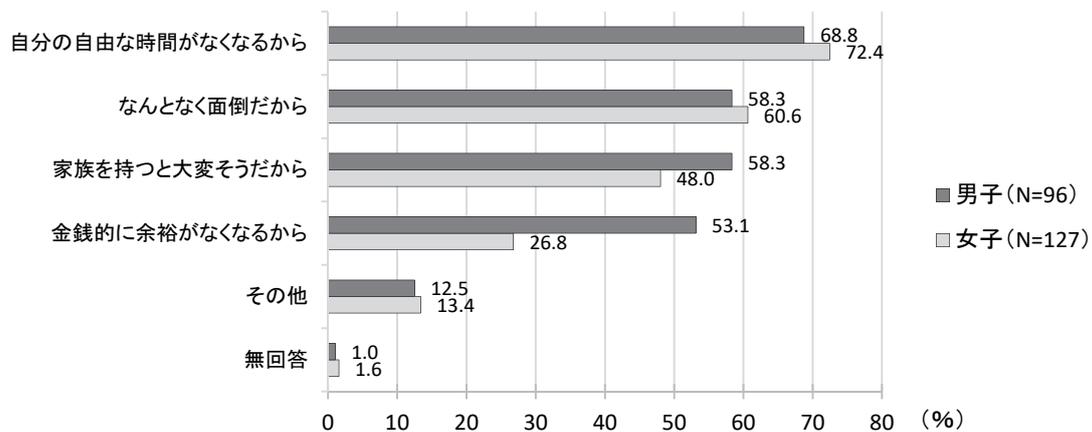
その他では、「離婚の可能性」「一人の方が楽」などが挙げた。

【図表V-2-5】結婚したくない理由<学年別>



「自由な時間がなくなるから」が男女共に高く、次いで「なんとなく面倒だから」「家族を持つと大変そうだから」が上位に挙げた。女子に比べて男子の「金銭的に余裕がなくなるから」の割合が高かった。

【図表V-2-6】結婚したくない理由<性別>

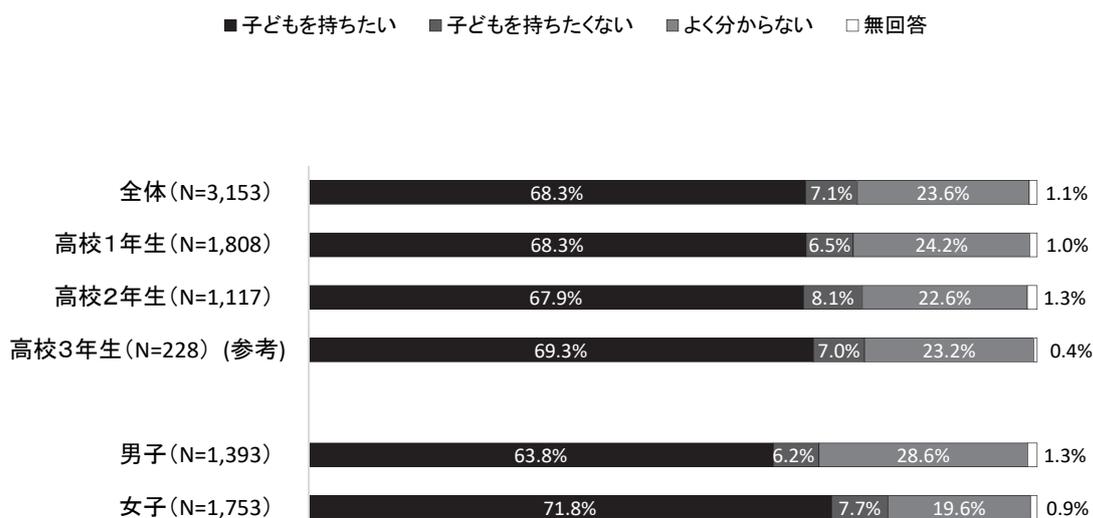


2-4 子ども

将来子どもを持つことについて、全体の7割弱が「持ちたい」と答えた。「持ちたくない」も1割弱あった。

性別では、男子に比べ女子の方が「子どもを持ちたい」傾向にあり、結婚願望（図表V-2-1）と比例する結果となった。

【図表V-2-7】子どもを持ちたいか＜全体・学年別・性別＞



将来持ちたい子どもの希望人数では、平均「2.3人」という結果となった。

【図表V-2-8】子どもの希望人数＜学年別・性別＞

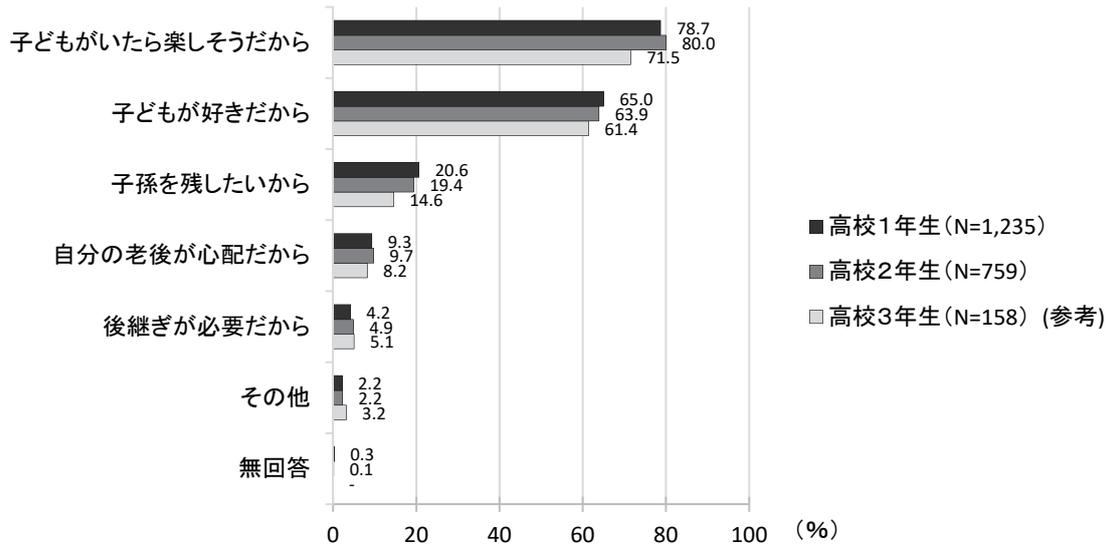
		平均値	中央値
学年	1年生	2.3	2
	2年生	2.3	2
	3年生 (参考)	2.3	2
性別	男子	2.3	2
	女子	2.3	2
合計		2.3	2

(単位：人)

2-5 子どもを持ちたい理由

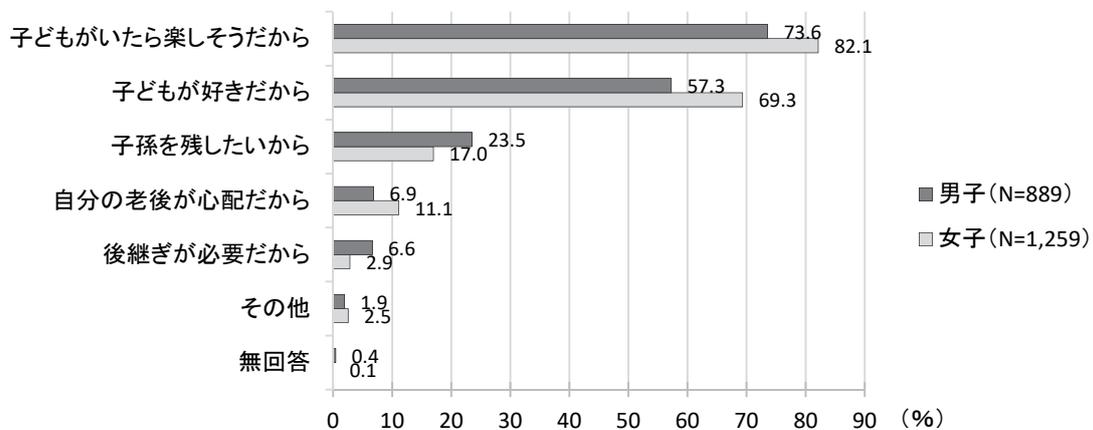
「子どもがいたら楽しそうだから」が7割強～8割であった。次いで「子どもが好きだから」「子孫を残したいから」と学年で大きな違いはみられなかった。その他では、「なんとなく」「少子高齢化」などが挙げられた。

【図表V-2-9】子どもを持ちたい理由<学年別>



男女共に「子どもがいたら楽しそうだから」「子どもが好きだから」が上位に挙げられたが、いずれも女子の方が高い割合であった。一方「子孫を残したいから」は、女子に比べて男子の方が高い割合であった。

【図表V-2-10】子どもを持ちたい理由<性別>



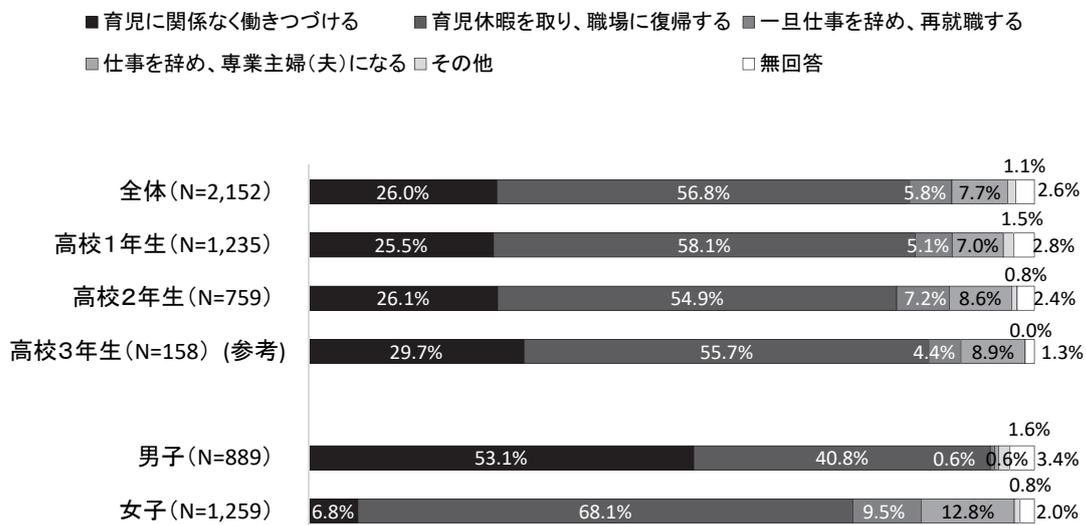
2-6 将来の働き方

将来の働き方について、全体では「育児休暇を取り、職場に復帰する」が5割台半ばと最も多く、次いで「育児に関係なく働き続ける」が2割台半ばであった。「一旦仕事を辞め、再就職する」や「仕事を辞め、専業主婦（夫）になる」は、1割に満たなかった。

性別で見ると、男子の「育児に関係なく働き続ける」が5割台半ばであるのに対し、女子は1割に満たなかった。女子の「育児休暇を取り、職場に復帰する」が7割弱に対し、男子は4割強であった。

その他では、「考えられない」「分からない」などが挙げられた。

【図表V-2-11】将来の働き方<全体・学年別・性別>

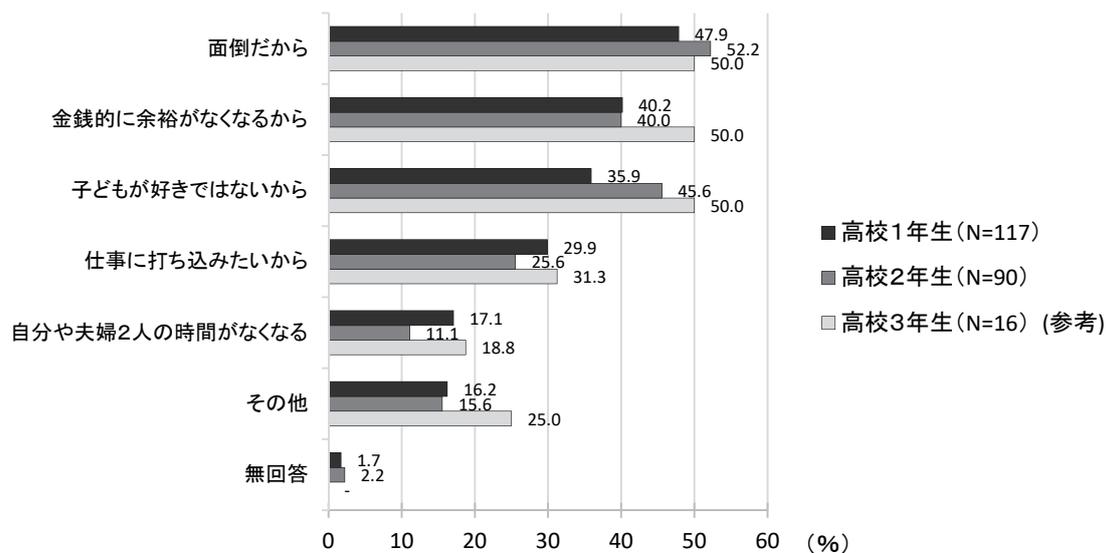


2-7 子どもを持ちたくない理由

どの学年も「面倒だから」が5割弱～5割強と高い回答であった。次いで「金銭的に余裕がなくなるから」「子どもが好きではないから」が上位に挙げられた。

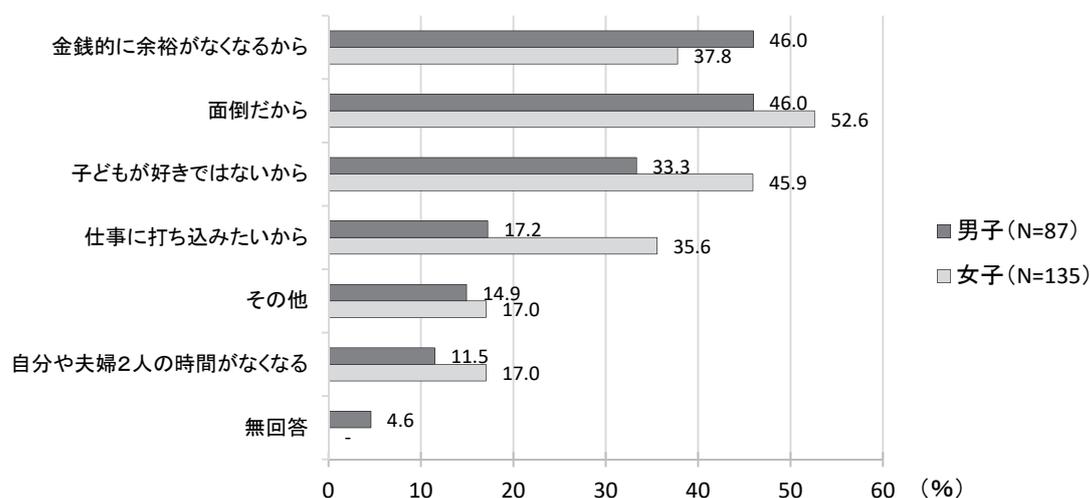
その他では、「出産への恐怖心」「責任が持てない」「自信がない」などが挙げられた。

【図表V-2-12】子どもを持ちたくない理由<学年別>



男子は「金銭的に余裕がなくなるから」「面倒だから」が高かった。一方女子の「面倒だから」が男子に比べると高い割合であった。女子に比べると男子の方が「金銭的に余裕がなくなるから」の割合が高かった。

【図表V-2-13】子どもを持ちたくない理由<性別>



3. 将来の生活について

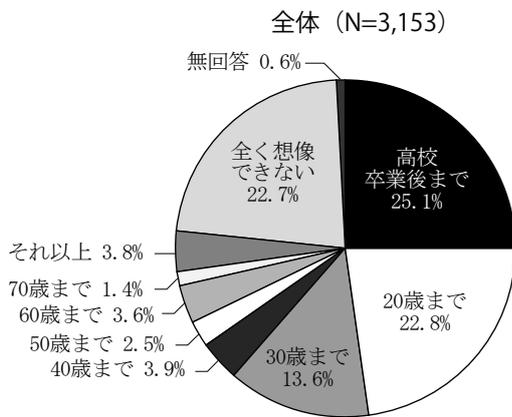
3-1 将来が思い描ける年齢

将来が思い描ける年齢については、全体では「高校卒業後まで」が最も多く、次いで「20歳まで」と大きな割合の差はなかった。また「全く想像できない」もほぼ同じ割合であった。

「高校卒業後まで」と「20歳」を合わせた近い将来が5割弱を占めており、10年後、20年後、それ以上先の将来を描くことが難しいという結果となった。

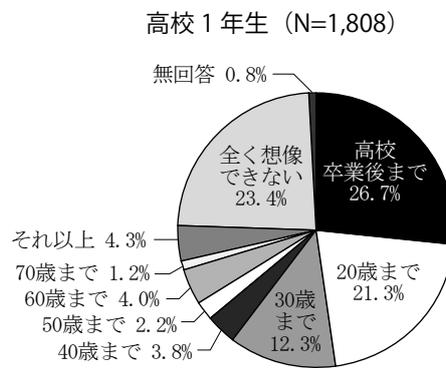
【図表V-3-1】

将来が思い描ける年齢<全体>



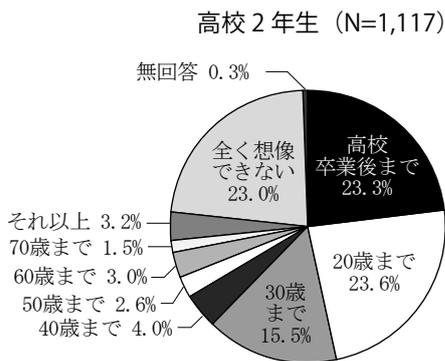
【図表V-3-2】

将来が思い描ける年齢<1年生>



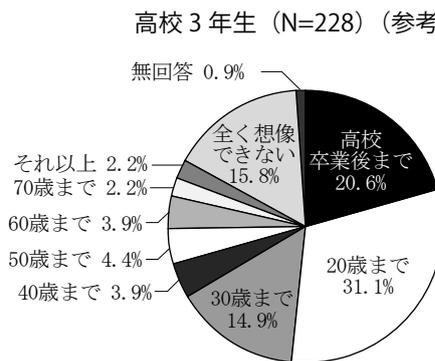
【図表V-3-3】

将来が思い描ける年齢<2年生>



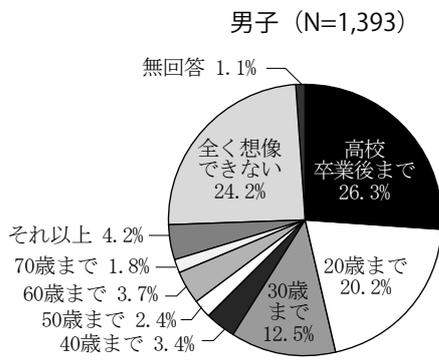
【図表V-3-4】

将来が思い描ける年齢<3年生>



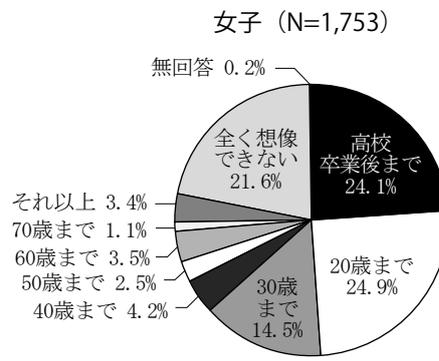
【図表V-3-5】

将来が思い描ける年齢<男子>



【図表V-3-6】

将来が思い描ける年齢<女子>



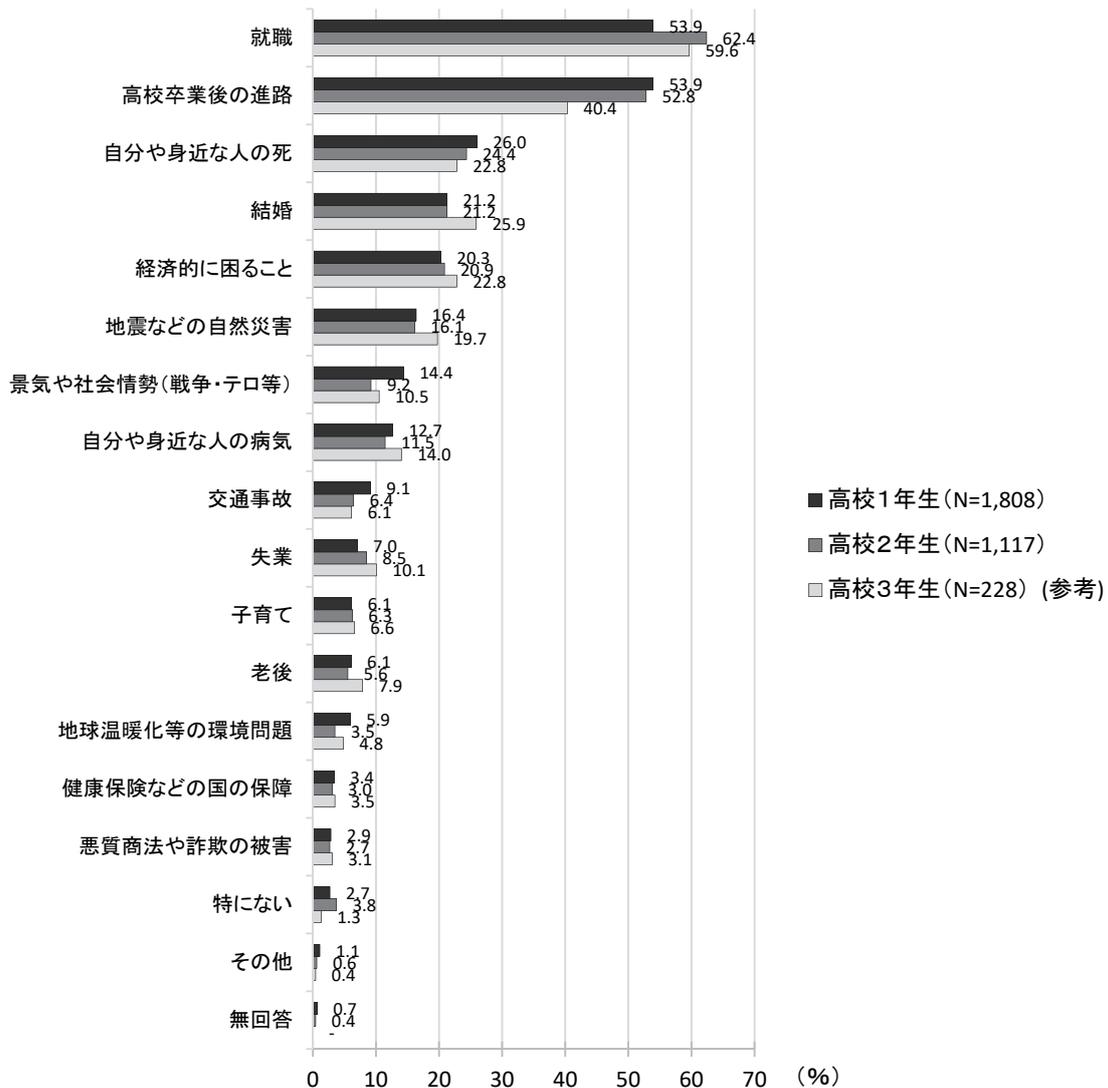
3-2 将来不安なこと

将来不安なことについては、「就職」「高校卒業後の進路」が上位に挙げられた。また、「自分や身近な人の死」「結婚」についても2割強～2割台半ばの回答があった。

その他では、「人間関係」「大人になること」などが挙げられた。

【図表V-3-7】将来不安なこと（複数回答3つまで）＜学年別＞

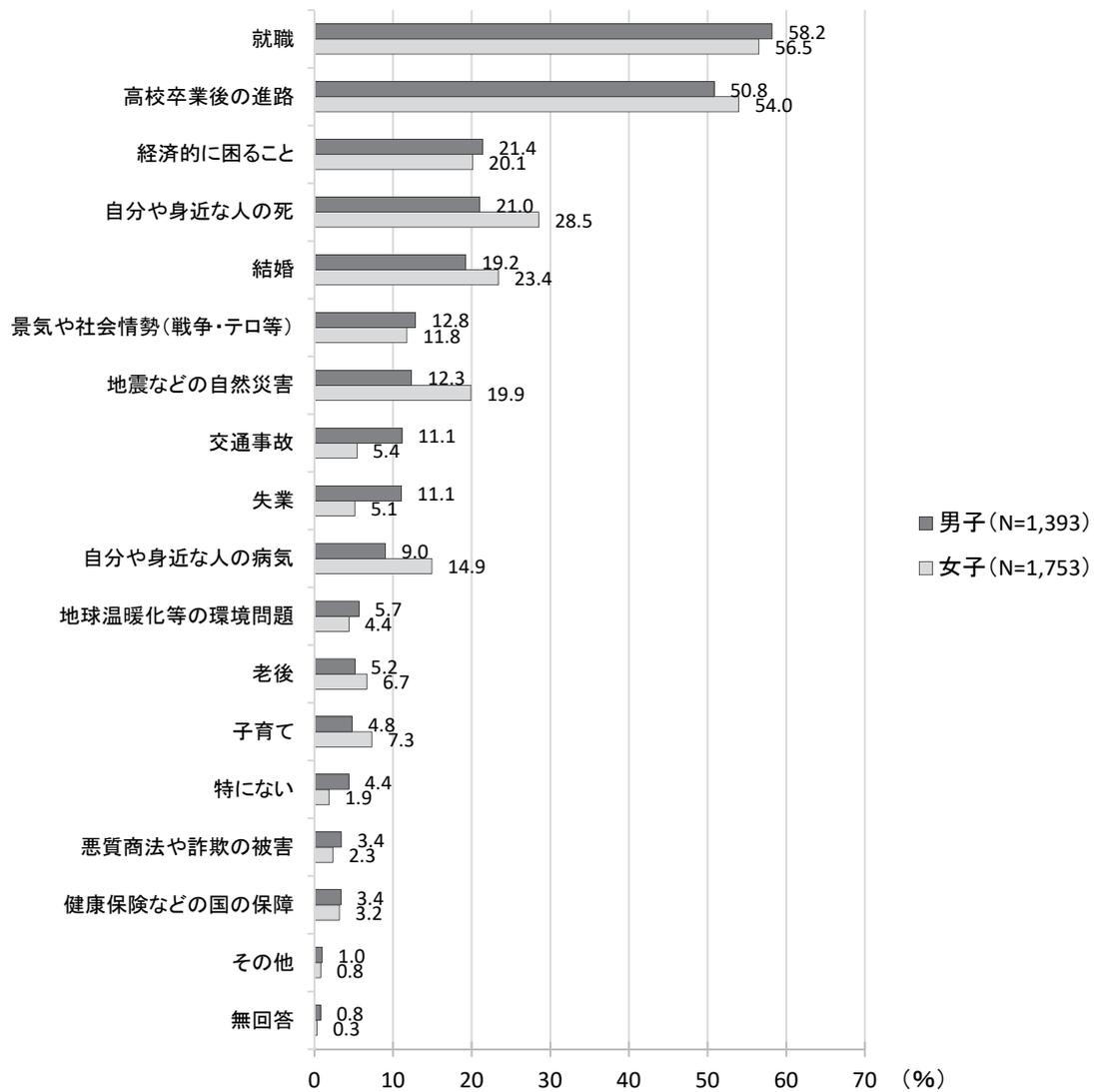
	1 位	2 位	3 位
1 年生	高校卒業後の進路 (53.9%) 就職 (53.9%)	自分や身近な人の死 (26.0%)	結婚 (21.2%)
2 年生	就職 (62.4%)	高校卒業後の進路 (52.8%)	自分や身近な人の死 (24.4%)
3 年生 (参考)	就職 (59.6%)	高校卒業後の進路 (40.4%)	結婚 (25.9%)



性別でも、「就職」「高校卒業後の進路」が上位に挙がった。次いで男子は「経済的に困ること」女子は「自分や身近な人の死」と男女で異なる結果となった。

【図表V-3-8】将来不安なこと（複数回答3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	就職 (58.2%)	高校卒業後の進路 (50.8%)	経済的に困ること (21.4%)
女子	就職 (56.5%)	高校卒業後の進路 (54.0%)	自分や身近な人の死 (28.5%)



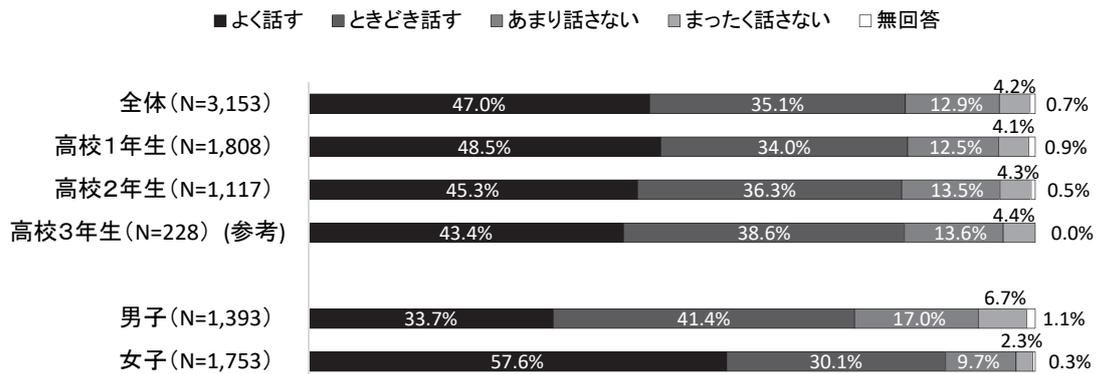
4. 保護者との会話について

(1) 学校での出来事について

全体の8割強の生徒が「話す」という結果となった。

学年別では大きな違いはみられなかったが、性別では、男子に比べ女子が「話す」傾向が強かった。

【図表V-4-1】学校での出来事<全体・学年別・性別>

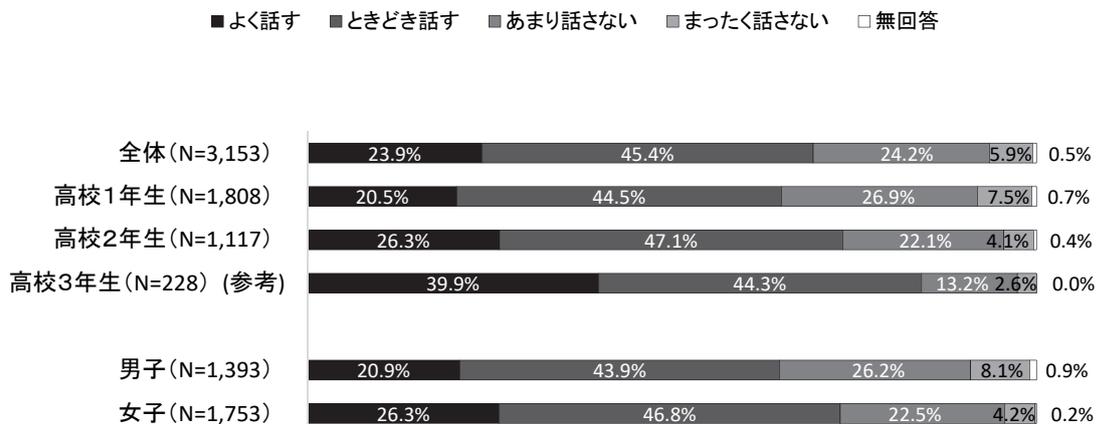


(2) 高校卒業後の進路について

全体の7割弱が「話す」という結果となった。

性別では、男子に比べ女子が「話す」傾向が強かった。

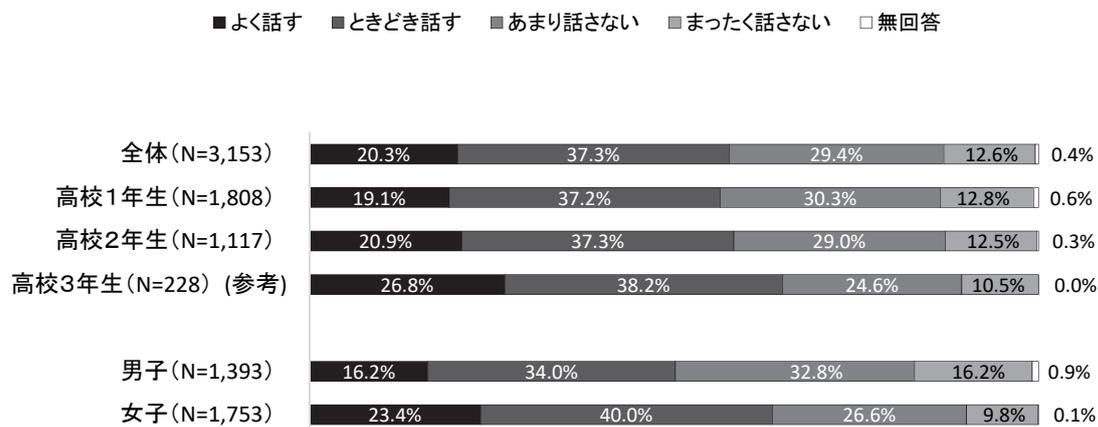
【図表V-4-2】高校卒業後の進路<全体・学年別・性別>



(3) 将来の夢について

全体の6割弱が「話す」という結果となった。
性別では、男子に比べ女子が「話す」傾向が強かった。

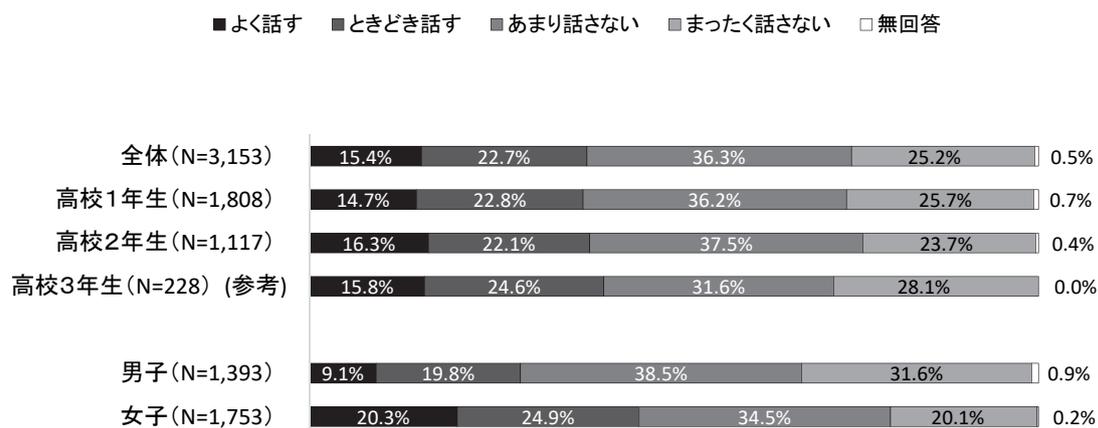
【図表V-4-3】将来の夢<全体・学年別・性別>



(4) 悩み事(進路以外)について

全体の4割弱が「話す」という結果となった。
性別では、女子の4割台半ばが「話す」傾向にあるが、男子は3割弱であった。特に、性別の差が顕著にみられた。

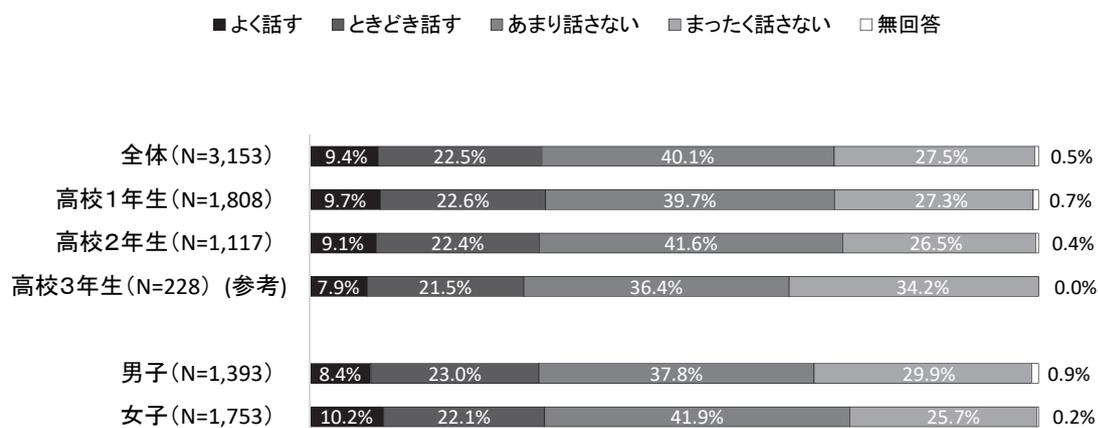
【図表V-4-4】悩み事(進路以外)<全体・学年別・性別>



(5) お小遣いの使い方について

全体の3割強が「話す」という結果となった。学年別、性別で大きな違いはみられなかった。

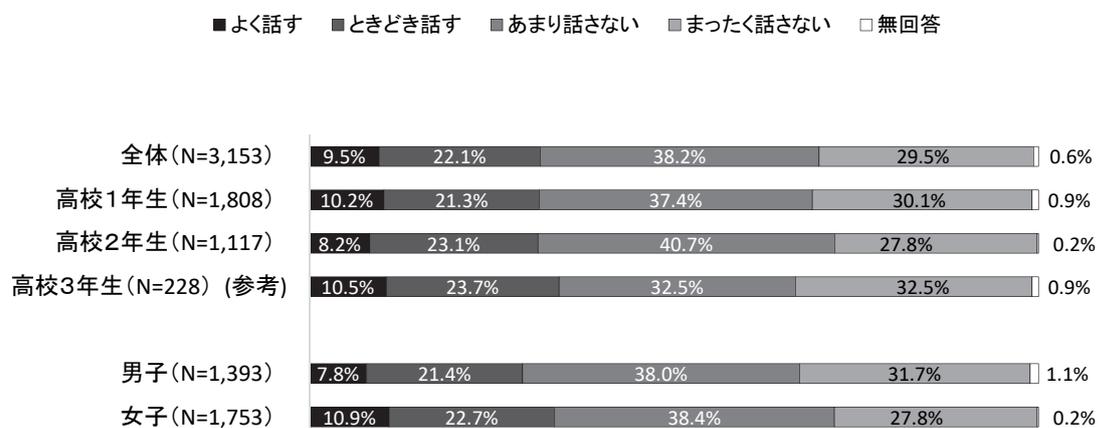
【図表V-4-5】お小遣いの使い方<全体・学年別・性別>



(6) 今の家計の状況

全体の3割強が「話す」という結果となった。学年別、性別で大きな違いはみられなかった。

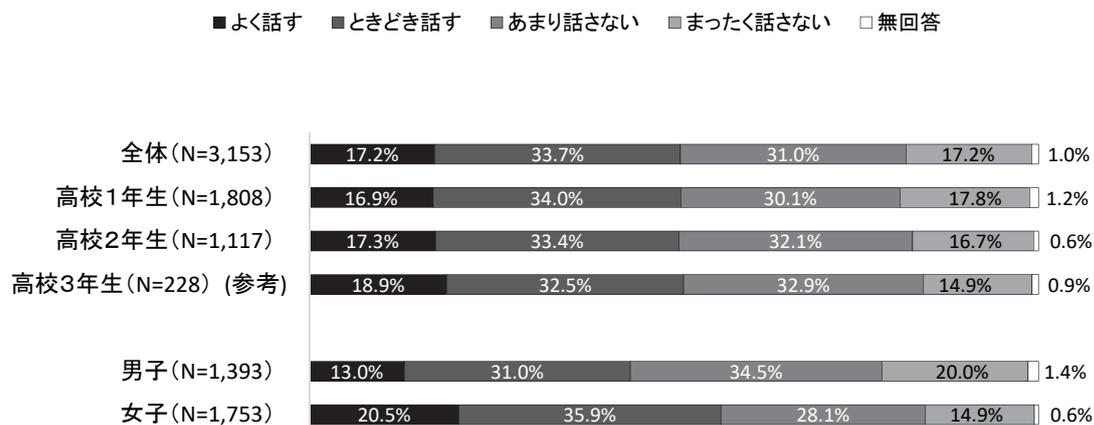
【図表V-4-6】今の家計の状況<全体・学年別・性別>



(7) 親の仕事内容

全体の5割強が「話す」という結果となった。
学年別で大きな差はみられなかったが、男子に比べ、女子の方が「話す」傾向が強かった。

【図表V-4-7】親の仕事内容<全体・学年別・性別>

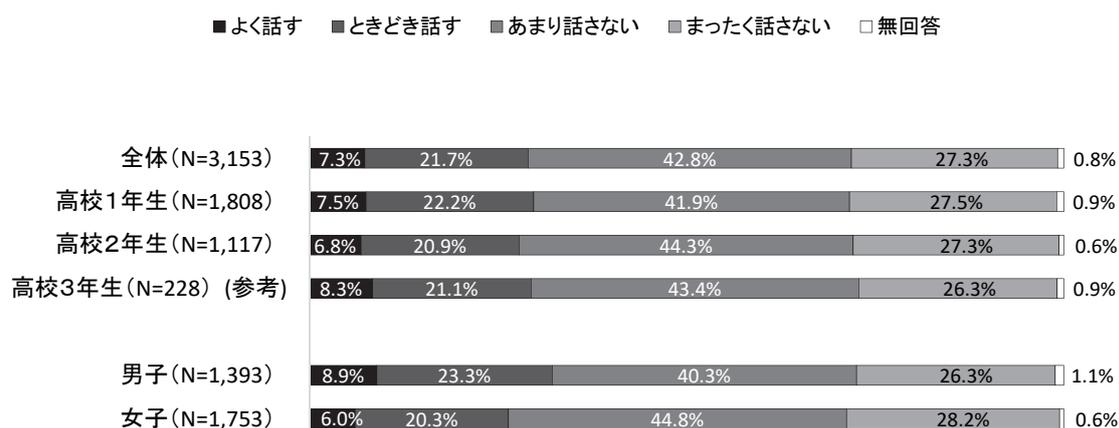


(8) 万が一のこと（病気・ケガ・事故等）に備えるための手段（注※）

※健康保険などの国の保障や生命保険・損害保険 等

全体の3割弱が「話す」という結果となった。学年別、性別に大きな違いはみられなかった。

【図表V-4-8】万が一のことに備えるための手段<全体・学年別・性別>



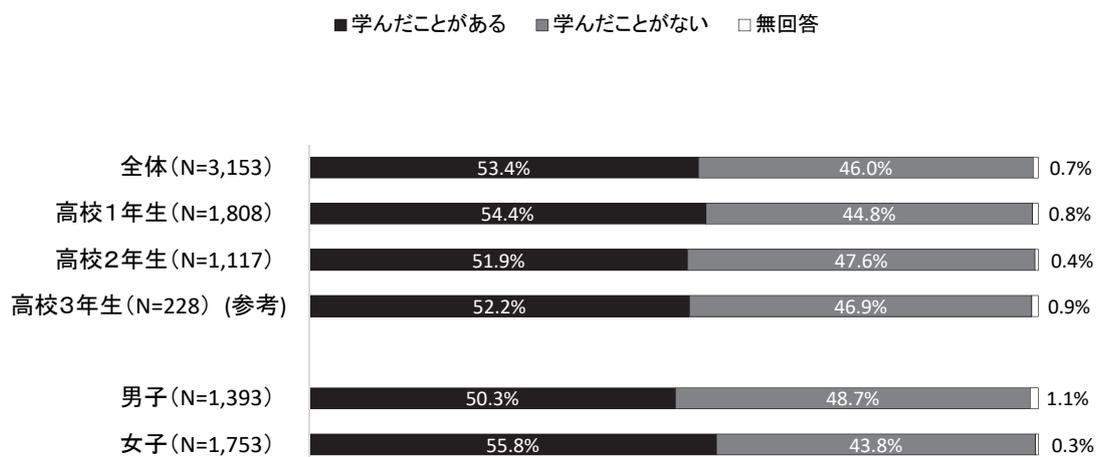
VI 高等学校での学習状況について

1. 「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習について

1-1 「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習経験

「お金や生活設計（ライフプラン）」について、「学んだことがある」は5割台半ばであった。「学んだことがない」は4割台半ばとなった。

【図表VI-1-1】「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習経験＜全体・学年別・性別＞



1-2 学習項目

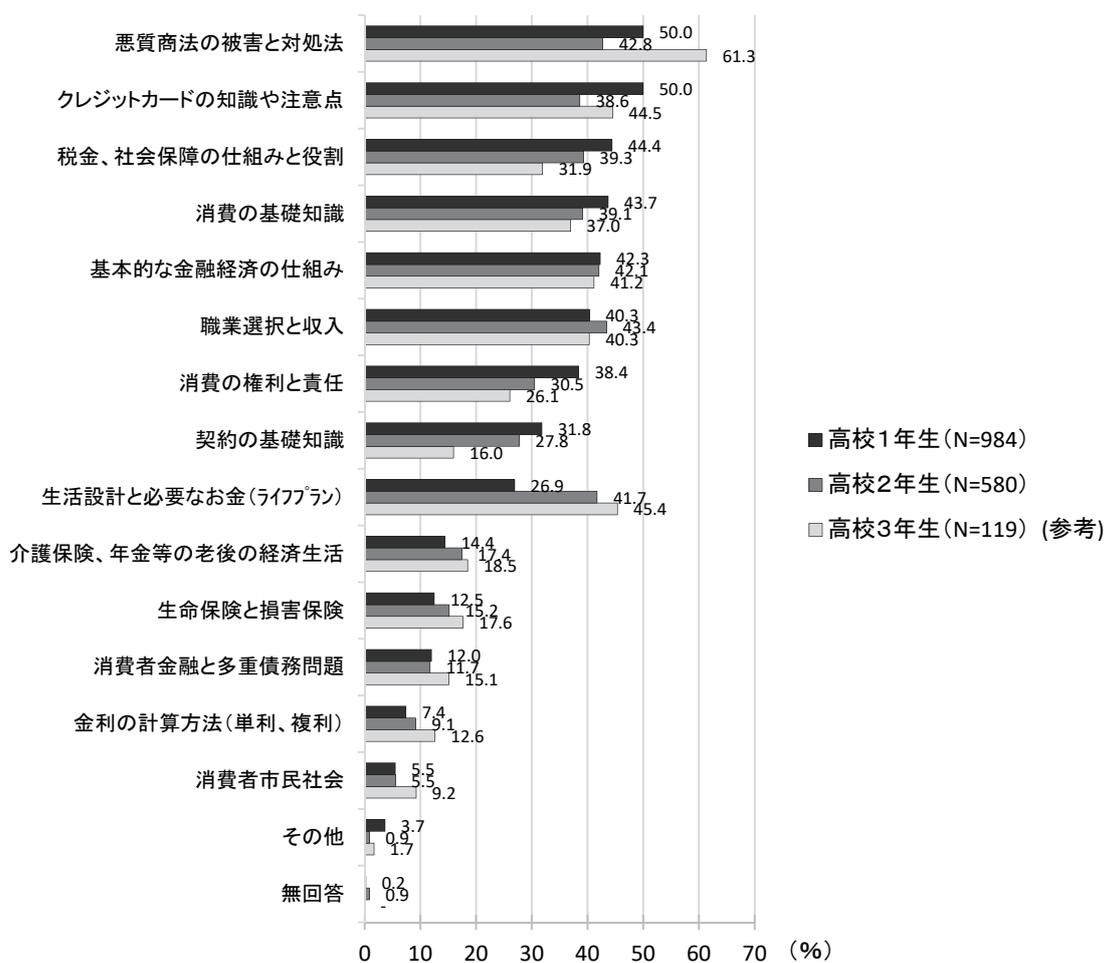
実際に学んだことのある項目については、1年生は「悪質商法の被害と対処法」と「クレジットカードの知識や注意点」が最も高く、2年生は「職業選択と収入」が最も高かった。

「生活設計と必要なお金（ライフプラン）」は2年生に比べ1年生の割合は低かった。

その他では、「簿記」などが挙げられた。

【図表VI-1-2】学習項目（複数回答）＜学年別＞

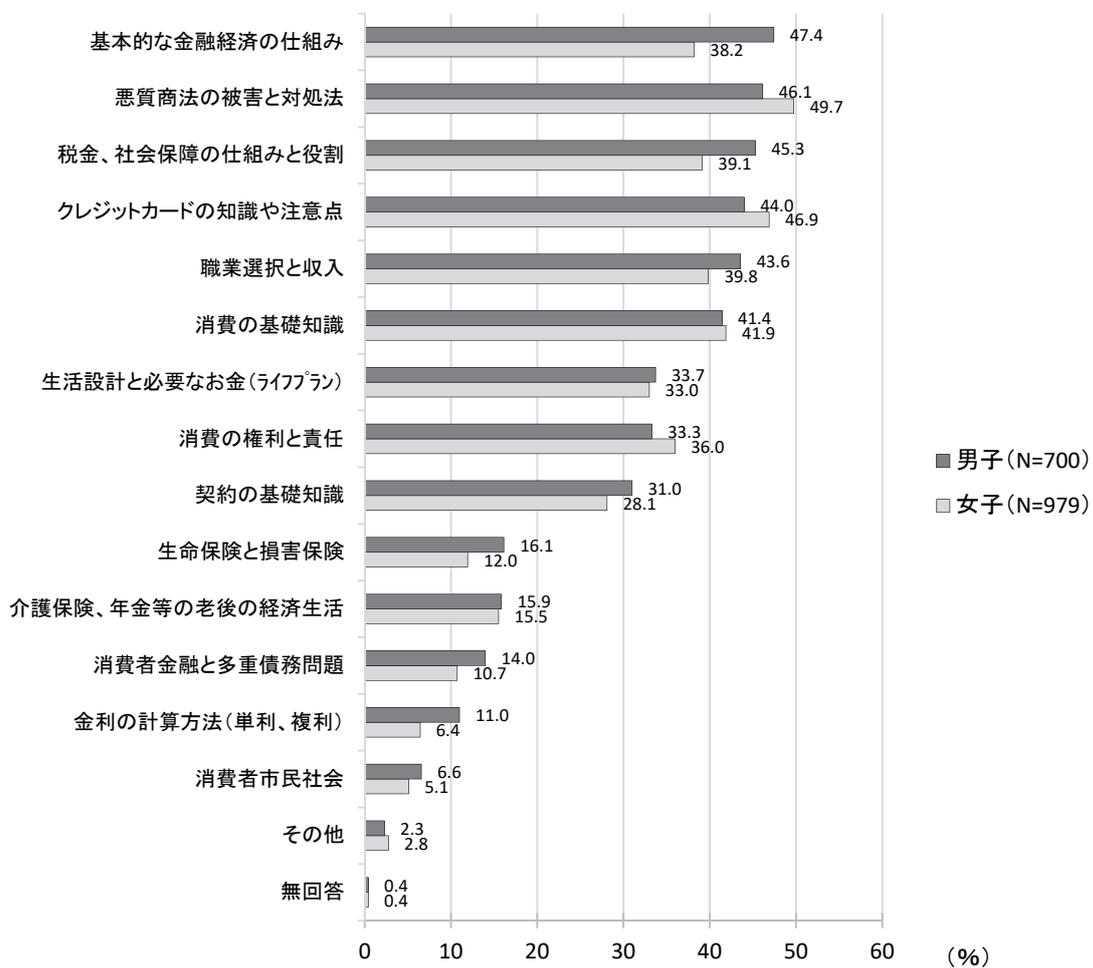
	1 位	2 位	3 位
1 年生	悪質商法の被害と対処法 (50.0%) クレジットカードの知識や 注意点 (50.0%)	税金、社会保障の仕組みと 役割 (44.4%)	消費の基礎知識 (43.7%)
2 年生	職業選択と収入 (43.4%)	悪質商法の被害と対処法 (42.8%)	基本的な金融経済の仕組み (42.1%)
3 年生 (参考)	悪質商法の被害と対処法 (61.3%)	生活設計と必要なお金 (ライフプラン) (45.4%)	クレジットカードの知識や 注意点 (44.5%)



性別では、男子は「基本的な金融経済の仕組み」女子は「悪質商法の被害と対処法」が最も多かった。

【図表VI-1-3】学習項目（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	基本的な金融経済の仕組み (47.4%)	悪質商法の被害と対処法 (46.1%)	税金、社会保障の仕組みと役割 (45.3%)
女子	悪質商法の被害と対処法 (49.7%)	クレジットカードの知識や注意点 (46.9%)	消費の基礎知識 (41.9%)



「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート」

【調査票・単純集計結果】

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」のお願い

このアンケートは、全国の高校生を対象に、くらしとお金、将来に対する考え方などについてお聞きするものです。お名前はいりませんので、日ごろの様子や、感じることをありのままにお答えください。

1 あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの学年、性別についておたずねします。

1)	1年生	57.3	2年生	35.4	3年生	7.2
2)	男子	44.2	女子	55.6	無回答	0.2

問2 あなたは今、どのようなことに興味がありますか？（○は3つまで）

1	ファッション	24.5	8	恋愛	13.5
2	マンガ	20.6	9	SNS (Facebook・LINE・Twitter 等)	26.7
3	アニメ	21.7	10	インターネット (ニュース、YouTube 等)	18.2
4	ゲーム	25.6	11	音楽	45.0
5	好きな芸能人	18.9	12	アルバイト	5.5
6	部活動	29.0	13	友達付き合い	13.8
7	勉強	9.8	14	その他 (回答：小説、料理等)	3.7

問3 学校の授業以外の時間を、あなたはどのように過ごすことが多いですか？

（○はいくつでも）

※ただし、睡眠時間は除いて考えてください。

1	テレビやビデオを見る	60.7	9	アルバイトをする	7.4
2	ゲームで遊ぶ	38.5	10	部活動をする	53.7
3	マンガや雑誌を読む	32.7	11	習い事 (スポーツ・芸術等) をする	8.2
4	本を読む (マンガや雑誌を除く)	18.5	12	友人と話をする	45.4
5	パソコン (インターネット等) にむかう	19.8	13	家族と話をする	33.8
6	携帯電話・スマートフォンでメールやSNS (Facebook・LINE・Twitter 等) をする	75.5	14	考え事をする	19.9
7	勉強をする	34.0	15	その他 (回答：音楽を聴く等)	5.3
8	塾や予備校に行く	8.7			

問3-1 問3で選択した項目のうち、特に過ごす時間が長いものを3つ選んで、下の空欄に番号を記入してください。

1位 携帯・スマホでメールやSNSする (63.6)

2位 部活動をする (42.9)

3位 テレビやビデオを見る (41.8)

2 お小遣い、アルバイトなどお金に関することについておたずねします。

問4 あなたは現在、お小遣いをもらっていますか？ (○はひとつ)

1	定期的にもらっている	52.1
2	その都度もらっている	23.7
3	もらっていない	23.8

※問4-2へ

→問4で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問4-1 1カ月にもらっている金額はいくらですか？ 平均 (4,944) 円

※問4で「3」と答えた人におたずねします。

問4-2 欲しいものがあつた場合、どうしますか？ (○はいくつでも)

1	アルバイトでお金を稼ぐ	24.8	4	我慢する	21.8
2	お年玉や貯金を使う	47.5	5	欲しい物は特にない	6.4
3	保護者に買ってもらう	47.0	6	その他(回答:欲しい時にもらう等)	3.2

問5 あなたはアルバイトをしていますか(したことがありますか)？ (○はひとつ)

1	家計を助けるためにアルバイトをしている(したことがある)	2.7
2	自分で使うお金のためにアルバイトをしている(したことがある)	9.4
3	アルバイトをしてみたいが、したことはない	62.3
4	アルバイトをしたことはないし、まだ当分やりたくない	24.5

→問5で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問5-1 平均して、1カ月にどのくらい収入がありますか？(ありましたか?)

平均 (41,421) 円くらい

問6 あなたは現在、お金を貯めていますか？ (○はひとつ)

1	目的をもってお金を貯めている	23.0	4	貯めようと思わない	6.8
2	目的はないが、お金を貯めている	41.3	5	その他(回答:分からない等)	0.4
3	貯めたいが、貯められない	28.0			

→問6で「1」と答えた人におたずねします。

問6-1 どのような目的でお金を貯めているか教えてください。

回答：欲しいものを買うため、将来のため、進学のため、遊び・旅行のため 等

問7 あなたは、お小遣いやアルバイトで得たお金を、どのようなものに使いますか？
(〇はいくつでも)

1	マンガや雑誌	45.6	13	貯金	49.1
2	書籍（小説等）	24.8	14	洋服や靴	35.0
3	DVD や CD	23.8	15	アクセサリ等の小物	25.4
4	DVD や CD 等のレンタル	7.1	16	化粧品、整髪剤	17.9
5	音楽のダウンロード	6.8	17	テーマパーク（ディズニーランド等）	13.4
6	学校の教材費や部活動費	6.9	18	アミューズメントパーク（ゲームセンター等）	17.8
7	携帯電話・スマートフォンの利用料金	6.6	19	映画・コンサートのチケット	40.7
8	携帯電話・スマートフォンの 有料コンテンツ（利用料金以外）	5.2	20	カラオケ	37.8
9	外食・軽食・おやつ	68.2	21	プリクラ	31.7
10	交通費	24.1	22	ゲームソフト	16.2
11	友人や家族へのプレゼント	42.6	23	キャラクターグッズ	17.3
12	募金や寄付	3.7	24	その他（回答：趣味、遊ぶため等）	6.0

問7-1 問7で選択した項目のうち、よく使う順に3つ選んで、下の空欄に番号を記入してください。

1位 外食・軽食・おやつ (56.7)

2位 貯金 (29.4)

3位 マンガや雑誌 (29.1)

問8 あなたは、小遣い帳等の記録をつけていますか？ (〇はひとつ)

1	つけている	5.2
2	ときどきつけている	5.6
3	以前つけたことがあるが、今はつけていない	28.8
4	つけたことがない	59.5

3 「消費・契約」に関することについておたずねします。

問9 あなたがお菓子や飲み物を買う時、重視することは何ですか (〇は3つまで)

1	テレビCM	8.2	7	味（おいしさ）	84.5
2	価格	72.8	8	カロリー	18.9
3	外見、見た目	24.7	9	安全性	16.0
4	口コミ・評判	15.4	10	特定保健用食品などのマーク	0.9
5	生産国・生産地	5.8	11	容器・包装	3.0
6	製造年月日・製造日	7.0	12	その他（回答：量、気分等）	3.0

問 10 あなたは欲しいものがある時、どこからの情報を参考にして商品をえらびますか？
(○はいくつでも)

1	テレビ	43.7	6	友達からの話	59.0
2	ラジオ	1.7	7	保護者からの話	22.1
3	インターネット・SNS	80.6	8	特に参考にする情報はない	5.6
4	雑誌	24.6	9	その他（回答：自身で見て等）	1.1
5	新聞（折り込みチラシ含む）	3.5			

問 11 買い物に関するあなたの考え方や傾向についてお聞きします。(○はひとつ)

	とても あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
(記入例) 衝動買いをする方だ	①	2	3	4
1 衝動買いをする方だ	14.7	38.4	35.9	10.8
2 買ったものはできるだけ長く使う方だ	36.9	46.8	14.5	1.5
3 品質よりも見た目で買う方だ	9.5	33.4	46.9	9.2
4 お金が足りない時は、貯めて買う方だ	31.5	36.4	24.8	6.8
5 テレビCMに影響されやすい方だ	8.9	21.6	42.4	26.7
6 買い物のために情報収集をする方だ	22.3	27.9	32.4	17.1
7 偽ブランド品であっても本物そっくりであれば買う方だ	3.1	11.0	27.7	57.8
8 商品に問題があった場合、企業などに連絡をする方だ	11.5	21.7	38.4	28.2
9 フェアトレード(注※)商品があれば積極的に選ぶ方だ	3.8	18.2	51.0	26.7
10 レジ袋はもらう方だ	19.4	37.0	28.7	14.7

※フェアトレード（公正な貿易）とは、発展途上国で生産された作物や製品を、適正な価格で継続的に取引し、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み。チョコレートやコーヒー、バナナなどがあります。

問 12 次のうち正しいと思うことに○をつけてください。(○はいくつでも)

正答率

1	契約に契約書は必要である (解答：×)	27.1	4	ネットショッピングはクーリング・ オフできる(解答：×)	55.5
2	契約は口約束でも成立する (解答：○)	31.0	5	有料アプリのダウンロードは 契約である(解答：○)	59.8
3	コンビニでお菓子を買うことは 契約である(解答：○)	37.4			

4 携帯電話・スマートフォン・パソコンの利用についておたずねします

問 13 あなたは携帯電話・スマートフォンを持っていますか？ (〇はひとつ)

1	小学生の頃から持っている	16.9	4	持っていたがいまはない →問15へ	0.3
2	中学生の頃から持っている	39.2	5	持ったことはない →問15へ	2.3
3	高校生になってから持っている	40.8	6	その他 (回答: 保育園の頃から等)	0.3

問 14 携帯電話・スマートフォンの利用目的は何ですか？ (〇はいくつでも)

1	メール	51.5	8	ゲームをする	57.1
2	通話	74.3	9	ネットショッピング	22.2
3	情報検索	65.2	10	音楽を聴く	79.4
4	SNS (Facebook・LINE・Twitter 等)	86.8	11	写真を撮る・加工する	69.7
5	動画投稿サイトを利用	43.5	12	防犯・災害時の備え	20.5
6	ニュースサイトを見る	24.9	13	その他 (回答: 連絡手段等)	1.4
7	ブログ	4.5			

問 15 パソコンや携帯電話・スマートフォンを利用して、インターネットで商品やサービスを、お金をだして買ったことはありますか？ (〇はひとつ)

1	よく買う	10.1	3	買ったことはあるが、ほとんど買わない	33.0
2	ときどき買う	23.9	4	買ったことがない →問16へ	31.7

問 15 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 15-1 ここ1カ月で使った金額はいくらですか？ 平均 (5,630) 円くらい

問 15 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 15-2 どのような商品やサービスを買いましたか？ (〇はいくつでも)

1	本	19.3	8	SNS 上の有料コンテンツ (LINE のスタンプ等)	19.8
2	電子書籍	2.4	9	アプリのダウンロード (課金含む)	14.3
3	DVD・CD	22.9	10	映画やコンサートのチケット	13.7
4	音楽のダウンロード	16.2	11	雑貨	21.8
5	洋服や靴	34.0	12	オークションで商品を落札	7.5
6	化粧品や整髪剤	9.9	13	その他 (回答: 好きなアーティストやアニメのグッズ等)	12.1
7	ゲームソフト	11.6			

問 15 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 15-3 その時、どのような方法で支払いましたか？ (〇はいくつでも)

1	保護者のクレジットカード	24.1	4	銀行等の ATM で振込	9.3
2	代金引換 (商品が届いた時に代金を支払う)	33.3	5	プリペイドカード (iTunes カード・LINE プリペイドカード等)	30.6
3	コンビニエンスストアで現金払い	49.8	6	その他 (回答: ポイント等)	2.0

5 あなたの将来のことについておたずねします。

問 16 あなたは、将来つきたい職業を決めていますか？ (〇はひとつ)

1	はっきりと決めている	20.7	3	考えてはいるが、まだ決めていない	31.7
2	なんとなく決めている	44.8	4	考えたことがない	2.3

問 16 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 16-1 具体的にどのような職業につきたいか最も近いものをお答えください。

(〇は、問 16 で「1」と回答した人は1つ、「2」と回答した人は3つまで)

1	公務員 (以下に記載のものを除く)	11.9	18	看護師・歯科衛生士	10.1
2	自営業・会社社長・会社役員	3.5	19	介護士・理学療法士・作業療法士・カウンセラー	8.9
3	会社員・事務員・秘書	10.0	20	調理師・栄養士	7.7
4	接客業・営業・販売	8.7	21	建築士・測量士・大工・左官・電気工事士	6.0
5	技術者・整備士	6.3	22	獣医師・トリマー	3.1
6	プログラマ・システムエンジニア	6.2	23	理容師・美容師・エステティシャン	6.3
7	製品製造	4.1	24	記者・編集者	2.0
8	保育士・幼稚園教諭	12.5	25	デザイナー・画家・写真家・作家・漫画家	6.8
9	教師	9.8	26	芸能人 (俳優・声優・歌手・タレント)	4.7
10	大学教授・研究者	2.9	27	スポーツ選手・インストラクター	4.7
11	裁判官・検察官・弁護士	1.1	28	農業・林業・漁業	2.3
12	会計士・税理士	1.9	29	運転士 (電車・バス・トラック)	0.8
13	自衛官	1.0	30	パイロット・キャビンアテンダント	2.6
14	警察官・海上保安官・消防士	3.9	31	船長・航海士	0.1
15	政治家	0.2	32	神主・住職・牧師	0.2
16	医師・歯科医師	4.4	33	その他 (回答: ウェディングプランナー等)	8.3
17	薬剤師	3.5			

問 17 あなたは高校卒業後、どのような進路を考えていますか？ (〇はひとつ)

1	大学に進学する	48.1	6	家業を継ぐ	0.4
2	短期大学に進学する	4.0	7	考えてはいるが、まだ決まっていない	14.5
3	専門学校に進学する	15.3	8	考えたことがない	1.0
4	海外留学する	0.7	9	その他 ()	0.0
5	就職する	15.6			

問 18 あなたは将来、結婚したいと思いますか？ (〇はひとつ)

1	結婚したい→問 18-1、問 18-2 へ	70.8	3	よく分からない	21.5
2	結婚したくない→問 18-3 へ	7.1	4	その他(回答:どちらでもよい等)	0.4

問 18 で「1」と答えた人におたずねします。

問 18-1 何歳くらいに結婚したいですか？ 平均 (25.0) 歳

問 18 で「1」と答えた人におたずねします。

問 18-2 結婚したい理由は何ですか？ (〇はいくつでも)

1	子どもや家族が欲しいから	78.9	4	老後が心配だから	17.2
2	寂しいから (精神的に安定できる)	22.8	5	家族を安心させたいから	28.3
3	好きな人と一緒に生活したいから	56.0	6	その他 (回答:金銭面の安定等)	1.5

問 18 で「2」と答えた人におたずねします。

問 18-3 結婚したくない理由は何ですか？ (〇はいくつでも)

1	自分の自由な時間がなくなるから	70.9	4	なんとなく面倒だから	59.6
2	金銭的に余裕がなくなるから	38.1	5	その他 (一人の方が楽等)	13.0
3	家族を持つと大変そうだから	52.5			

問 19 あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか？ (〇はひとつ)

1	子どもを持ちたい→問 19-1、問 19-2、問 19-3 へ	68.3	3	よく分からない	23.6
2	子どもを持ちたくない→問 19-4 へ	7.1			

問 19 で「1」と答えた人におたずねします。

問 19-1 子どもは何人くらい持ちたいですか？ 平均 (2.3) 人

問 19 で「1」と答えた人におたずねします。

問 19-2 子どもを持ちたい理由は何ですか？ (〇はいくつでも)

1	子どもが好きだから	64.4	4	子孫を残したいから	19.7
2	子どもがいたら楽しそうだから	78.6	5	自分の老後が心配だから	9.4
3	後継ぎが必要だから	4.5	6	その他 (回答：なんとなく等)	2.3

問 19 で「1」と答えた人におたずねします。

問 19-3 将来子どもが生まれた場合、どのような働き方を選択すると思いますか？
(〇はひとつ)

1	育児に関係なく働きつづける	26.0	4	仕事を辞め、専業主婦 (主夫) になる	7.7
2	育児休暇を取り、職場に復帰する	56.8	5	その他 (回答：考えられない等)	1.1
3	一旦仕事を辞め、再就職する	5.8			

問 19 で「2」と答えた人におたずねします。

問 19-4 子どもを持ちたくない理由は何ですか？ (〇はいくつでも)

1	面倒だから	49.8	4	子どもが好きではないから	40.8
2	金銭的に余裕がなくなるから	40.8	5	自分や夫婦 2 人の時間がなくなるから	14.8
3	仕事に打ち込みたいから	28.3	6	その他 (回答：出産への恐怖心等)	16.6

問 20 あなたは今からどのくらい先の生活まで思い描くことができますか？ (〇はひとつ)

1	高校卒業後まで	25.1	6	60 歳まで	3.6
2	20 歳まで	22.8	7	70 歳まで	1.4
3	30 歳まで	13.6	8	それ以上	3.8
4	40 歳まで	3.9	9	全く想像できない	22.7
5	50 歳まで	2.5			

問 21 将来の生活を考えた時、特に不安を感じることは何ですか？ (〇は3つまで)

1	高校卒業後の進路	52.6	10	交通事故	8.0
2	就職	57.3	11	健康保険などの国の保障	3.3
3	失業	7.8	12	地球温暖化等の環境問題	5.0
4	結婚	21.6	13	悪質商法や詐欺の被害	2.8
5	子育て	6.2	14	経済的に困ること	20.7
6	老後	6.0	15	景気や社会情勢 (戦争・テロ)	12.3
7	自分や身近な人の病気	12.3	16	特にない	3.0
8	自分や身近な人の死	25.2	17	その他 (回答：人間関係等)	0.9
9	地震などの自然災害	16.5			

問 22 あなたは保護者の方と、次のことについて話しますか？ (○はひとつ)

	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない
(記入例) お小遣いの金額	①	2	3	4
1 学校での出来事	47.0	35.1	12.9	4.2
2 高校卒業後の進路	23.9	45.4	24.2	5.9
3 将来の夢	20.3	37.3	29.4	12.6
4 悩みごと (進路以外)	15.4	22.7	36.3	25.2
5 お小遣いの使い方	9.4	22.5	40.1	27.5
6 今の家計状況	9.5	22.1	38.2	29.5
7 親の仕事内容	17.2	33.7	31.0	17.2
8 万が一のこと (病気・ケガ・事故等) に備えるための手段 (注※)	7.3	21.7	42.8	27.3

※健康保険などの国の保障や生命保険・損害保険 等

6 これまでの学習状況についておたずねします。

問 23 あなたはこれまで、学校で「お金や生活設計 (ライフプラン)」に関することを学んだことはありますか？ (○はひとつ)

1 学んだことがある	53.4	2 学んだことがない	46.0
------------	------	------------	------

問 23 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 23-1 どのような内容を学びましたか？ (○はいくつでも)

1 基本的な金融経済の仕組み	42.1	9 消費の基礎知識	41.7
2 生活設計と必要なお金 (ライフプラン)	33.3	10 クレジットカードの知識や利用上の注意点	45.7
3 職業選択と収入	41.4	11 消費者金融と多重債務問題	12.1
4 税金、社会保障の仕組みと役割	41.8	12 悪質商法の被害と対処法	48.3
5 生命保険と損害保険	13.8	13 消費の権利と責任	34.8
6 介護保険、年金などの老後の経済生活	15.7	14 消費者市民社会	5.8
7 金利の計算方法 (単利、複利)	8.4	15 その他 (回答：簿記等)	2.6
8 契約の基礎知識	29.3		

◆公益財団法人 消費者教育支援センター

消費者教育の総合的かつ効果的な推進を図ることを目的に、1990年に経済企画庁(現消費者庁および内閣府)と文部省(現文部科学省)の共管法人として設立。平成24年4月1日より公益財団法人に移行。主な活動としては、消費者教育に関する調査や教材開発、シンポジウムやセミナーの開催、企業・行政を対象とする教材表彰、講座運営および講師派遣、機関誌『消費者教育研究』の発行等を行っている。

◆公益財団法人 生命保険文化センター

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976年(昭和51年)に設立。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の3つを柱に事業活動を行っている。主な活動としては、高校・大学等への講師派遣、消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成等。生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動も行っている。

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査報告書」(平成28年度)

発行日 2017年2月

発行 公益財団法人消費者教育支援センター

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 1-17-14 全国婦人会館 3階

TEL : 03-5466-7341 FAX : 03-5466-2051

公益財団法人生命保険文化センター

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 3階

TEL : 03-5220-8510 (代表) FAX : 03-5220-9090

